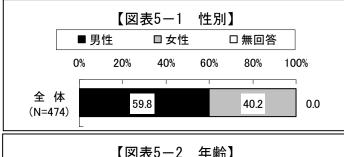
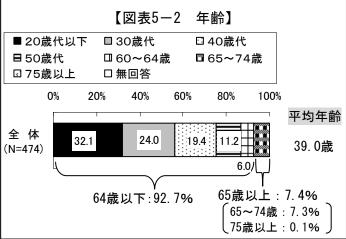
第5章 知的障がい者調査

第5章 知的障がい者調査

1. 基本属性

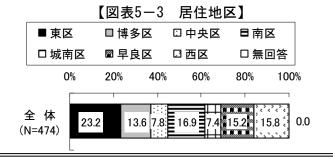


男性(59.8%)が女性(40.2%)より多い。

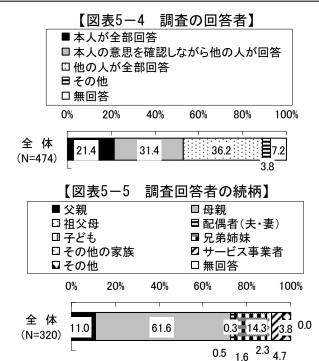


20歳代以下(32.1%)が最も多く、次いで「30歳代」(24.0%)となっている。

また、64歳以下(92.7%)が全体の9割強を 占めている。



居住地区としては、「東区」(23.2%)が最も 多く、次いで「南区」(16.9%)となっている。



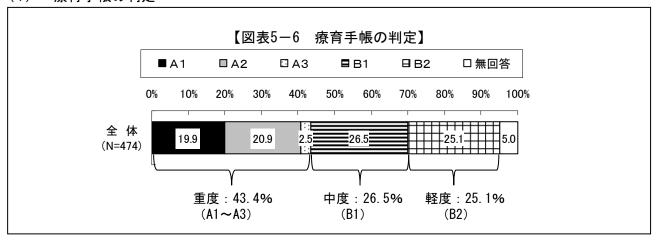
「他の人が全部回答した」(36.2%) が最も 多く、次いで「本人の意思を確認しながら他の 人が回答」(31.4%) となっている。

「本人が全部回答」(21.4%)・「本人の意思 を確認しながら他の人が回答」(31.4%)をあ わせると、本人の意思に基づく回答が過半数 (52.8%)となっている。

「本人の意思を確認しながら他の人が回答」 または「他の人が全部回答」した場合の回答者 の続柄は「母親」(61.6%)が最も多く、6割強 を占めている。

2. 障がいの状況について

(1) 療育手帳の判定



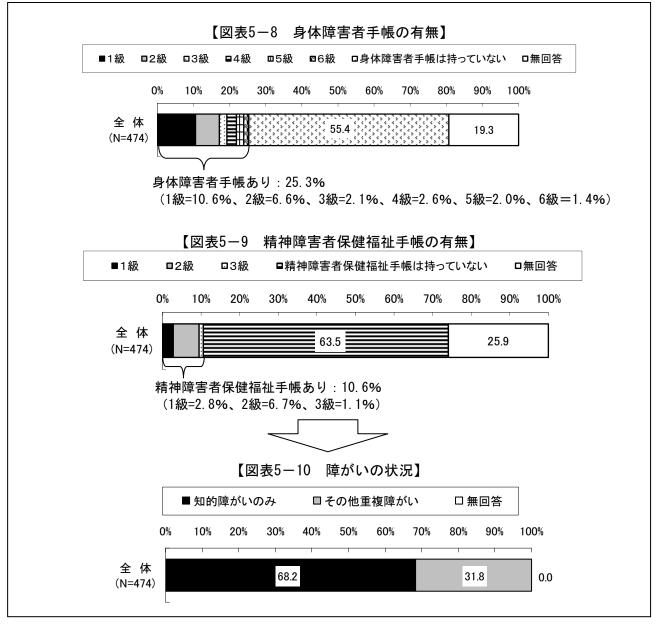
療育手帳の判定は、B1とB2がそれぞれ3割弱、A1とA2がそれぞれ2割、A3が2.5%となっており、集約すると、重度(A1-A3)が4割強(43.4%)を占めている。

年齢2区分別にみると、65歳以上の高齢者では、A判定の重度者が過半数(54.6%)を占めている。

		-	E130	, –	- M12	- , , , , , ,	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	124 - 4	1774	· · - /			
		調		;	療育手帕	長の判定			調	療育	手帳の	判定(集	約)
		香数(人)	A 1	A 2	A 3	B 1	B 2	無回答	香数(人)	重度(A1~A3)	中度(B1)	軽度(B2)	無回答
全	体	474	19.9	20.9	2.5	26.5	25.1	5.0	474	43.4	26.5	25.1	5.0
一年	64歳以下	439	20.7	19.0	2.7	27.2	26.7	3.5	439	42.5	27.2	26.7	3.5
区年	65歳以上	35	9.4	45.2	_	17.9	4.5	23.1	35	54.6	17.9	4.5	23.1
⁷⁷ 2	無回答	_	_	_	_	1	_	_	-	_	-	_	_

【図表5-7 年齢2区分別 療育手帳の判定】(%)

(2) 身体障がい、精神障がいとの重複状況

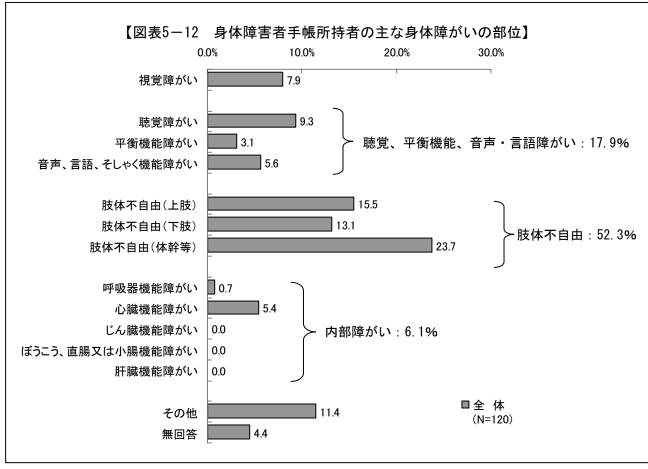


身体障がいや精神障がいとの重複状況をみると、回答者の3割弱(25.3%)は身体障害者手帳を所持しており、1割(10.6%)は精神障害者保健福祉手帳を所持している。これらを集約すると、知的障がい者調査の回答者の3割強(31.8%)は身体障がいや精神障がいとの重複障がい者である。

手帳判定別にみると、重複障がい者の割合は、A判定の重度者で高く、4割(40.7%)を占めている。

【図表5-11 手帳判定別 障がいの状況】(%)

		調	ß	章がいの状況	兄
		查数 (人)	み 知 り 障 が い の	がい他重複障	無回答
全	体	474	68.2	31.8	-
手	重度(A1~A3)	206	59.3	40.7	-
帳	中度(B1)	126	75.7	24.3	-
判定	軽度(B2)	119	78.5	21.5	_
定	無回答	24	54.3	45.7	-



(3) 身体障害者手帳所持者の主な身体障がいの部位

身体障害者手帳所持者の主な障がいの部位(集約)は、「肢体不自由」(52.3%)が過半数を占めて最も多い。

手帳判定別に主な身体障がいの部位(集約)をみると、A判定の重度者では「肢体不自由」(58.0%)の割合が高く、6割弱を占めている。また、B2判定の軽度者では他に比べて「聴覚、平衡機能、音声・言語障がい」(34.4%)の割合が3割強となっている。

					•	120 1 370						_ \				
								主な	ょ身体障	がいの部	『位					
		調	視	聴	い平	障そ音	△ 肢		〜 肢	が呼	い心	がじ	能腸ぼ	い肝	そ	無
		査	覚 障	覚 障	衡	がし声	上体	下体	体体	い吸	臓	いん	障又う	臓	の	回 答
		数			機	いゃ、	肢不	肢不	幹不	器	機	臓	がはこ	機	他	答
		$\widehat{}$	が	が	能	く言	〜自	〜自	等自	機	能	機	い小う	能		
		人	い	い	障	機語	由	由) 由	能	障	能	腸、	障		
		$\overline{}$			が	能、				障	が	障	機直	が		
全	: 体	120	7.9	9.3	3.1	5.6	15.5	13.1	23.7	0.7	5.4	-	-	_	11.4	4.4
手	重度(A1~A3)	75	9.1	9.0	_	7.2	15.6	7.6	34.8	1.2	6.2	-	_	_	7.7	1.6
帳	中度(B1)	17	6.2	13.0	-	_	6.2	33.1	_	_	5.0	_	-	_	28.5	8.0
	軽度(B2)	16	-	13.0	14.0	7.5	17.0	25.4	ı	ı	5.2	ı	_	ı	11.7	6.2
定	無回答	11	14.5	-	12.9	_	27.8	_	20.9	_	-	_	_	_	9.5	14.5

【図表5-13 手帳判定別 主な身体障がいの部位】(%)

	-m		主な身体	本障がし	いの部位	(集約)	
	調査数(人)	視覚障がい	語障がい・言い・言機	肢体不自由	いの一般能障が	その他	無回答
全 体	120	7.9	17.9	52.3	6.1	11.4	4.4
手 重度(A1~A3)	75	9.1	16.2	58.0	7.4	7.7	1.6
帳 中度(B1)	17	6.2	13.0	39.3	5.0	28.5	8.0
判 軽度(B2)	16	-	34.4	42.4	5.2	11.7	6.2
定無回答	11	14.5	12.9	48.7	-	9.5	14.5

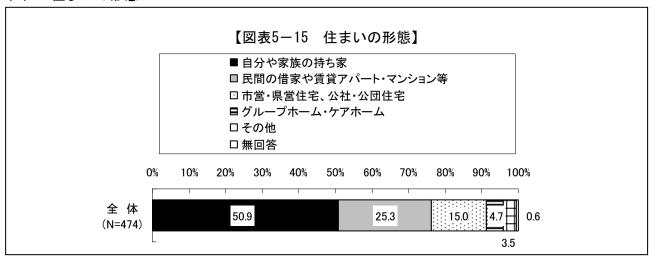
また、主な身体障がい以外の重複する身体障がいの有無をみると、回答者の4割強(42.4%)は主な身体障がい以外に重複する身体障がいはないと回答している。

【図表5-14 主な身体障がいと重複する身体障がいの関係】(%)

		調						重複	する身	∤体障 <i>t</i>	バいの音	邻位					
		酒査数(人)	視覚障がい	聴覚障がい	平衡機能障がい	く機能障がい音声、言語、そしゃ	肢体不自由(上肢)	肢体不自由(下肢)	等) 肢体不自由(体幹	呼吸器機能障がい	心臓機能障がい	じん臓機能障がい	小腸機能障がいぼうこう、直腸又は	肝臓機能障がい	その他	い主な障がい以外はな	無回答
全	҈体	120	3.9	5.7	4.6	19.9	19.5	25.6	14.3	4.8	2.3	1.0	1.9	1.7	9.3	42.4	4.4
	視覚障がい	9	-	25.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12.5	62.5	-
	聴覚障がい	11	-	ı	-	20.0	20.0	20.0	10.0	-	-	-	_	-	10.0	70.0	_
	平衡機能障がい	3	-	-	-	-	-	_	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-
主	音声、言語、そしゃく機 能障がい	6	ı	1	1	1	20.0	40.0	20.0	-	-	-	-	-	-	60.0	-
な身	肢体不自由(上肢)	20	1	5.6	5.6	11.1	1	55.6	38.9	-	-	5.6	5.6	-	5.6	27.8	-
体	肢体不自由(下肢)	17	-	-	-	33.3	33.3	-	33.3	-	-	-	-	-	-	53.3	-
障	肢体不自由(体幹等)	30	14.8	7.4	7.4	44.4	48.1	48.1	-	18.5	7.4	-	-	7.4	3.7	18.5	-
が	呼吸器機能障がい	1	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	-	100.0	-	-	-	-	-	_
い	心臓機能障がい	7	-	-	16.7	_	-	16.7	-	16.7	-	-	-	-	16.7	83.3	_
部	じん臓機能障がい	-	-	_	-	_	-	_	-	-	-	-	-	-	-	-	-
位	ぼうこう、直腸又は小 腸機能障がい	ı	I	I	_	_	_	_	-	_	-	-	-	-	_	I	-
	肝臓機能障がい	-	-	-	_	_	_	-	-	-	-		-	-	_	_	_
1	その他	13	-	1	_	8.3	8.3	8.3	8.3	-	-	_	8.3	-	50.0	33.3	_
	無回答	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0

3. 生活状況について

(1) 住まいの形態



半数が「自分や家族の持ち家」(50.9%)に住んでおり、次いで「民間の借家等」(25.3%)、「市営住宅等」(15.0%)となっている。

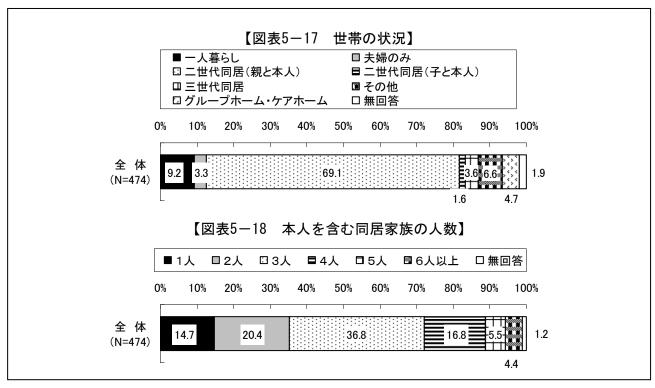
年齢2区分別にみると、65歳以上の高齢者では「自分や家族の持ち家」(18.1%)の割合が2割未満と低くなっている一方、「グループホーム・ケアホーム」(27.3%)の割合が3割弱を占めている。

手帳判定別にみると、A判定の重度者では他に比べて「自分や家族の持ち家」(59.0%)の割合が高い一方、B判定の中度・軽度者では「民間の借家等」の割合が3割を超えて高い。

住まいの形態 調 パ民 社市 白 査 分 丨間 • 営 ール ഗ 口 数 ゃ ムー 公• 他 答 トの 家 団県 • 借 プ 人 マ家 族 住営 木 の ンや 宅住 シ賃 持 宅 ム ョ貸 ち 家 ンア ケ 公 等 全 体 474 50.9 25.3 15.0 4.7 3.5 0.6 区年 64歳以下 439 53.5 25.5 15.8 2.9 1.6 0.6 齢 65歳以上 27.3 35 22.6 27.3 18.1 4.7 分型 無回答 25.3 474 50.9 15.0 4.7 3.5 0.6 重度(A1~A3) 206 16.0 15.5 5.0 4.1 0.4 中度(B1) 126 43.7 34.3 15.2 3.9 2.2 0.7 軽度(B2) 119 43.7 33.4 14.3 6.0 0.9 1.8 定無回答 24 55.4 17.9 12.7 0.3 13.6

【図表5-16 年齢2区分別、手帳判定別 住まいの形態】(%)

同居家族の状況 (2)



同居家族の続柄から世帯の状況を集約したところ、「二世代同居(親と本人)」(69.1%)が7割を占め て最も多くなっている。また、家族人数は、「3人」(36.8%) が最も多く、次いで「2人」(20.4%) と なっている。

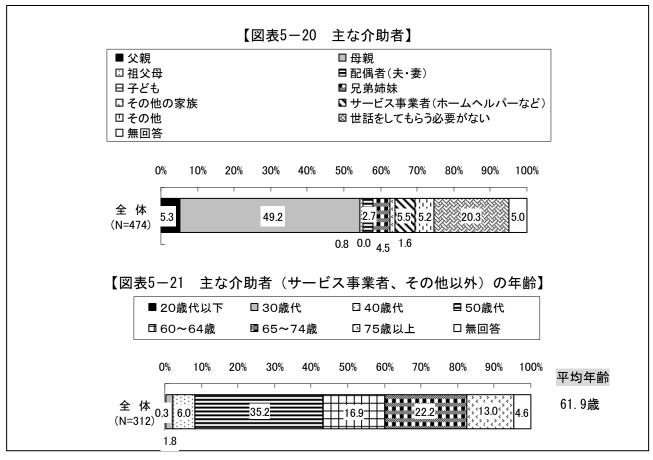
年齢2区分別にみると、65歳以上の高齢者では「グループホーム・ケアホーム」(27.3%)の割合が3 割弱と高くなっている。

年齢別に詳細にみると、50歳代を境に大きく変化しており、40歳代までは「二世代同居(親と本人)」 の割合が8割前後と高いが、50歳代では半数弱(47.4%)に低下し、代って「一人暮らし」が3割強(31.6%) に増加している。また、65歳以上の高齢者では「グループホーム・ケアホーム」の割合が3割弱とたか くなっている。

手帳判定別にみると、A判定の重度者では他に比べて「二世代同居(親と本人)」(79.1%)の割合が 8割と高い。

【図表5-19 年齢(詳細、2区分)別、手帳判定別 世帯の状況】(%) 世帯の状況 調 夫婦 ○ 子世 华 ムムグ 査 親世 の ・ル 人 口 数 暮 他 ケー ഗ と代 と代 代 答 b H 本同 本同 同 アプ 人 人居 居 ホホ 人居 Ιİ 全 体 474 9.2 3.3 69.1 3.6 4.7 1.6 6.6 1.9 区 年 64歳以下 439 8.8 3.2 73.9 1.4 3.9 4.9 2.9 1.0 齢 65歳以上 13.9 4.5 27.3 27.3 13.4 分 2 無回答 35 9.2 4.5 474 9.2 4.7 3.3 69.1 1.6 3.6 6.6 1.9 20歳代以下 2.8 0.6 1.7 1.1 83.0 30歳代 114 45 3.6 829 18 3.6 1.8 18 40歳代 92 8.1 3.5 77.9 3.5 5.8 1.2 7.9 50歳代 53 31.6 2.6 47.4 7.9 2.6 60~64歳 28 17.4 13.0 26.1 26.1 17.4 65~74歳 34 13.6 4.5 9.1 4.5 27.3 27.3 13.6 75歳以上 1 28.6 14.3 28.6 28.6 無回答 体 474 9.2 3.3 69.1 1.6 3.6 6.6 4.7 1.9 重度(A1~A3) 1.4 206 79.1 5.0 2.8 0.4 1.2 2.8 7.3 帳 中度(B1) 126 10.4 6.2 1.7 4.9 6.8 3.9 3.5 判 軽度(B2) 5.0 4.4 3.7 119 17.9 61.3 1.8 6.0 無回答 24 13.6 4.3 57.2 4.3 13.6 0.3 6.6

(3) 主な介助者の状況



「母親」(49.2%) が半数を占めて最も多く、次いで「サービス事業者(ホームヘルパーなど)」(5.5%)、「父親」(5.3%) となっている。また、「世話をしてもらう必要がない」は2割(20.3%) を占めている。また、主な介助者の平均年齢は61.9歳で、「50歳代」(35.2%) が最も多く、次いで「65~74歳」(22.2%)となっている。また、65歳以上の高齢者が4割弱(35.2%) を占めている。

年齢別に詳細にみると、概ね年齢が低いほど「母親」の割合が高く、20歳代以下では7割強(71.6%) を占めている。

手帳判定別にみると、A判定の重度者では他に比べて「母親」(67.5%)の割合が高い。

障がい者本人の年齢別(2区分別)に、主な介助者の年齢をみると、高齢(65歳以上)の障がい者は6人と少数であるが、介助者も本人と同じく65歳以上である介助者が7割強(73.4%)を占めている。

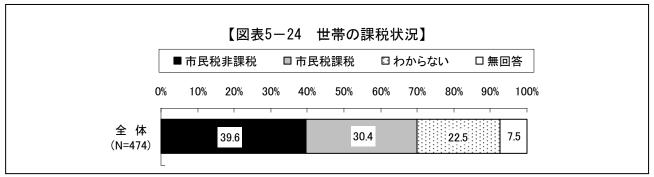
【図表5-22 年齢詳細別、手帳判定別 主な介助者】(%)

			親 親 父 偶 ど 弟 の へ I の な話 回 答 は も 姉 他 の ポスート でもらう まままままままままままままままままままままままままままままままままままま													
		調査数(人)			父	偶者(夫・妻	子ども	弟 姉	の 他 の	ヘルパー などー ビス事業者	の	な話 い して	無回答			
全	体	474	5.3	49.2	0.8	2.7	-	4.5	1.6	5.5	5.2	20.3	5.0			
	20歳代以下	152	2.3	71.6	1.1	0.6	_	_	_	1.7	1.7	19.3	1.7			
	30歳代	114	9.0	55.9	1.8	3.6	_	0.9	0.9	2.7	1.8	17.1	6.3			
年	40歳代	92	9.3	46.5	_	1.2	-	3.5	2.3	4.7	_	30.2	2.3			
齢詳	50歳代	53	5.3	26.3	_	2.6	_	10.5	5.3	10.5	13.2	13.2	13.2			
詳	60~64歳	28	_	8.7	_	13.0	_	34.8	_	8.7	13.0	21.7	_			
細	65~74歳	34	-	4.5	-	4.5	-	4.5	4.5	22.7	27.3	18.2	13.6			
	75歳以上	1	-	14.3	_	_	-	14.3	14.3	42.9	14.3	ı	_			
L.	無回答	-	-	_	_	_	_	-	_	_	_	_	_			
全	体	474	5.3	49.2	0.8	2.7	-	4.5	1.6	5.5	5.2	20.3	5.0			
手	重度(A1~A3)	206	7.5	67.5	_	1.2	-	6.9	2.2	4.0	5.5	3.6	1.7			
帳	中度(B1)	126	2.7	39.7	2.3	4.3	_	5.6	1.7	6.8	3.9	22.9	10.2			
判	軽度(B2)	119	5.3	30.0	0.7	3.2	_	_	0.9	4.8	3.5	45.4	6.1			
定	無回答	24	-	37.4	-	4.3	_	0.3	_	14.6	19.1	24.2	_			

【図表5-23 年齢2区分別、手帳判定別 主な介助者の年齢】(%)

		調査				主なか	介助者の	年齢			
		五数(人)	20歳代以下	30歳代	4 0 歳代	50歳代	60~64歳	65~74歳	75歳以上	無回答	平均年齢(歳)
全	体	304	0.3	1.8	6.0	35.2	16.9	22.2	13.0	4.6	61.9
2	64歳以下	297	0.3	1.3	6.1	35.9	17.3	21.6	12.7	4.7	61.8
区年	65歳以上	6	-	24.1	-	2.5	-	48.1	25.3	-	63.4
	無回答	_	-	-	-	-	-	-	-	-	_
	体	304	0.3	1.8	6.0	35.2	16.9	22.2	13.0	4.6	61.9
手	重度(A1~A3)	175	-	1.4	3.5	38.9	18.0	26.4	10.6	1.2	62.1
帳	中度(B1)	71	1.4	1.4	7.3	30.8	18.0	19.2	13.5	8.2	61.6
判	軽度(B2)	48	-	1.8	14.5	33.7	12.5	11.1	15.7	10.7	59.9
定	無回答	10	-	10.3	-	8.7	10.8	21.5	38.0	10.8	68.6

(4) 世帯の課税状況



「市民税課税」(30.4%) より「市民税非課税」(39.6%) が多い。

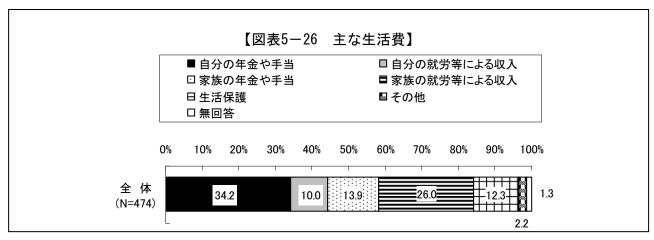
年齢別に詳細にみると、50歳代や60~64歳、75歳以上では「市民税非課税」が過半数となっている。 手帳判定別にみると、A判定の重度者は中度・軽度者に比べて「市民税非課税」(48.8%)の割合が 高く、半数弱を占めている。

世帯状況別にみると、三世代同居者とグループホーム・ケアホーム利用者では他に比べて「市民税非課税」の割合が高く、6割を超えている。

【図表5-25 年齢詳細別、手帳判定別、世帯状況別 世帯の課税状況】(%)

		調		世帯の認	果税状況	
		香数 (人)	市民税非課税	市民税課税	わからない	無回答
全	体	474	39.6	30.4	22.5	7.5
	20歳代以下	152	33.5	39.8	19.9	6.8
	30歳代	114	37.8	32.4	23.4	6.3
年	40歳代	92	43.0	33.7	16.3	7.0
齢	50歳代	53	52.6	13.2	23.7	10.5
詳	60~64歳	28	52.2	8.7	34.8	4.3
細	65~74歳	34	31.8	18.2	36.4	13.6
	75歳以上	1	57.1	28.6	14.3	_
	無回答	_	_	1	_	_
全	体	474	39.6	30.4	22.5	7.5
手	重度(A1~A3)	206	48.8	36.2	8.3	6.8
帳	中度(B1)	126	28.4	29.7	33.5	8.4
判	軽度(B2)	119	35.4	21.0	35.2	8.5
定	無回答	24	39.7	32.1	24.5	3.7
全	体	474	39.6	30.4	22.5	7.5
	一人暮らし	43	30.0	4.8	54.4	10.9
	夫婦のみ	16	22.2	14.7	63.1	_
世	二世代同居(親と本人)	328	37.5	38.4	17.8	6.3
帯	二世代同居(子と本人)	8	39.1	13.3	47.6	_
状	三世代同居	17	64.5	20.3	10.1	5.1
況	その他	31	40.3	22.7	20.2	16.8
	グループホーム・ケアホーム	22	62.8	10.8	14.8	11.5
	無回答	9	82.4		_	17.6

(5) 主な生活費



「自分の年金や手当」(34.2%) が最も多く、次いで「家族の就労等による収入」(26.0%) となっており、「自分の就労等による収入」(10.0%) は1割である。

年齢別に詳細にみると、50歳代以上では「生活保護」の割合が高く、2割を超えている。

手帳判定別にみると、A判定の重度者では他に比べて「自分の年金や手当」(48.1%)の割合が高く、 半数弱を占めている。また、B判定の中度・軽度者では、重度者に比べて「自分の就労等による収入」 の割合が高く、1割強~2割強を占めている。

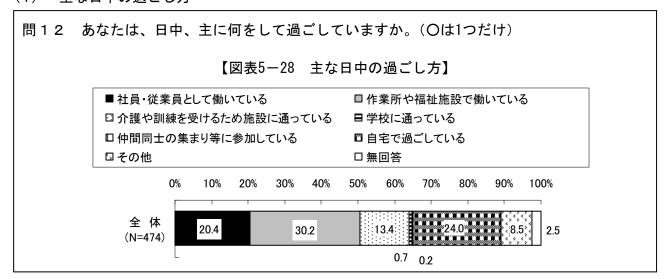
世帯状況別にみると、一人暮らしと子との二世代同居者では、他に比べて「生活保護」の割合が高く、 4割強~6割弱を占めている。

【図表5-27 年齢詳細別、手帳判定別、世帯状況別 主な生活費】(%)

					Ė	Eな生活費	Ĭ		
		調 査 数	当自 分 の	よ自 る分 収の	当家 族 の	よ家 る族 収の	生 活 保	その他	無 回 答
		人	年 金 や	入就 労 等	年金やエ	入就 労 等	護		
	<i>I</i> +	47.4	手	10.0	手	1=	400		4.0
全	体 Control T	474	34.2	10.0	13.9	26.0	12.3	2.2	1.3
	20歳代以下	152	22.7	8.5	4.0	52.3	9.1	2.8	0.6
l	30歳代	114	36.0	13.5	17.1	20.7	8.1	0.9	3.6
年	40歳代	92	38.4	16.3	24.4	9.3	8.1	2.3	1.2
齢	50歳代	53	31.6	5.3	26.3	7.9	26.3	2.6	_
詳	60~64歳	28	60.9	4.3	8.7	4.3	21.7	_	_
細	65~74歳	34	50.0	-	4.5	18.2	22.7	4.5	_
	75歳以上	1	28.6	-	14.3	28.6	-	28.6	_
	無回答	_	-	-	-	_	-	-	-
	体	474	34.2	10.0	13.9	26.0	12.3	2.2	1.3
手	重度(A1~A3)	206	48.1	0.5	10.6	32.1	6.7	1.4	0.5
帳	中度(B1)	126	26.7	14.5	17.2	25.6	12.9	1.5	1.6
判	軽度(B2)	119	18.9	23.6	12.8	18.4	21.4	3.3	1.6
定	無回答	24	30.3	-	30.9	13.9	13.2	7.3	4.3
全	体	474	34.2	10.0	13.9	26.0	12.3	2.2	1.3
	一人暮らし	43	35.5	14.0	3.4	-	43.9	3.2	_
	夫婦のみ	16	19.9	14.4	7.8	28.8	29.1	-	_
世	二世代同居(親と本人)	328	32.0	10.0	18.5	31.2	5.1	2.0	1.2
帯	二世代同居(子と本人)	8	-	27.8	-	-	58.8	-	13.3
状	三世代同居	17	26.3	15.2	6.0	46.5	-	6.0	-
況	その他	31	53.0	-	5.6	17.2	15.7	5.3	3.3
	グループホーム・ケアホーム	22	52.4	6.2	-	14.7	26.4	0.4	-
	無回答	9	68.6	_			31.4		_

4. 日中の過ごし方や外出の状況等について

(1) 主な日中の過ごし方



「作業所や福祉施設で働いている」(30.2%)が最も多く、次いで「自宅で過ごしている」(24.0%)となっている。

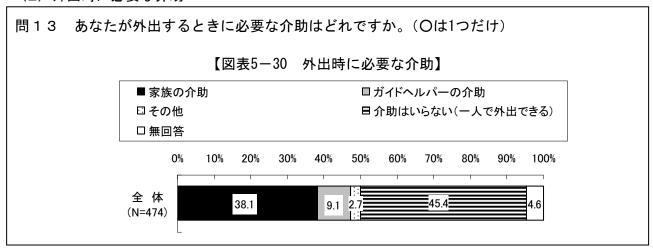
年齢別に詳細にみると、20歳代以下では「作業所や福祉施設」(37.5%)が最も多く、以下「社員・従業員として働いている」(27.3%)、「介護や訓練を受けるため施設に通っている」(15.3%)となっているが、30歳代以降はこれらの割合が徐々に低下し、代って「自宅で過ごしている」が増加し、50歳代~70歳代前半では「自宅で過ごしている」が3~4割台となっている。

手帳判定別にみると、「社員・従業員として働いている」の割合は障がいの程度(手帳判定)が軽いほど高く、反対に「作業所や福祉施設で働いている」の割合は障がいの程度(手帳判定)が重いほど高い。

		調			3	主な日中の	の過ごし方	ī		
		高数(人)	いている社員・従業員として働	いている作業所や福祉施設で働	め施設に通っている介護や訓練を受けるた	学校に通っている	参加している仲間同士の集まり等に	自宅で過ごしている	その他	無回答
全	体	474	20.4	30.2	13.4	0.7	0.2	24.0	8.5	2.5
	20歳代以下	152	27.3	37.5	15.3	2.3	ı	11.9	5.1	0.6
	30歳代	114	20.7	33.3	18.0	ı	0.9	20.7	4.5	1.8
年	40歳代	92	25.6	27.9	9.3	ı	_	26.7	8.1	2.3
齢	50歳代	53	10.5	28.9	5.3	1	_	44.7	7.9	2.6
詳	60~64歳	28	8.7	8.7	13.0	-	-	34.8	21.7	13.0
細	65~74歳	34	-	13.6	13.6	-	-	40.9	27.3	4.5
	75歳以上	1	_	14.3	14.3	-	_	14.3	42.9	14.3
L.	無回答	_	_	-	_	_	_	_	_	_
全	体	474	20.4	30.2	13.4	0.7	0.2	24.0	8.5	2.5
手	重度(A1~A3)	206	2.5	38.0	25.6	0.4	0.5	18.4	11.7	2.9
帳	中度(B1)	126	33.0	25.8	4.0	_	-	26.8	6.7	3.7
判	軽度(B2)	119	40.2	22.1	4.9	2.2	-	24.5	5.3	0.9
定	無回答	24	8.9	27.5	0.3	-	_	56.4	7.0	_

【図表5-29 年齢詳細別、手帳判定別 主な日中の過ごし方】(%)

(2) 外出時に必要な介助



「介助はいらない(一人で外出できる)」(45.4%)が半数弱で最も多く、次いで「家族の介助」(38.1%)となっている。

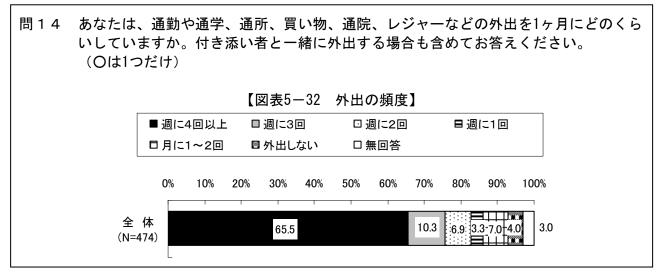
年齢別に詳細にみると、30歳代以下では40歳代以上に比べて「家族の介助」の割合が高く、4割を超えている。また、40・50歳代と60歳代前半では「介助はいらない(一人で外出できる)」人が半数を超えている。

手帳判定別にみると、A判定の重度者は、他に比べて外出に介助が必要な人の割合が高く、8割強 (84.3%) に介助が必要であり、特に「家族の介助」(64.7%) や「ガイドヘルパーの介助」(16.0%) の割合が他に比べて高い。

外出時に必要な介助 調 ガ 査 族 の 外助 回 イ 数 の ド 他 出は 答 介 ^ でい 人 助 きら ル るな パ Τ **〜い** の 介 助 人 45.4 全体 474 38.1 9.1 2.7 4.6 20歳代以下 152 46.6 8.5 2.3 39.2 3.4 30歳代 114 43.2 11.7 40.5 4.5 40歳代 34.9 1.2 年 92 4.7 55.8 3.5 50歳代 53 28.9 10.5 5.3 50.0 5.3 詳 60~64歳 28 13.0 8.7 13.0 56.5 8.7 65~74歳 34 27.3 13.6 4.5 45.5 9.1 75歳以上 28.6 14.3 42.9 14.3 1 無回答 全 体 474 2.7 45.4 38.1 9.1 4.6 重度(A1~A3) 206 64.7 16.0 3.6 11.7 4.0 帳 中度(B1) 126 22.9 4.9 2.5 62.5 7.2 判 軽度(B2) 119 9.5 1.2 1.8 84.5 3.0 定 無回答 24 31.5 12.5 0.7 50.8 4.5

【図表5-31 年齢詳細別、手帳判定別 外出時に必要な介助】(%)

(3) 外出の頻度



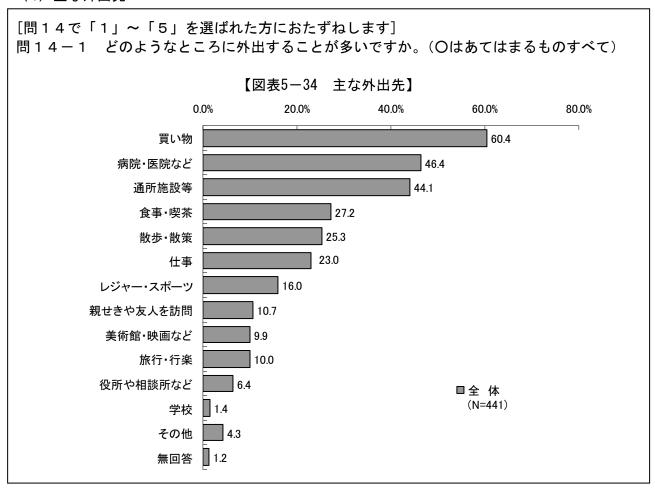
「週に4回以上」(65.5%)が7割弱を占めて最も多く、その他はいずれも1割前後となっている。 年齢別に詳細にみると、年齢が若いほど頻繁に外出している状況がみられ、特に20歳代以下では「週に4回以上」(81.8%)の割合が8割強を占めている。一方、65歳以上の高齢者では「外出しない」の割合が64歳以下に比べて高い。

手帳判定別にみると、軽度(B2)の人では「週に4回以上」(71.6%)の割合が7割強と高い。

	=		- H 1 - 1-H 22 3						
		=m			9	1出の頻原	ŧ		
		調査数(人)	週に4回以上	週 に 3 回	週 に 2 回	週 に 1 回	月 に 1 ~ 2 回	外出しない	無回答
全	体	474	65.5	10.3	6.9	3.3	7.0	4.0	3.0
	20歳代以下	152	81.8	4.5	2.3	2.3	5.7	2.3	1.1
	30歳代	114	72.1	7.2	4.5	2.7	6.3	0.9	6.3
年	40歳代	92	61.6	10.5	7.0	7.0	11.6	1.2	1.2
齢	50歳代	53	47.4	28.9	7.9	2.6	5.3	5.3	2.6
詳	60~64歳	28	39.1	8.7	26.1	4.3	8.7	8.7	4.3
細	65~74歳	34	31.8	18.2	18.2	_	4.5	22.7	4.5
	75歳以上	1	28.6	-	14.3	_	14.3	42.9	-
	無回答	_	-	-	_	_	_	_	_
	体	474	65.5	10.3	6.9	3.3	7.0	4.0	3.0
手	重度(A1~A3)	206	64.9	8.3	6.7	4.2	5.9	7.1	3.0
帳	中度(B1)	126	64.1	14.7	6.5	2.4	7.0	2.1	3.3
判	軽度(B2)	119	71.6	7.3	5.7	3.4	9.5	_	2.4
定	無回答	24	46.7	19.1	17.8	_	4.9	7.0	4.5

【図表5-33 年齢詳細別、手帳判定別 外出の頻度】(%)

(4) 主な外出先



月に1回以上外出する人に主な外出先をたずねたところ、「買い物」(60.4%)が最も多く、次いで「病院・医院など」(46.4%)、「通所施設等」(44.1%)となっている。

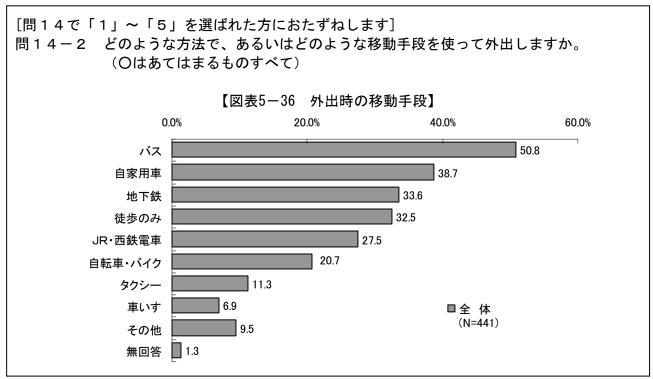
年齢別に詳細にみると、全般的に年齢が若いほど外出先が多様であり、20歳代以下では30歳代以上に 比べて「レジャー・スポーツ」(27.6%)、「親せきや友人を訪問」(17.6%)等で割合が高い。

手帳判定別にみると、A判定の重度者では他に比べて「通所施設等」(70.8%)や「病院・医院など」(51.8%)等の割合が高く、「仕事」(4.6%)等の割合が低い。

	<u> </u>	凶衣0	- 00	一四	中計批	\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	ר אנין נ	1 VC VI	<u>, </u>	. <i>ሌ</i> ሃጉi	11761	(/ 0 /	<u> </u>			
		-m							主なタ	十出先						
		調査数(人)	買い物	など 病院・医院	通所施設等	食事・喫茶	散歩・散策	仕事	スポーツ・	人を訪問	旅行 ・行楽	画など・映	所など相談	学 校	その他	無回答
全	体	441	60.4		44.1	27.2	25.3	23.0	16.0		10.0	9.9			4.3	1.2
	20歳代以下	147	63.5	42.4	50.6	32.9	24.7	28.8	27.6	17.6	12.9	14.1	3.5	3.5	1.2	0.6
	30歳代	106	60.2	53.4	53.4	27.2	30.1	24.3	17.5	12.6	9.7	12.6	8.7	1.0	3.9	1.0
年	40歳代	90	58.3	44.0	33.3	35.7	23.8	26.2	9.5	3.6	11.9	6.0	6.0	-	7.1	3.6
齢 詳	50歳代	49	65.7	54.3	25.7	11.4	20.0	14.3	5.7	_	8.6	8.6	11.4	-	11.4	_
詳	60~64歳	25	50.0	55.0	35.0	15.0	30.0	5.0	1	_	_	ı	5.0	-	5.0	-
細	65~74歳	25	50.0	25.0	50.0	6.3	18.8	6.3	1	18.8	_	ı	6.3	-	-	-
	75歳以上	0	50.0	75.0	75.0	_	25.0	_	25.0	_	_	ı	_	-	25.0	-
	無回答	_	-	_	-	-	-	1	I	_	_	ı	_	-	_	-
	体	441	60.4	46.4	44.1	27.2	25.3	23.0	16.0	10.7	10.0	9.9	6.4	1.4	4.3	1.2
手	重度(A1~A3)	185	54.7	51.8	70.8	28.4	24.4	4.6	18.4	13.5	11.0	7.1	6.0	1.0	4.9	0.6
帳	中度(B1)	119	67.7	43.4	26.8	28.8	22.1	33.6	15.5	8.4	8.9	7.7	4.6	0.7	3.0	-
判	軽度(B2)	116	63.3	40.4	21.1	25.9	29.7	43.6	12.0	10.6	9.3	17.2	9.9	3.0	4.4	3.5
定	無回答	21	52.5	48.7	34.8	15.1	26.1	10.0	19.8	-	11.8	6.7	_	-	6.7	_

【図表5-35 年齢詳細別、手帳判定別 主な外出先】(%)

(5) 外出時の移動手段



月に1回以上外出する人に外出時の移動手段をたずねたところ、「バス」(50.8%) が最も多く、次いで「自家用車」(38.7%)、「地下鉄」(33.6%) となっている。

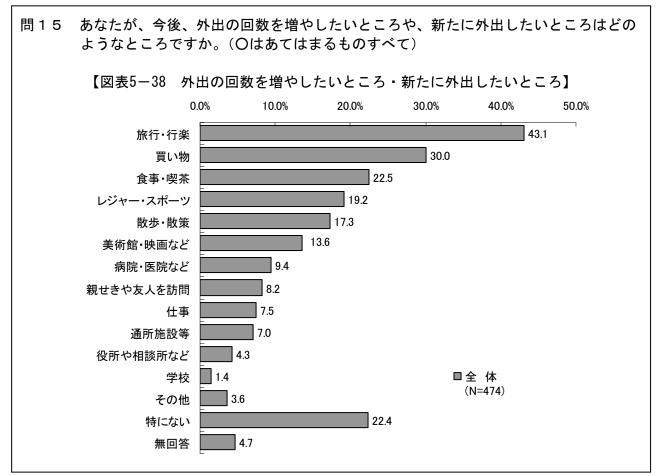
年齢別に詳細にみると、40歳代以下の過半数が「バス」を利用している。また、30歳代以下では他に 比べて「自家用車」や「JR・西鉄電車」の割合が高い。

手帳判定別にみると、A判定の重度者では他に比べて「自家用車」(56.4%) や「タクシー」(18.0%)、「車いす」(12.7%) の割合が高い。

	[四秋]	0, -		1447337	J PIX T	1,72,71	/ 1 Д	1) 4712	93 3 1	1 (70)		
	_	-m		•	•	Ą	出時の	移動手段	元	•		
		調査数(人)	バス	自家用車	地下鉄	徒歩のみ	車JR・西鉄電	ク転車・バイ	タクシー	車 い す	その他	無回答
全	体	441	50.8	38.7	33.6	32.5	27.5	20.7	11.3	6.9	9.5	1.3
	20歳代以下	147	57.1	48.2	43.5	37.6	30.0	24.7	12.9	4.1	11.8	-
	30歳代	106	54.4	52.4	31.1	28.2	34.0	11.7	12.6	9.7	9.7	2.9
年	40歳代	90	53.6	31.0	34.5	27.4	26.2	26.2	11.9	8.3	4.8	1.2
齢	50歳代	49	48.6	22.9	28.6	31.4	20.0	25.7	5.7	2.9	-	2.9
詳	60~64歳	25	25.0	10.0	20.0	30.0	20.0	15.0	10.0	15.0	15.0	_
細	65~74歳	25	18.8	12.5	6.3	43.8	12.5	12.5	6.3	6.3	25.0	_
	75歳以上	0	25.0	25.0	_	25.0	_	_	25.0	_	50.0	_
	無回答	ı	_	-	_	-	_	_	_	_	_	_
全	体	441	50.8	38.7	33.6	32.5	27.5	20.7	11.3	6.9	9.5	1.3
手	重度(A1~A3)	185	46.2	56.4	32.5	27.4	19.1	5.2	18.0	12.7	17.2	_
帳	中度(B1)	119	54.5	33.4	30.0	37.8	29.0	25.3	7.9	2.1	3.2	2.9
判	軽度(B2)	116	58.1	15.0	39.7	38.3	38.4	42.4	4.5	2.1	4.4	1.8
定	無回答	21	29.3	45.0	30.1	15.3	32.6	11.6	9.0	10.0	5.7	_

【図表5-37 年齢詳細別、手帳判定別 外出時の移動手段】(%)

(6) 外出の回数を増やしたいところ・新たに外出したいところ



「旅行・行楽」(43.1%) が最も多く、次いで「買い物」(30.0%)、「食事・喫茶」(22.5%) となっている。また、「特にない」(22.4%) も2割強を占めている。

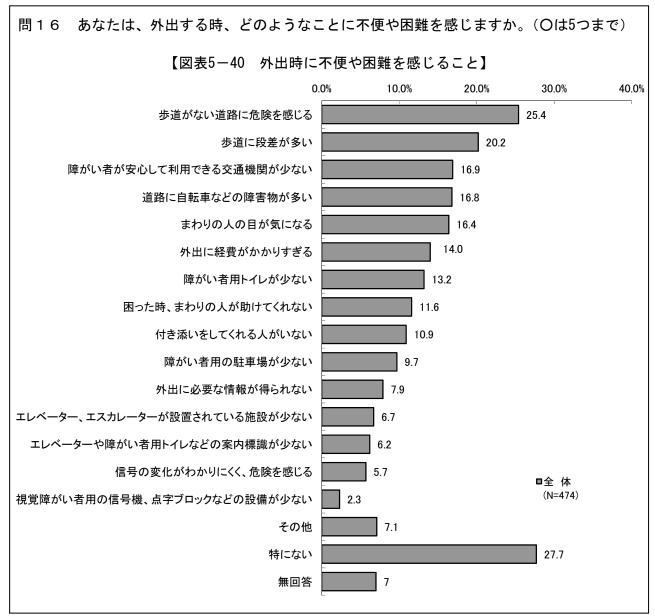
年齢別に詳細にみると、概ね年代が若いほど、外出の回数を増やしたい・新たに外出したいと思っているところが多く、特に、20歳代以下では30歳代以上に比べて「旅行・行楽」(53.4%)や「レジャー・スポーツ」(25.0%)等の割合が高い。

手帳判定別にみると、A判定の重度者では他に比べて「旅行・行楽」(51.0%)や「食事・喫茶」(27.7%)、「散歩・散策」(22.6%)等の割合が高い。また、障がいの程度(手帳判定)が軽いほど「仕事」の割合が高くなっている。

【図表5-39 年齢詳細別、手帳判定別 外出の回数を増やしたいところ・新たに外出したいところ】(%)

						外出の	回数を	を増や	したい	ところ	新た	に外出	したじ	トトころ)		
		調査数(人)	旅行·行楽	買い物	食事・喫茶	ポーツレジャー・ス	散歩・散策	ま術館・映画	が ・ 医院な	を訪問 おしまり あまり あんり あんり あんり あんり おんり おんり おんり かんり かんり かんり かんり かんり かんり かんり かんり かんり か	仕事	通所施設等	などの相談所	学校	その他	特にない	無回答
全		474	43.1	30.0	22.5	19.2	17.3	13.6	9.4	8.2	7.5	7.0	4.3	1.4	3.6	22.4	4.7
	20歳代以下	152	53.4	31.3	22.2	25.0	16.5	16.5	5.1	10.2	9.7	8.5	3.4	0.6	2.8	22.2	2.3
	30歳代	114	47.7	23.4	24.3	22.5	24.3	17.1	9.9	9.9	9.0	9.0	5.4	1.8	1.8	18.0	2.7
年	40歳代	92	39.5	32.6	24.4	16.3	15.1	12.8	12.8	5.8	7.0	3.5	2.3	2.3	3.5	24.4	3.5
齢	50歳代	53	39.5	36.8	18.4	18.4	13.2	10.5	15.8	7.9	5.3	7.9	10.5	2.6	5.3	26.3	10.5
詳	60~64歳	28	13.0	26.1	13.0	8.7	17.4	8.7	8.7	8.7	-	8.7	4.3	-	-	26.1	13.0
細	65~74歳	34	22.7	31.8	27.3	-	9.1	-	9.1	-	4.5	_	_	-	13.6	22.7	9.1
	75歳以上	1	14.3	28.6	14.3	-	28.6	-	-	14.3	-	_	_	-	-	28.6	28.6
	無回答	-	_	-	-	_	-	-	-	-	-	-	-	_	-	-	_
全	体	474	43.1	30.0	22.5	19.2	17.3	13.6	9.4	8.2	7.5	7.0	4.3	1.4	3.6	22.4	4.7
手	重度(A1~A3)	206	51.0	28.7	27.7	21.3	22.6	11.5	11.8	7.1	1.7	8.5	2.6	1.0	5.9	17.3	5.2
帳	中度(B1)	126	32.0	32.7	18.8	16.0	12.7	10.6	8.3	11.8	10.8	6.5	4.1	0.8	3.0	28.2	1.9
判	軽度(B2)	119	41.4	28.6	15.5	18.1	14.2	20.0	6.4	5.9	14.5	5.1	6.3	1.6	0.9	25.4	4.4
定	無回答	24	42.4	33.1	32.9	22.8	10.6	14.8	10.2	9.6	5.9	5.9	9.6	5.9	_	19.5	16.7

(7) 外出時に不便や困難を感じること



「歩道がない道路に危険を感じる」(25.4%)が最も多く、次いで「歩道に段差が多い」(20.2%)、「障がい者が安心して利用できる交通機関が少ない」(16.9%)となっている。また、「特にない」(27.7%)も3割弱を占めている。

年齢2区分別にみると、65歳以上の高齢者では64歳以下に比べて「付き添いをしてくれる人がいない」 (22.8%) の割合が高く、2割を超えている。

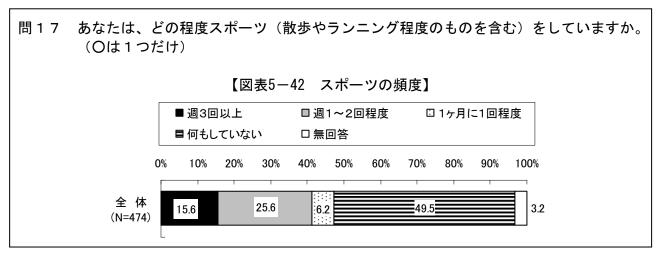
年齢別に詳細にみると、20歳代以下では30歳代以上に比べて「まわりの人の目が気になる」(22.7%)の割合が高い。また、 $60\sim64$ 歳では、「歩道に段差が多い」(47.8%)の割合が高く、半数弱となっている。

手帳判定別にみると、A判定の重度者では他に比べて「歩道がない道路に危険を感じる」(31.3%)や「障がい者が安心して利用できる交通機関が少ない」(26.9%)、「歩道に段差が多い」(26.7%)等、多くの項目で割合が高い。一方、B判定の中度者・軽度者では「特にない」の割合が4割前後となっている。

【図表5-41 年齢(詳細、2区分)別、手帳判定別 外出時に不便や困難を感じること】(%)

									外出	時にる	便や	困難を	感じる	ること						
		調査数(人)	歩道がない道路に危険を感じる	歩道に段差が多い	交通機関が少ない障がい者が安心して利用できる	い道路に自転車などの障害物が多	まわりの人の目が気になる	外出に経費がかかりすぎる	障がい者用トイレが少ない	くれない困った時、まわりの人が助けて	い付き添いをしてくれる人がいな	障がい者用の駐車場が少ない	外出に必要な情報が得られない	が設置されている施設が少ないエレベーター、エスカレーター	レなどの案内標識が少ないエレベーター や障がい者用トイ	険を感じる信号の変化がわかりにくく、危	ブロックなどの設備が少ない視覚障がい者用の信号機、点字	その他	特にない	無回答
全(本	474	25.4	20.2	16.9	16.8	16.4	14.0	13.2	11.6	10.9	9.7	7.9	6.7	6.2	5.7	2.3	7.1	27.7	7.0
	64歳以下	439	25.9	20.4	17.2	17.5	16.6	14.0	13.1	11.9	10.0	10.4	7.4	6.8	6.7	4.7	2.5	6.2	28.5	6.5
公齡	65歳以上	35	18.1	18.1	14.1	8.9	13.4	13.6	13.9	8.9	22.8	-	13.9	4.7	-	17.9	-	18.1	18.6	13.4
" 2	無回答	-	-	-	-	-	-	-	_	-	_	-	-	-	_	-	-	-	-	-
全	本	474	25.4	20.2	16.9	16.8	16.4	14.0	13.2	11.6	10.9	9.7	7.9	6.7	6.2	5.7	2.3	7.1	27.7	7.0
	20歳代以下	152	29.0	15.9	16.5	15.3	22.7	14.8	14.2	12.5	13.1	11.9	8.5	4.5	5.7	5.1	0.6	10.8	25.6	2.8
	30歳代	114	23.4	21.6	18.9	13.5	18.0	16.2	17.1	11.7	10.8	16.2	4.5	7.2	10.8	4.5	3.6	6.3	23.4	10.8
年	40歳代	92	25.6	17.4	16.3	20.9	9.3	9.3	10.5	7.0	8.1	7.0	7.0	11.6	4.7	1.2	3.5	2.3	38.4	5.8
齢	50歳代	53	18.4	21.1	23.7	23.7	13.2	15.8	10.5	15.8	7.9	5.3	13.2	7.9	5.3	7.9	5.3	2.6	31.6	5.3
詳	60~64歳	28	34.8	47.8	4.3	21.7	8.7	13.0	4.3	17.4	-	-	4.3	-	4.3	8.7	-	-	26.1	13.0
細	65~74歳	34	18.2	18.2	13.6	9.1	13.6	13.6	13.6	9.1	22.7	-	13.6	4.5	-	18.2	-	18.2	18.2	13.6
	75歳以上	1	14.3	14.3	42.9	-	-	14.3	28.6	_	28.6	-	28.6	14.3	_	_	_	14.3	42.9	_
	無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	_	-	-	-	-	_	-	-	_	-	_
全(本	474	25.4	20.2	16.9	16.8	16.4	14.0	13.2	11.6	10.9	9.7	7.9	6.7	6.2	5.7	2.3	7.1	27.7	7.0
手帳	重度 (A1~A3)	206	31.3	26.7	26.9	19.3	18.8	9.5	22.6	12.2	16.6	18.2	8.5	8.6	8.8	8.3	2.5	8.3	13.2	8.9
甲女 半川	中度(B1)	126	18.6	10.9	12.2	10.5	13.5	21.1	6.4	13.1	6.7	3.1	9.1	5.0	3.0	4.4	3.6	5.6	36.5	7.7
判定	軽度(B2)	119	20.4	18.4	5.7	18.5	16.6	15.0	2.7	9.6	5.5	1.6	5.1	5.2	3.7	1.0	1.2	7.0	44.3	2.4
Æ	無回答	24	34.4	22.6	12.2	20.7	10.3	10.3	19.6	9.6	11.5	10.4	10.6	5.9	12.5	13.2	_	4.7	23.8	9.1

(8) スポーツの頻度



「何もしていない」(49.5%) が半数を占めて最も多く、次いで「週1~2回程度」(25.6%) となっている。

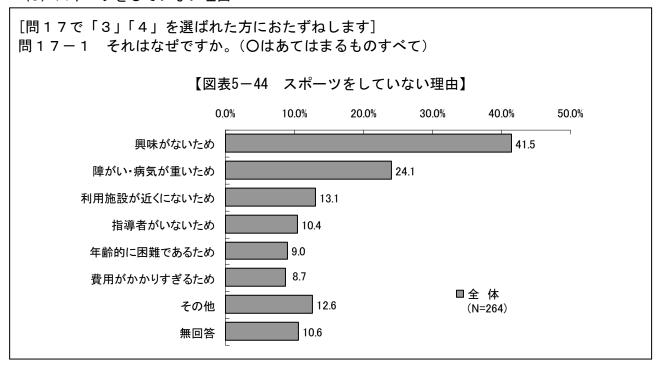
年齢別にみても、大きな違いは見られない。

手帳判定別にみると、障がいの程度(手帳判定)が軽いほど、スポーツを頻繁にしている人の割合が高く、B判定の中度者・軽度者では重度者に比べて「週3回以上」の割合が高く、2割を超えている。一方、A判定の重度者では、頻繁にはスポーツをしていないものの、「週1~2回程度」(30.4%)や「 1_{7} 月に1回程度」(10.2%)の割合が高く、「何もしていない」(46.4%)の割合は比較的低くなっている。

【図表5-43 年齢(詳細、2区分)別、手帳判定別 スポーツの頻度】(%)

		調		スァ	ポーツの頻	度	
		調査数(人)	週3回以上	週1~2回程度	1ヶ月に1回程度	何もしていない	無回答
全	体	474	15.6	25.6	6.2	49.5	3.2
区版	64歳以下	439	16.1	25.4	6.7	48.7	3.1
ム圏	65歳以上	35	8.9	27.3	ı	59.1	4.7
	無回答	-	_	-	ı	-	_
全	体	474	15.6	25.6	6.2	49.5	3.2
	20歳代以下	152	13.1	32.4	8.0	44.3	2.3
	30歳代	114	19.8	18.0	8.1	49.5	4.5
年	40歳代	92	16.3	25.6	5.8	51.2	1.2
齢	50歳代	53	15.8	18.4	2.6	57.9	5.3
詳	60~64歳	28	17.4	30.4	4.3	43.5	4.3
細	65~74歳	34	9.1	27.3	I	59.1	4.5
	75歳以上	1	_	28.6	ı	57.1	14.3
	無回答	_	_	_	-	_	_
全	体	474	15.6	25.6	6.2	49.5	3.2
手	重度(A1~A3)	206	8.1	30.4	10.2	46.4	4.8
帳	中度(B1)	126	21.1	23.3	2.2	51.0	2.4
判	軽度(B2)	119	23.1	20.5	2.8	51.7	1.9
定	無回答	24	12.5	21.4	9.6	56.2	0.3

(9) スポーツをしていない理由



スポーツをしていない人、及び1ヶ月に1回程度しかしない人に、その理由をたずねたところ、「興味がないため」(41.5%)が最も多く、次いで「障がい・病気が重いため」(24.1%)となっている。

年齢別(調査数が10人未満である75歳以上を除く)に詳細にみると、20歳代以下では30歳代以上に比べて「利用施設が近くにないため」(20.7%)や「指導者がいないため」(17.4%)等の割合がやや高い。また、60歳以上では「年齢的に困難であるため」の割合が半数前後を占めている。

手帳判定別にみると、A判定の重度者では他に比べて「障がい・病気が重いため」(43.6%)の割合が高く、B2判定の軽度者では「興味がないため」(65.1%)が7割弱と高い。

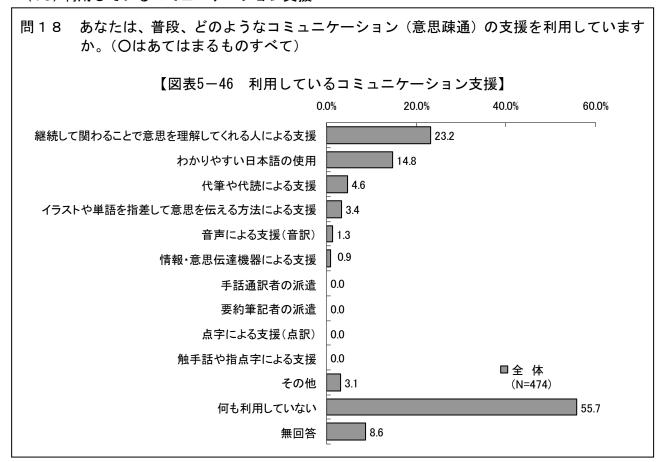
 【図表5-45 年齢詳細別、手帳判定別 スポーツをしていない理由】(%)

 スポーツをしていない理由

 調 興 い障 な利 め指 る年 る費 そ

					~//	· /~C	(0.40.4	ЕЩ		
		調査数(人)	興味がないため	いため 「いため 「なが重	ないため利用施設が近くに	めおりないた	るため年齢的に困難であ	るため	その他	無回答
全	体	264	41.5	24.1	13.1	10.4	9.0	8.7	12.6	10.6
	20歳代以下	80	44.6	20.7	20.7	17.4	-	10.9	12.0	6.5
	30歳代	66	37.5	26.6	12.5	14.1	3.1	9.4	17.2	12.5
年	40歳代	52	49.0	26.5	16.3	-	4.1	10.2	8.2	6.1
齢	50歳代	32	56.5	13.0	4.3	13.0	8.7	8.7	4.3	21.7
詳	60~64歳	14	18.2	27.3	_	-	54.5	-	27.3	9.1
細	65~74歳	20	15.4	38.5	_	-	46.2	-	15.4	15.4
	75歳以上	0	50.0	50.0	25.0	25.0	_	25.0	_	_
	無回答	-	-	_	_	-	_	_	_	_
全	体	264	41.5	24.1	13.1	10.4	9.0	8.7	12.6	10.6
手	重度(A1~A3)	116	29.4	43.6	16.7	14.7	11.1	6.9	13.8	3.7
帳	中度(B1)	67	42.7	10.9	9.6	7.7	3.4	12.4	7.2	24.1
判	軽度(B2)	65	65.1	8.4	10.3	5.6	10.8	8.6	13.4	5.9
定	無回答	16	29.3	-	13.5	9.0	10.1	6.9	23.3	23.6

(10) 利用しているコミュニケーション支援



回答者全体では「何も利用していない」(55.7%)が6割弱を占めている。利用しているものとしては、「継続して関わることで意思を理解してくれる人による支援」(23.2%)、「わかりやすい日本語の使用」(14.8%)等が比較的多くなっている。

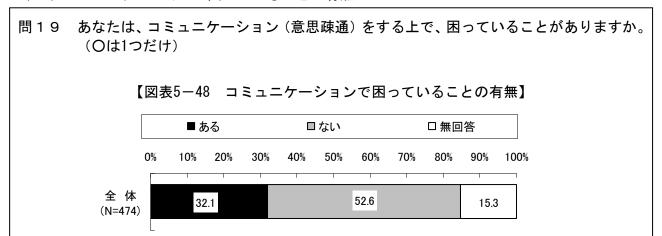
年齢別に詳細にみると、20歳代以下では「継続して関わることで意思を理解してくれる人による支援」 (30.7%)、「わかりやすい日本語の使用」 (22.2%) の割合が高くなっている。また、40・50歳代では「何も利用していない」の割合が高く、6割を超えている。

手帳判定別にみると、A判定の重度者では他に比べて「継続して関わることで意思を理解してくれる人による支援」(40.7%)の割合が高く、4割を占めている。また、障がいの程度(手帳判定)が軽いほど「何も利用していない」の割合が高い。

【図表5-47 年齢詳細別、手帳判定別 利用しているコミュニケーション支援】(%)

		=m				₹	引用して	こいる=	ミュニ	ケーショ	シ支援	<u> </u>			
		調査数(人)	解してくれる人による支援継続して関わることで意思を理	わかりやすい日本語の使用	代筆や代読による支援	を伝える方法による支援イラストや単語を指差して意思	音声による支援(音訳)	情報・意思伝達機器による支援	手話通訳者の派遣	要約筆記者の派遣	点字による支援(点訳)	触手話や指点字による支援	その他	何も利用していない	無回答
全	体	474	23.2	14.8	4.6	3.4	1.3	0.9	-	-	-	_	3.1	55.7	8.6
	20歳代以下	152	30.7	22.2	4.5	5.1	-	_	_	_	-	_	4.0	49.4	4.5
	30歳代	114	27.9	14.4	5.4	2.7	0.9	1.8	_	_	-	_	3.6	50.5	10.8
年	40歳代	92	16.3	8.1	3.5	1.2	1.2	2.3	_	_	-	-	2.3	64.0	9.3
齢	50歳代	53	18.4	10.5	7.9	5.3	2.6	-	_	-	-	-	_	68.4	7.9
詳	60~64歳	28	13.0	8.7	4.3	4.3	8.7	_	_	_	_	-	8.7	56.5	8.7
細	65~74歳	34	9.1	13.6		_	_	_	_	_	_	_	_	59.1	18.2
	75歳以上	1	28.6	_		_	_	_	_	_	_	_	14.3	57.1	_
	無回答	_	_	_	_	_	-	_	_	_	_	_	_	_	_
全		474	23.2	14.8	4.6	3.4	1.3	0.9	-	-	_	1	3.1	55.7	8.6
手	重度(A1~A3)	206	40.7	19.0	4.2	5.1	1.6	1.0	_	_	_	_	3.3	38.1	7.9
帳	中度(B1)	126	13.6	15.7	5.9	1.8	1.1	-	-	-	-	-	2.3	63.1	11.2
判	軽度(B2)	119	6.9	8.7	4.7	2.7	1.0	1.8	_	_	_	-	3.4	77.6	3.3
定	無回答	24	4.9	4.3	_	_	_	_	_	_	_	_	4.3	59.8	26.6

(11) コミュニケーションで困っていることの有無



回答者全体では「ない」(52.6%)が過半数を占めており、「ある」(32.1%)は3割強となっている。 年齢別に詳細にみると、20歳代以下では30歳代以上に比べて「ある」(50.6%)の割合が高く、半数を占めている。一方、50歳代と $60\sim64$ 歳では「ない」の割合が7割を超えて高い。

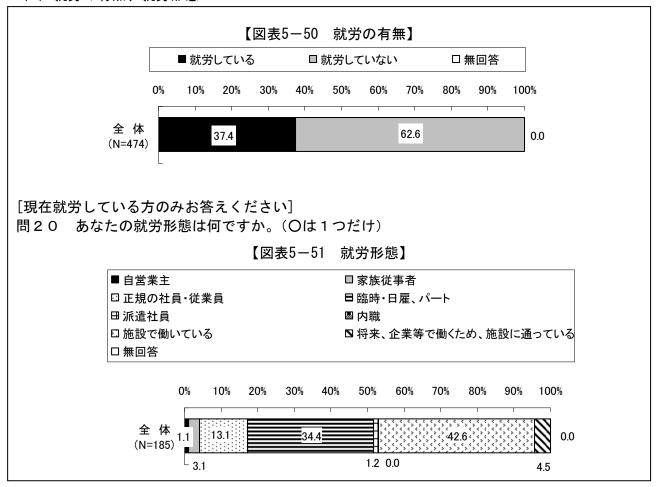
手帳判定別にみると、障がいの程度(手帳判定)が重度の人ほど「ある」の割合が高く、A判定の重度者では4割強(41.7%)を占めている。

【図表5-49 年齢詳細別、手帳判定別 コミュニケーションで困っていることの有無】(%)

		調査	コミュニケー	ーションで困っ の有無	ていること
		数(人)	ある	ない	無回答
全	体	474	32.1	52.6	15.3
	20歳代以下	152	50.6	38.6	10.8
	30歳代	114	32.4	45.9	21.6
年	40歳代	92	18.6	62.8	18.6
齢	50歳代	53	15.8	73.7	10.5
詳	60~64歳	28	17.4	73.9	8.7
細	65~74歳	34	22.7	59.1	18.2
	75歳以上	1	42.9	42.9	14.3
	無回答	I	-	_	_
全	体	474	32.1	52.6	15.3
手	重度(A1~A3)	206	41.7	38.4	19.9
帳	中度(B1)	126	21.3	65.0	13.7
判	軽度(B2)	119	31.4	60.9	7.7
定	無回答	24	10.6	67.5	21.9

5. 就労の状況について

(1) 就労の有無、就労形態



回答者474人の4割弱(37.4%)は就労している。就労している人の就労形態では「施設で働いている」(42.6%)が4割強と最も多く、次いで「臨時・日雇、パート」(34.4%)となっている。

年齢2区分別にみると、65歳以上の高齢者では就労していない人が9割弱(86.4%)と大半を占めている。

年齢別に詳細にみると、40歳代までは4割前後が就労しているが、50歳代・60~64歳では2割台に低下し、就労していない人が7割を超えている。

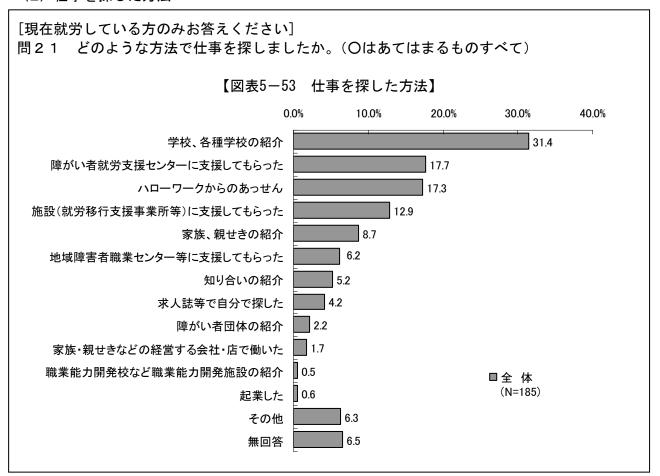
手帳判定別にみると、A判定の重度者では他に比べて就労している人の割合が低く、2割(19.1%)に留まっており、就労形態も「施設で働いている」(83.5%)が8割を超えている。

また、「正規の社員・従業員」や「臨時・日雇、パート」等の一般就労の割合は、障がいの程度(手帳判定)が軽いほど高い。

【図表5-52 年齢(詳細、2区分)別、手帳判定別 就労の有無、就労形態】(%)

			就	労の有	無					京	大労 形 危	焦			
		調査数(人)	就労している	就労していない	無回答	調査数(人)	自営業主	家族従事者	正規の社員・従業員	臨時・日雇、パート	派遣社員	内職	施設で働いている	め、施設に通っている将来、企業等で働くた	無回答
全	体	474	37.4	62.6	_	185	1.1	3.1	13.1	34.4	1.2	_	42.6	4.5	_
一年	64歳以下	439	39.2	60.8	_	181	1.1	2.3	13.4	35.3	1.2	_	41.9	4.6	-
区分	65歳以上	35	13.6	86.4	_	5	-	32.8	_	_	_	_	67.2	_	-
⁷⁷ 2	無回答	-	-	_	_	_	-	_	-	_	_	_	_	_	-
全	体	474	37.4	62.6	_	185	1.1	3.1	13.1	34.4	1.2	_	42.6	4.5	_
	20歳代以下	152	44.9	55.1	_	73	-	_	10.6	44.7	1.2	_	36.5	7.1	-
	30歳代	114	38.7	61.3	_	46	4.4	4.4	11.1	33.3	_	_	42.2	4.4	-
年	40歳代	92	41.9	58.1	_	40	-	5.4	18.9	32.4	_	_	40.5	2.7	-
齢	50歳代	53	28.9	71.1	_	15	_	_	9.1	18.2	9.1	_	63.6	-	_
詳	60~64歳	28	21.7	78.3	_	6	_	_	40.0	_	_	_	60.0	_	_
細	65~74歳	34	13.6	86.4	_	5	_	33.3	_	_	_	_	66.7	_	_
	75歳以上	1	14.3	85.7	_	0	-	_	_	-	_	_	100.0	_	-
	無回答	_	_	_	_	_	_	-	-	_	_	_	_	_	_
	体	474	37.4	62.6	_	185	1.1	3.1	13.1	34.4	1.2	_	42.6	4.5	_
手	重度(A1~A3)	206	19.1	80.9	_	42	2.4	_	3.3	4.1	_	-	83.5	6.7	_
帳	中度(B1)	126	50.5	49.5	_	66	1.5	1.6	14.7	44.2	2.1	-	31.7	4.2	-
判	軽度(B2)	119	57.3	42.7	_	71		4.4	16.7	45.0	1.2		28.8	3.9	_
定	無回答	24	25.9	74.1	_	6	_	25.5	20.1	14.1	_	_	40.2	_	_

(2) 仕事を探した方法



就労している人に仕事を探した方法をたずねたところ、「学校、各種学校の紹介」(31.4%) が最も多く、次いで「障がい者就労支援センターに支援してもらった」(17.7%)、「ハローワークからのあっせん」(17.3%) となっている。

年齢別に詳細にみると、20歳以下では30歳代以上に比べて「学校、各種学校の紹介」(49.4%)の割合が高く、半数を占めている。

手帳判定別にみると、A判定の重度者では「学校、各種学校の紹介」(42.5%)や「施設(就労移行支援事業所等)に支援してもらった」(23.8%)の割合が高い。また、B2の軽度者では他に比べて「障がい者就労支援センターに支援してもらった」(25.2%)の割合が3割弱と高い。

就労形態別にみると、正規の社員・従業員では他に比べて「学校、各種学校の紹介」(47.5%)の割合が高く、半数弱を占めている。また、臨時・日雇い・パートでは他に比べて「障がい者就労支援センターに支援してもらった」(28.4%)の割合が3割弱と高い。

【図表5-54 年齢詳細別、手帳判定別、就労形態別 仕事を探した方法】(%)

		調						仕	事を探	した方	法					
		· 查数(人)	学校、各種学校の紹介	援してもらった 障がい者就労支援センター に支	ハローワー クからのあっせん	に支援してもらった施設(就労移行支援事業所等)	家族、親せきの紹介	援してもらった 地域障害者職業センター等に支	知り合いの紹介	求人誌等で自分で探した	障がい者団体の紹介	社・店で働いた家族・親せきなどの経営する会	起業した	発施設の紹介職業能力開発校など職業能力開	その他	無回答
	体	185	31.4	17.7	17.3	12.9	8.7	6.2	5.2	4.2	2.2	1.7	0.6		6.3	6.5
	20歳代以下	73	49.4	21.2	12.9	8.2	11.8	4.7	3.5	3.5	1.2	_	-	1.2	1.2	3.5
	30歳代	46	26.7	17.8	22.2	11.1	4.4	4.4	2.2	4.4	2.2	4.4	2.2	-	4.4	15.6
	40歳代	40	13.5	18.9	24.3	21.6	10.8	8.1	8.1	8.1	5.4	2.7	-	_	8.1	2.7
	50歳代	15	27.3	_	9.1	9.1	_	18.2	18.2	_	_	_	_	_	18.2	_
	60~64歳	6	-	-	20.0	20.0	20.0	_	-	-	_	_	_	-	20.0	20.0
細	65~74歳	5	_	33.3	_	33.3	_	_	_	_	-	_	_	_	33.3	_
	75歳以上	0	100.0	_	-	-	_	_	-	-	_	_	ı	_	-	_
	無回答	1	_	_	-	-	_	_	-	_	-	-	1	_	I	_
全	体	185	31.4	17.7	17.3	12.9	8.7	6.2	5.2	4.2	2.2	1.7	0.6	0.5	6.3	6.5
手	重度(A1~A3)	42	42.5	5.1	-	23.8	11.3	4.6	4.5	2.1	7.0	_	_	_	5.0	9.0
	中度(B1)	66	31.5	19.3	24.6	8.4	9.2	8.6	5.0	2.8	1	1	1.5	_	7.1	6.2
	軽度(B2)	71	25.9	25.2	20.3	10.6	6.3	5.4	6.2	7.2	1.5	4.4	-	1.2	2.7	5.8
	無回答	6	17.5	-	20.1	14.1	14.1		-			_	_	_	48.3	_
全	11	185	31.4	17.7	17.3	12.9	8.7	6.2	5.2	4.2	2.2	1.7	0.6		6.3	6.5
	自営業主	2	-	-	_	-	-	-	-	-	_	1	50.0	_	50.0	_
	家族従事者	6	-	-	_	-	-	-	-	-	_	54.2	_	_	27.2	18.6
	正規の社員・従業員	24	47.5	20.7	33.0	12.2	4.4	4.4	4.4	4.2	_	_	_	_	9.3	_
	臨時・日雇、パート	64	30.3	28.4	29.3	7.1	8.6	3.2	1.7	9.0	_	_	_	1.4	5.5	1.6
労	派遣社員	2	1	-	61.7	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	38.3
形	内職	_	-	_	-	-	-	-	_	_	-	_	-	_	_	_
態	施設で働いている	79	31.4	10.1	3.8	19.5	8.6	9.5	9.5	1.4	3.7	-	_	_	4.2	8.9
	将来、企業等で働くため、 施設に通っている	8	31.2	20.8	10.4	12.9	33.7	10.4	_	_	12.9	_	_	_	-	24.7
1	無回答	_	-	_	_	_	_	-	_	_	_	_	-	_	_	_

(3) 月収

[現在就労している方のみお答えください] あなたの、ふだんの月収(手取り額)はどのくらいですか。賞与などの臨時的に支給さ 問22 れるものは除きます。(〇は1つだけ) 【図表5-55 月収】 ■ 3,000円未満 □3,000円~5,000円未満 □ 5,000円~1万円未満 ■1万円~3万円未満 母3万円~5万円未満 ■5万円~10万円未満 □ 10万円~15万円未満 № 15万円~20万円未満 □ 20万円~30万円未満 図30万円以上 □収入はない □無回答 0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100% 全 体 4.4 13.3 13.4 18.9 2.7 (N=185)1.7 0.9 1.1 3.7

就労による月収は、「5万円~10万円未満」(28.2%)が最も多く、次いで「10万円~15万円未満」(18.9%)、「5,000円~1万円未満」(13.3%)となっている。

年齢別(調査数が10人未満の60歳以上を除く)に詳細にみると、40歳代までは「5万円~10万円未満」の割合が最も高く、50歳代では「5,000円~1万円未満」の割合が最も高い。

就労形態別にみると、正規の社員・従業員では「10万円~15万円未満」(61.0%)、臨時・日雇、パートでは「5万円~10万円未満」(59.4%)がそれぞれ6割前後を占めて最も多い。また、施設で働いている人の半数強(54.4%)は月収1万円未満である。

月収 満 1 円 1 円 1 円 2 3 5 3 万 5 満 3 未 5 査 円. 満万 未 0 未 5 未 0 回 万 万 0 入 数 0 0 0 未 0 円 円 円 満万 満万 満万 万 は 答 S 0 0 満 0 S S 円 円 円 な 0 円 人 0 0 3 5 以 い 0 0 1 円 円円 円 万 万 0 2 3 未「 円 円 未 万 5 0 0 満 満 1 未 未 万 万 万 全 体 13.3 28.2 18.9 1.7 1.1 185 8.4 4.4 13.4 3.3 0.9 3.7 2.7 20歳代以下 73 8.2 4.7 9.4 15.3 3.5 36.5 16.5 2.4 3.5 30歳代 22.2 2.2 4.4 46 8.9 2.2 17.8 4.4 4.4 24.4 6.7 2.2 年 40歳代 40 13.5 32.4 18.9 5.4 2.7 13.5 8.1 5.4 齢 50歳代 15 9.1 27.3 18.2 9.1 9.1 18.2 9.1 詳 60~64歳 6 20.0 40.0 40.0 細 65~74歳 5 33.3 66.7 75歳以上 0 100.0 無回答 全 体 185 13.3 1.7 8.4 4.4 13.4 3.3 28.2 18.9 1.1 0.9 3.7 自営業主 50.0 50.0 2 18.6 17.8 家族従事者 6 17.8 45.8 正規の社員・従業員 28.8 4.4 24 5.7 61.0 就|臨時・日雇、パート 1.4 64 1.7 8.1 59.4 24.8 1.7 1.4 1.7 派遣社員 2 38.3 61.7 内職 施設で働いている 79 18.3 10.4 25.7 28.2 7.6 3.1 1.3 2.9 2.6 将来、企業等で働くた 8 12.9 10.4 20.8 10.4 12.3 10.4 22.7 め、施設に通っている 無回答

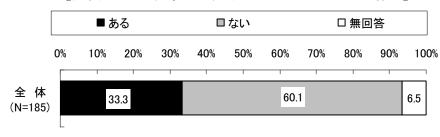
【図表5-56 年齢詳細別、就労形態別 月収】(%)

(4) 仕事上の困りごとや心配なことの有無

[現在就労している方のみお答えください]

問23 あなたは、仕事を続けていく上で困っていることや心配なこと、悩んでいることがありますか。(Oは1つだけ)

【図表5-57 仕事上の困りごとや心配なことの有無】



仕事上の困りごとや心配なことについて、「ない」(60.1%)が6割、「ある」(33.3%)が3割強となっている。

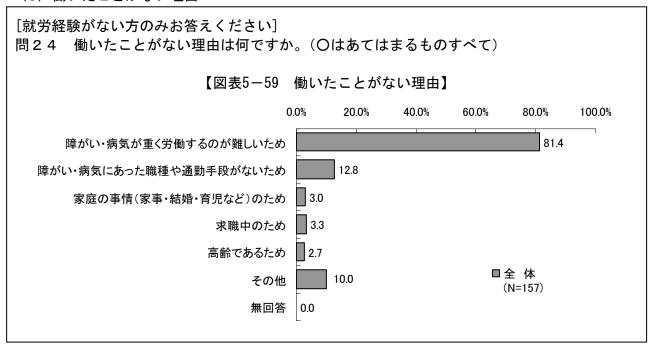
年齢別に詳細にみると、20歳代以下では仕事上の困りごとや心配なことがある人(44.7%)が4割を超えている。また、40・50歳代では困りごと等がない人が7割強~8割強と大半を占めている。

手帳判定別にみると、B2判定の軽度者では困りごと等がある人(45.5%)の割合が高く、B1判定の中度者(77.1%)の割合が高い。

【図表5-58 年齢詳細別、手帳判定別 仕事上の困りごとや心配なことの有無】(%)

		調査	仕事上の	困りごとや!	心配なこと
		数 (人)	ある	ない	無 回 答
全	:体	185	33.3	60.1	6.5
	20歳代以下	73	44.7	49.4	5.9
	30歳代	46	26.7	64.4	8.9
年	40歳代	40	21.6	73.0	5.4
齢	50歳代	15	18.2	81.8	-
詳	60~64歳	6	60.0	40.0	-
細	65~74歳	5	33.3	33.3	33.3
	75歳以上	0	100.0	1	-
	無回答	-	ı	-	-
全	:体	185	33.3	60.1	6.5
手	重度(A1~A3)	42	33.6	55.2	11.2
帳	中度(B1)	66	18.2	77.1	4.7
判	軽度(B2)	71	45.5	50.6	3.9
定	無回答	6	54.3	20.1	25.5

(5) 働いたことがない理由



就労経験がない人にその理由をたずねたところ、「障がい・病気が重く労働するのが難しいため」 (81.4%) が8割強を占めて最も多く、次いで「障がい・病気にあった職種や通勤手段がないため」 (12.8%) となっている。

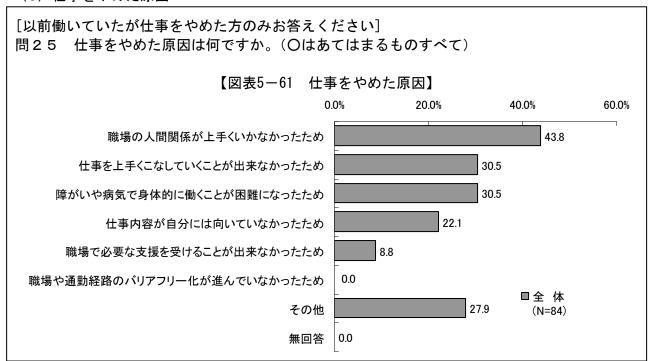
年齢別にみると、65歳以上の高齢者では64歳以下に比べて「高齢であるため」(14.8%) や「家庭の事情」(14.1%) の割合が高く、1割強となっている。

手帳判定別にみると、A判定の重度者では「障がい・病気が重く労働するのが難しいため」(91.1%)が9割強と大半を占めている。

【図表5-60 年齢(詳細、2区分)別、手帳判定別 働いたことがない理由】(%)

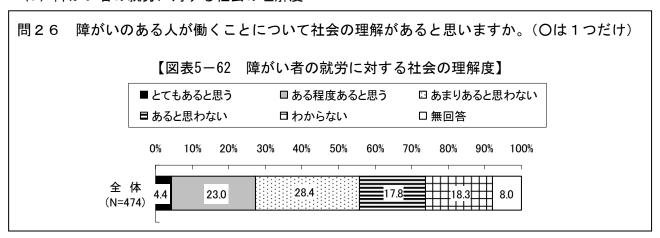
					働いた	ことがなし)理由		
		調査数(人)	ため 労働するのが難しい 障がい・病気が重く	ないため た職種や通勤手段が 障がい・病気にあっ	求職中のため	ため、常になど)のはお婚・育児など)のではなど)の	一高齢であるため	その他	無回答
全	体	157	81.4	12.8	3.3	3.0	2.7	10.0	_
		146	81.1	13.8	3.6	2.2	1.8	10.8	_
区年 分分 2	65歳以上	11	85.9	_	_	14.1	14.8	_	-
	無回答	_	1	_	_	-	-	_	_
全	体	157	81.4	12.8	3.3	3.0	2.7	10.0	-
	20歳代以下	60	80.0	17.1	8.6	_	_	12.9	_
	30歳代	38	83.8	10.8	-	2.7	_	8.1	_
年	40歳代	28	80.8	15.4	-	7.7	-	7.7	_
齢	50歳代	11	75.0	12.5	_	_	12.5	25.0	_
詳	60~64歳	9	85.7	_	_	_	14.3	-	_
細	65~74歳	11	85.7	_	_	14.3	14.3	_	_
	75歳以上	0	100.0	-	_	-	50.0	_	_
L	無回答	_	-	_	_	_	_	_	_
全	体	157	81.4	12.8	3.3	3.0	2.7	10.0	_
手	重度(A1~A3)	118	91.1	12.7	0.7	2.2	1.4	6.6	_
帳	中度(B1)	15	59.9	13.7	5.7	13.7	9.1	7.0	_
判	軽度(B2)	19	39.6	11.0	18.6	-	6.6	29.7	_
定	無回答	6	75.2	19.0	-	_	_	24.8	_

(6) 仕事をやめた原因



以前働いていたが仕事をやめた人にその原因をたずねたところ、「職場の人間関係がうまくいかなかったため」(43.8%)が4割強を占めて最も多く、次いで「仕事を上手くこなしていくことが出来なかったため」と「障がいや病気で身体的に働くことが困難になったため」(それぞれ30.5%)となっている。

(7) 障がい者の就労に対する社会の理解度



「あまりあると思わない」(28.4%)・「あると思わない」(17.8%) をあわせた『理解があると思わない』人(46.2%) が半数弱を占めている。一方、「とてもあると思う」(4.4%)・「ある程度あると思う」(23.0%) をあわせた『理解があると思う』人(27.4%) は3割弱に留まっている。

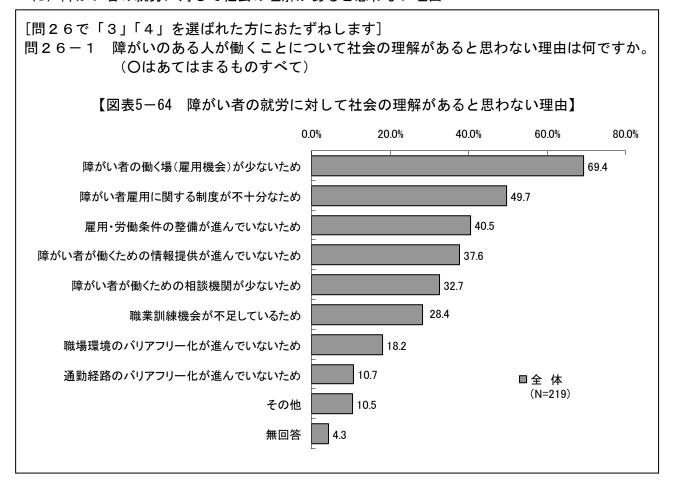
年齢別に詳細にみると、概ね年代が若いほど『理解があると思わない』人の割合が高く、20歳代以下では6割(60.2%)を占めている。

手帳判定別にみると、A判定の重度者では他に比べて『理解があると思わない』人(53.3%)の割合が高く、半数を超えている。

【図表5-63 年齢詳細別、手帳判定別 障がい者の就労に対する社会の理解度】(%)

			[障がい者(の就労に対	対する社会	の理解度	<u> </u>
		調査数(人)	とてもあると思う	うある程度あると思	ないあると思わあまりあると思わ	あると思わない	わからない	
全	体	474	4.4	23.0	28.4	17.8	18.3	8.0
	20歳代以下	152	2.8	17.6	43.2	17.0	14.8	4.5
	30歳代	114	6.3	20.7	25.2	23.4	15.3	9.0
年	40歳代	92	5.8	24.4	20.9	14.0	25.6	9.3
齢	50歳代	53	7.9	34.2	15.8	10.5	18.4	13.2
詳	60~64歳	28	_	30.4	17.4	8.7	30.4	13.0
細	65~74歳	34	-	27.3	22.7	31.8	13.6	4.5
	75歳以上	1	-	28.6	-	14.3	57.1	1
	無回答	-	-	_	-	-	-	-
全	体	474	4.4	23.0	28.4	17.8	18.3	8.0
手	重度(A1~A3)	206	1.9	17.0	31.3	22.0	16.5	11.3
帳	中度(B1)	126	7.3	21.6	26.0	15.0	25.0	5.1
判	軽度(B2)	119	6.6	36.3	24.7	11.8	14.5	6.1
定	無回答	24	_	16.5	34.8	26.6	17.5	4.5

(8) 障がい者の就労に対して社会の理解があると思わない理由



障がい者が働くことに対する社会の理解が「あまりあると思わない」「あると思わない」と回答した人にその理由をたずねたところ、「障がい者の働く場(雇用機会)が少ないため」(69.4%)が7割と最も多く、次いで「障がい者雇用に関する制度が不十分なため」(49.7%)、「雇用・労働条件の整備が進んでいないため」(40.5%)、「障がい者が働くための情報提供が進んでいないため」(37.6%)となっている。

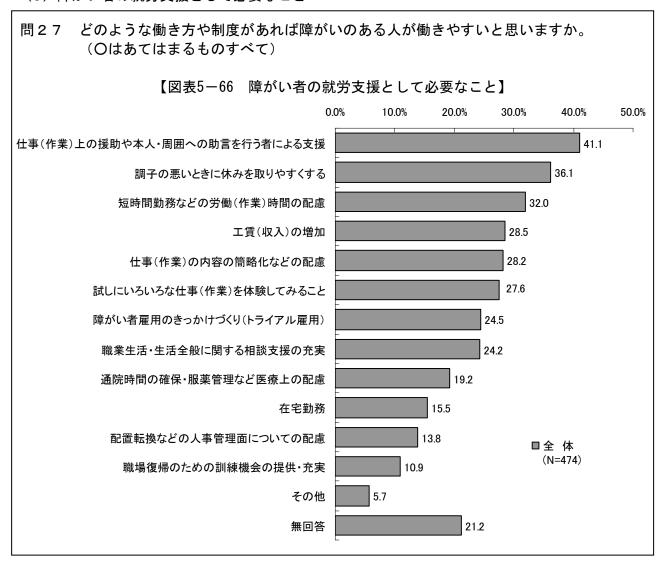
年齢別に詳細にみると、20歳代以下では30歳代以上に比べて「障がい者の働く場(雇用機会)が少ないため」(80.2%)や「障がい者が働くための情報提供が進んでいないため」(46.2%)等の割合が高い。手帳判定別にみると、A判定の重度者では他に比べて「障がい者の働く場(雇用機会)が少ないため」(78.6%)や「職場環境のバリアフリー化が進んでいないため」(24.0%)等の割合が高い。

【図表5-65 年齢詳細別、手帳判定別

障がい者の就労に対して社会の理解があると思わない理由】(%)

		調	障がい者の就労に対して社会の理解があると思わない理由									
		酒査数(人)	用機会)が少ないため障がい者の働く場(雇	制度が不十分なため障がい者雇用に関する	が進んでいないため雇用・労働条件の整備	いため 情報提供が進んでいな 障がい者が働くための	相談機関が少ないため障がい者が働くための	ているため職業訓練機会が不足し	ため リー 化が進んでいない職場環境のバリアフ	め 勤 化経	その他	無回答
全	体	219	69.4	49.7	40.5	37.6	32.7	28.4	18.2	10.7	10.5	4.3
年齢詳細	20歳代以下	92	80.2	57.5	50.9	46.2	37.7	29.2	23.6		8.5	0.9
	30歳代	55	64.8	55.6	37.0	37.0	33.3	31.5	18.5	9.3	13.0	3.7
	40歳代	32	66.7	46.7	40.0	33.3	26.7	20.0	16.7	10.0	6.7	6.7
	50歳代	14	70.0	30.0	20.0	20.0	10.0	40.0	20.0	10.0	20.0	20.0
	60~64歳	7	50.0	_	16.7	16.7	33.3	16.7	_	_	_	_
	65~74歳	19	41.7	33.3	25.0	25.0	33.3	25.0	_	_	16.7	8.3
	75歳以上	0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	_	_	_	_
	無回答	_	-	_	_	_	-	-	-	-	-	-
全	体	219	69.4	49.7	40.5	37.6	32.7	28.4	18.2	10.7	10.5	4.3
手帳判	重度(A1~A3)	110	78.6	52.4	44.8	35.5	29.3	27.3	24.0	13.7	14.7	1.7
	中度(B1)	52	63.3	47.2	40.2	44.1	37.1	26.0	10.7	5.3	4.1	6.8
	軽度(B2)	43	62.7	52.4	41.6	42.0	45.3	38.1	14.5	8.9	5.2	2.5
定	無回答	15	41.4	30.3	6.0	16.7	6.0	15.6	13.3	13.3	17.8	20.4

(9) 障がい者の就労支援として必要なこと



「仕事(作業)上の援助や本人・周囲への助言を行う者による支援」(41.1%)が4割強を占めて最も多く、次いで「調子の悪いときに休みを取りやすくする」(36.1%)、「短時間勤務などの労働(作業)時間の配慮」(32.0%)等が3割台で続いている。

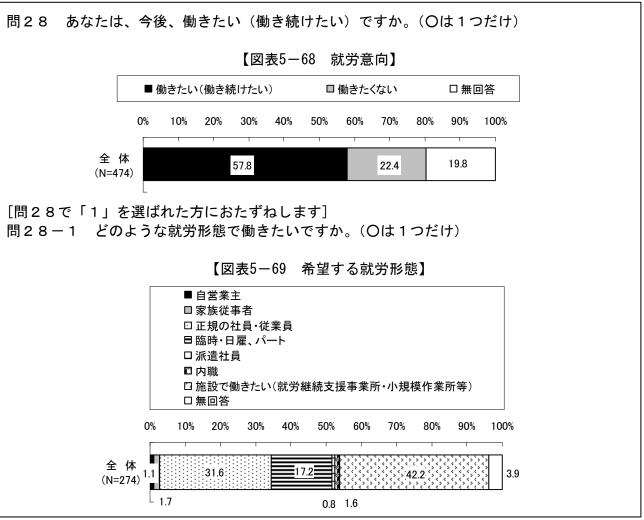
年齢別に詳細にみると、20歳代以下では他に比べて「仕事(作業)上の援助や本人・周囲への助言を行う者による支援」(63.1%)や「試しにいろいろな仕事(作業)を体験してみること」(42.0%)、「工賃(収入)の増加」(39.8%)、「仕事(作業)の内容の簡略化などの配慮」(39.2%)等、多くの項目で割合が高くなっている。

手帳判定別にみると、A判定の重度者では他に比べて「短時間勤務などの労働(作業)時間の配慮」(38.8%)、「通院時間の確保・服薬管理など医療上の配慮」(25.9%)等の割合が高くなっている。

【図表5-67 年齢詳細別、手帳判定別 障がい者の就労支援として必要なこと】(%)

		調					障が	い者の	就労支	援とし	て必要な	なこと				
		酒査数(人)	囲への助言を行う者による支援仕事(作業)上の援助や本人・周	くする調子の悪いときに休みを取りやす	間の配慮短時間勤務などの労働(作業)時	工賃(収入)の増加	の配慮仕事(作業)の内容の簡略化など	体験してみること試しにいろいろな仕事(作業)を	(トライアル雇用) 障がい者雇用のきっかけづくり	支援の充実職業生活・生活全般に関する相談	療上の配慮通院時間の確保・服薬管理など医	在宅勤務	ての配慮配置転換などの人事管理面につい	供・充実職場復帰のための訓練機会の提	その他	無回答
全	:体	474	41.1	36.1	32.0	28.5	28.2	27.6	24.5	24.2	19.2	15.5	13.8	10.9	5.7	21.2
	20歳代以下	152	63.1	42.0	39.8	39.8	39.2	42.0	38.6	35.2	27.8	19.3	23.3	16.5	5.7	8.0
	30歳代	114	44.1	42.3	39.6	27.9	28.8	27.9	27.0	27.9	23.4	13.5	18.0	14.4	6.3	18.0
年	40歳代	92	26.7	29.1	26.7	22.1	24.4	18.6	15.1	20.9	12.8	8.1	7.0	4.7	5.8	32.6
齢	50歳代	53	18.4	36.8	21.1	28.9	21.1	21.1	10.5	13.2	10.5	18.4	2.6	5.3	2.6	36.8
詳	60~64歳	28	17.4	21.7	8.7	13.0	4.3	13.0	8.7	-	4.3	17.4	_	-	4.3	26.1
細	65~74歳	34	27.3	18.2	22.7	9.1	18.2	9.1	13.6	9.1	9.1	18.2	4.5	9.1	9.1	31.8
	75歳以上	1	14.3	28.6	28.6	42.9	14.3	28.6	28.6	14.3	28.6	14.3	-	14.3	42.9	14.3
	無回答	-	-	_	-	-	_	-	-	-	-	_	-	-	-	-
全	体	474	41.1	36.1	32.0	28.5	28.2	27.6	24.5	24.2	19.2	15.5	13.8	10.9	5.7	21.2
手	重度(A1~A3)	206	44.6	35.6	38.8	22.0	31.2	24.2	26.1	24.4	25.9	18.4	14.3	9.7	6.0	24.8
帳	中度(B1)	126	36.6	32.6	28.2	33.5	25.7	32.3	21.0	22.2	13.9	12.6	10.6	11.8	5.7	22.4
判	軽度(B2)	119	44.1	42.8	26.9	36.2	29.6	30.5	27.5	27.3	15.3	11.3	18.2	13.5	4.2	13.2
定	無回答	24	19.7	24.2	19.0	18.8	8.2	18.1	14.4	17.6	8.5	25.6	3.7	3.7	11.3	23.8

(10) 就労意向、希望する就労形態



今後、働きたい(働き続けたい)と考えている人が6割弱(57.8%)を占めており、うち4割強(42.2%)は施設での就労を希望している。このほか、就労希望者の3割強(31.6%)は「正規の社員・従業員」での就労を希望している。

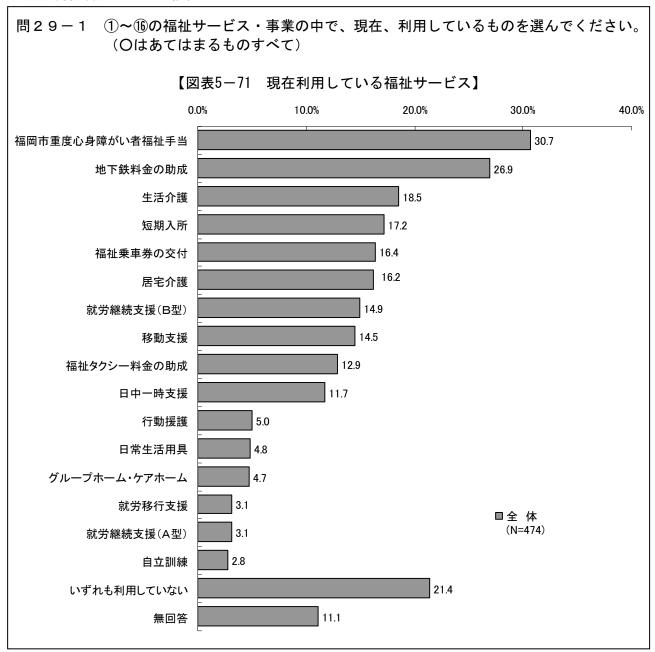
年齢別に詳細にみると、20歳代以下では就労意向が特に高く、今後働きたい(働き続けたい)と考えている人が8割弱(77.8%)を占めており、このうち4割弱(37.2%)が「正規の社員・従業員」を希望している。

		市計和力	リーがした	刀忌凹。	、ጥ王	9 の別	」フリックス	81 (90)					
		調	5	就労意向		調			;	希望する	就労形態	į.		
		香数(人)	(働き続けたい)	働きたくない	無回答	調査数(人)	自営業主	家族従事者	正規の社員・従業員	臨時・日雇、パート	派遣社員	内職	小規模作業所等)(就労継続支援事業所・施設で働きたい	無回答
全	体	474	57.8	22.4	19.8	274	1.1	1.7	31.6	17.2	0.8	1.6	42.2	3.9
	20歳代以下	152	77.8	13.1	9.1	118	0.7	-	37.2	13.9	-	0.7	43.8	3.6
	30歳代	114	58.6	17.1	24.3	67	3.1	1.5	27.7	20.0	1.5	3.1	40.0	3.1
年	40歳代	92	52.3	27.9	19.8	48	_	2.2	35.6	15.6	2.2	ı	37.8	6.7
	50歳代	53	50.0	21.1	28.9	26	_	_	26.3	26.3	-	5.3	42.1	-
	60~64歳	28	39.1	43.5	17.4	11	-	22.2	-	11.1	-	-	55.6	11.1
細	65~74歳	34	9.1	50.0	40.9	3	-	_	I	50.0	I	ı	50.0	_
	75歳以上	1	-	85.7	14.3	_	-	-	ı	_	_	_	_	_
	無回答	-	-	_	_	_	-	-	_	_	_	-	_	_

【図表5-70 年齢詳細別 就労意向、希望する就労形態】(%)

6. 福祉サービスの利用について

(1) 現在利用している福祉サービス



回答者全体では「福岡市重度心身障がい者福祉手当」(30.7%)が最も多く、次いで「地下鉄料金の助成」(26.9%)、「生活介護」(18.5%)、「短期入所」(17.2%)となっている。また、「いずれも利用していない」(21.4%)は2割強となっている。

年齢2区分別にみると、65歳以上では64歳以下に比べて「福岡市重度心身障がい者福祉手当」(36.2%) や「グループホーム・ケアホーム」(27.3%)、「福祉タクシー料金の助成」(13.6%)の割合が高い。

年齢別に詳細にみると、30歳代以下の若年層では他に比べて「短期入所」や「生活介護」、「移動支援」、「日中一時支援」、「地下鉄料金の助成」、「福岡市重度心身障がい者福祉手当」等、多くの項目で割合が高くなっている。

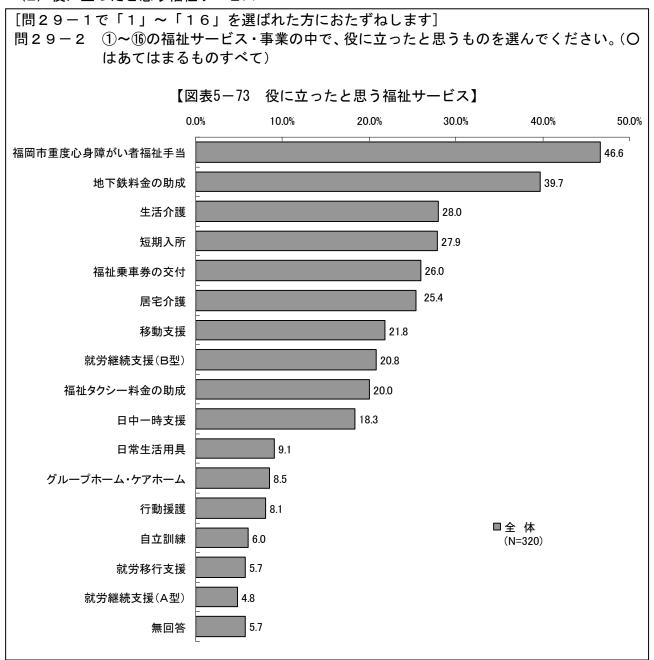
手帳判定別にみると、A判定の重度者では、ほとんどの項目で利用している人の割合が高く、特に「福岡市重度心身障がい者福祉手当」(66.5%)の利用者は7割弱を占めている。

【図表5-72 年齢(詳細、2区分)別、手帳判定別 現在利用している福祉サービス】(%)

		調			玛	見在利用し	ている福	祉サービス	ζ		
		調査数(人)	者福祉手当福岡市重度心身障がい	地下鉄料金の助成	生活介護	短期入所	福祉乗車券の交付	居宅介護	就労継続支援(B型)	移動支援	成福祉タクシー料金の助
	体	474	30.7	26.9	18.5	17.2	16.4	16.2	14.9	14.5	12.9
一年	64歳以下 65歳以上	439	30.2	27.6	19.2	17.9	15.6	16.8	15.0	15.6	12.9
区分分	65歳以上	35	36.2	18.1	8.9	8.9	26.8	9.2	13.4	_	13.6
	無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	_	_
全	体	474	30.7	26.9	18.5	17.2	16.4	16.2	14.9	14.5	12.9
	20歳代以下	152	36.4	35.2	25.0	21.6	17.6	19.9	15.3	21.0	12.5
	30歳代	114	37.8	29.7	27.0	25.2	16.2	16.2	14.4	21.6	16.2
年	40歳代	92	24.4	20.9	8.1	14.0	15.1	7.0	15.1	5.8	10.5
齢	50歳代	53	13.2	18.4	13.2	7.9	10.5	23.7	18.4	7.9	13.2
詳	60~64歳	28	17.4	17.4	4.3	-	13.0	21.7	8.7	8.7	8.7
細	65~74歳	34	36.4	18.2	9.1	9.1	27.3	9.1	13.6	-	13.6
	75歳以上	1	28.6	14.3	_	-	-	14.3	_	_	14.3
	無回答	_	-	-	_	-	_	_	-	_	_
	体	474	30.7	26.9	18.5	17.2	16.4	16.2	14.9	14.5	12.9
手	重度(A1~A3)	206	66.5	40.1	37.2	33.9	30.8	27.8	16.0	29.7	24.0
帳	中度(B1)	126	3.2	15.3	5.2	3.8	5.8	7.8	17.5	3.3	4.0
判	軽度(B2)	119	1.2	18.8	2.9	3.1	3.5	5.0	11.9	1.0	2.8
定	無回答	24	13.4	15.5	4.3	15.0	12.7	17.9	5.9	8.9	14.8

		調			玛	見在利用し	ている福	祉サービス	ζ		
		酒査数(人)	日中一時支援	行動援護	日常生活用具	ホームゲループホーム・ケア	就労移行支援	就労継続支援(A型)	自立訓練	いずれも利用していな	無回答
全	体	474	11.7	5.0	4.8	4.7	3.1	3.1	2.8	21.4	11.1
一年	64歳以下	439	12.3	5.4	5.2	2.9	3.3	3.3	3.0	22.7	9.8
一分齡	65歳以上	35	4.5	_	0.2	27.3	-	-	0.2	4.9	26.8
7 2	無回答	_	-	_	-	_	_	_	-	_	_
全	体	474	11.7	5.0	4.8	4.7	3.1	3.1	2.8	21.4	11.1
	20歳代以下	152	14.2	6.3	8.0	2.3	6.8	2.3	2.3	19.9	4.5
	30歳代	114	21.6	7.2	6.3	1.8	2.7	4.5	4.5	23.4	9.0
年	40歳代	92	7.0	3.5	2.3	1.2	-	3.5	3.5	29.1	15.1
齢	50歳代	53	2.6	5.3	-	2.6	-	5.3	_	21.1	15.8
詳	60~64歳	28	-	-	4.3	17.4	4.3	_	4.3	17.4	13.0
細	65~74歳	34	4.5	_	_	27.3	_	_	_	4.5	27.3
	75歳以上	1	_	_	14.3	28.6	1	-	14.3	28.6	-
	無回答	ı	_	_	_	-	I	-	-	ı	_
全	体	474	11.7	5.0	4.8	4.7	3.1	3.1	2.8	21.4	11.1
手	重度(A1~A3)	206	22.3	9.8	11.1	5.0	2.2	1.0	2.6	4.8	5.4
帳	中度(B1)	126	5.3	2.9	-	3.9	2.7	5.7	3.2	32.0	15.4
判	軽度(B2)	119	0.7	_	-	6.0	5.7	4.4	2.3	38.0	14.8
定	無回答	24	8.9	-	_	0.3	_	-	4.5	26.1	18.5

(2) 役に立ったと思う福祉サービス



回答者全体では「福岡市重度心身障がい者福祉手当」(46.6%)が半数弱を占めて最も多く、次いで「地下鉄料金の助成」(39.7%)、「生活介護」(28.0%)、「短期入所」(27.9%)、「福祉乗車券の交付」(26.0%)となっている。

年齢2区分別にみると、「グループホーム・ケアホーム」や「福祉タクシー料金の助成」等の項目で65歳以上が64歳以下の割合を上回っている。

年齢別に詳細にみると、30歳代以下の若年層では他に比べて「生活介護」や「移動支援」、「日中一時支援」等で割合が高くなっている。

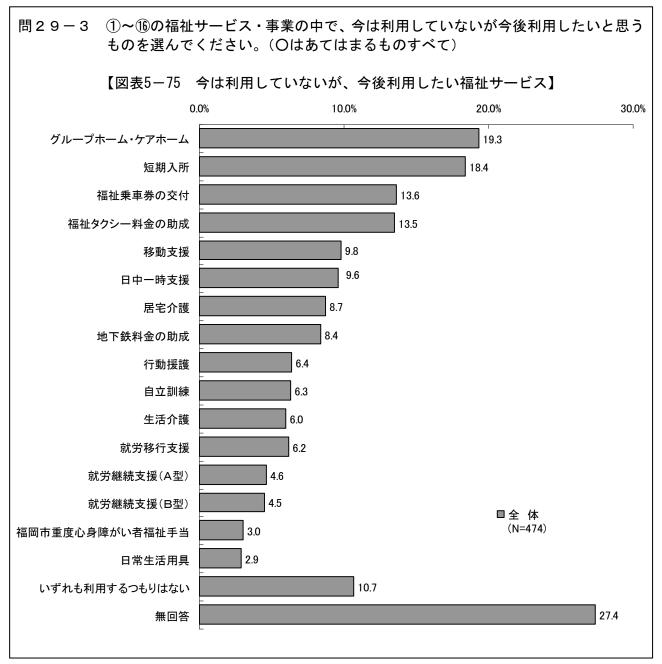
手帳判定別にみると、A判定の重度者では、ほとんどの項目で役に立ったと思う人の割合が高く、特に「福岡市重度心身障がい者福祉手当」(74.4%)では7割強を占めている。

【図表5-74 年齢(詳細、2区分)別、手帳判定別 役に立ったと思う福祉サービス】(%)

					í:	殳に立った	と思う福祉	业サービス	ζ.		
		調査数(人)	者福祉手当福岡市重度心身障がい	地下鉄料金の助成	生活介護	短期入所	福祉乗車券の交付	居宅介護	移動支援	就労継続支援(B型)	成福祉タクシー 料金の助
全	体	320	46.6	39.7	28.0	27.9	26.0	25.4	21.8	20.8	20.0
一年	64歳以下	296	46.1	41.3	28.6	28.5	26.0	25.8	23.5	20.9	19.5
区分分	65歳以上	24	53.1	20.0	19.7	19.7	26.2	20.0	-	19.7	26.6
	無回答	_	-	-	-	-	-	-	-	_	-
全	体	320	46.6	39.7	28.0	27.9	26.0	25.4	21.8	20.8	20.0
	20歳代以下	115	48.1	48.9	35.3	29.3	26.3	28.6	27.8	19.5	16.5
	30歳代	77	57.3	38.7	37.3	44.0	24.0	24.0	29.3	20.0	21.3
年	40歳代	51	41.7	37.5	14.6	25.0	25.0	12.5	16.7	22.9	22.9
齢	50歳代	33	25.0	29.2	16.7	12.5	20.8	41.7	12.5	29.2	20.8
詳	60~64歳	20	37.5	37.5	12.5	-	43.8	25.0	12.5	12.5	18.8
細	65~74歳	23	53.3	20.0	20.0	20.0	26.7	20.0	-	20.0	26.7
	75歳以上	0	40.0	20.0	-	-	_	20.0	-	-	20.0
	無回答	-	-	-	-	-	_	_	_	-	_
	体	320	46.6	39.7	28.0	27.9	26.0	25.4	21.8	20.8	20.0
手	重度(A1~A3)	185	74.4	44.5	43.3	40.6	33.0	32.7	32.1	16.7	27.1
帳	中度(B1)	66	8.9	27.4	9.7	8.8	13.2	14.2	10.7	29.1	13.1
判	軽度(B2)	56	2.5	43.8	3.7	6.8	16.2	13.1	2.2	26.7	5.9
定	無回答	13	34.8	16.0	7.8	35.1	35.1	32.3	16.0	10.6	16.3

					役にご	とったと思	う福祉サ-	ービス		
		調査数(人)	日中一時支援	日常生活用具	ホーム グルー プホーム・ケア	行動援護	自立訓練	就労移行支援	就労継続支援(A型)	無回答
全	体	320	18.3	9.1	8.5	8.1	6.0	5.7	4.8	5.7
一年	64歳以下	296	19.2	9.3	7.6	8.2	6.4	6.1	5.2	4.6
区年龄	65歳以上	24	6.6	6.9	20.0	6.6	0.3	-	-	19.7
	無回答	-	-	_	_	-	I	ı	-	_
全	体	320	18.3	9.1	8.5	8.1	6.0	5.7	4.8	5.7
	20歳代以下	115	21.8	13.5	6.8	8.3	6.0	11.3	3.8	1.5
	30歳代	77	29.3	9.3	8.0	13.3	8.0	6.7	6.7	2.7
年	40歳代	51	10.4	4.2	4.2	6.3	4.2	-	6.3	6.3
齢	50歳代	33	8.3	4.2	8.3	4.2	4.2	-	4.2	12.5
詳	60~64歳	20	6.3	6.3	18.8	_	12.5	_	6.3	12.5
細	65~74歳	23	6.7	6.7	20.0	6.7	1	_	_	20.0
	75歳以上	0		20.0	20.0	-	20.0	_		
	無回答	_		_		_				
全	体	320	18.3	9.1	8.5	8.1	6.0	5.7	4.8	5.7
手	重度(A1~A3)	185	25.5	14.6	7.8	12.3	3.3	3.9	2.8	2.9
帳	中度(B1)	66	10.1	1.3	10.5	5.0	11.7	8.1	7.2	11.6
判	軽度(B2)	56	4.7	2.5	10.5	_	9.3	9.8	9.4	3.7
定	無回答	13	16.0	-	0.6	_	-	-	-	23.9

(3) 今は利用していないが、今後利用したい福祉サービス



回答者全体では「グループホーム・ケアホーム」(19.3%)が最も多く、次いで「短期入所」(18.4%)、「福祉乗車券の交付」(13.6%)、「福祉タクシー料金の助成」(13.5%)となっている。また、「いずれも利用するつもりはない」(10.7%)は1割となっている。

年齢2区分別にみると、「短期入所」や「生活介護」等の項目で65歳以上が64歳以下の割合を上回っている。

年齢別に詳細にみると、20歳代以下では他に比べて「グループホーム・ケアホーム」(35.2%)や「日中一時介護」(19.9%)等の割合が高くなっている。

手帳判定別にみると、A判定の重度者では他に比べて「短期入所」(30.1%) や「グループホーム・ケアホーム」(27.0%) 等、多くの項目で割合が高くなっている。一方、B2判定の軽度者では「就労移行支援」(10.6%) や「就労継続支援(A型)」(9.3%)、「就労継続支援(B型)」(8.0%) の割合が1割前後でやや高い。

【図表5-76 年齢(詳細、2区分)別、手帳判定別

今は利用していないが、今後利用したい福祉サービス】(%)

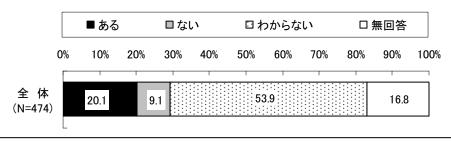
		調		今日	は利用して	こいないが	、今後利	用したい福	量祉サービ	ス	
		調査数(人)	ホーム プホーム・ケア	短期入所	福祉乗車券の交付	成福祉タクシー 料金の助	移動支援	日中一時支援	居宅介護	地下鉄料金の助成	行動援護
全	 体	474	19.3	18.4	13.6	13.5	9.8	9.6	8.7	8.4	6.4
_二 年	64歳以下	439	20.1	17.4	13.3	13.1	9.8	10.3	8.7	9.0	6.6
一分齡	65歳以上	35	8.9	31.8	17.9	17.9	9.2	_	8.9	-	4.7
	無回答	_	_	-	-	-	-	_	_	-	_
全	体	474	19.3	18.4	13.6	13.5	9.8	9.6	8.7	8.4	6.4
	20歳代以下	152	35.2	23.3	8.0	10.8	12.5	19.9	8.5	8.0	9.1
	30歳代	114	14.4	18.0	13.5	12.6	10.8	8.1	12.6	8.1	9.0
年	40歳代	92	14.0	11.6	16.3	11.6	7.0	3.5	4.7	14.0	2.3
齢	50歳代	53	10.5	15.8	18.4	21.1	7.9	2.6	5.3	10.5	2.6
詳	60~64歳	28	_	4.3	21.7	17.4	4.3	4.3	13.0	-	4.3
細	65~74歳	34	9.1	31.8	18.2	18.2	9.1	-	9.1	-	4.5
	75歳以上	1	-	28.6	-	-	14.3	_	-	-	14.3
	無回答	_	-	_	_	-	-	_	_	-	_
	体	474	19.3	18.4	13.6	13.5	9.8	9.6	8.7	8.4	6.4
手	重度(A1~A3)	206	27.0	30.1	11.1	14.3	15.3	16.6	15.4	4.1	11.0
帳	中度(B1)	126	15.8	11.3	17.3	15.5	8.4	5.8	3.4	12.8	3.3
判	軽度(B2)	119	12.9	4.8	12.1	9.8	2.9	3.3	3.5	12.7	3.1
定	無回答	24	3.7	23.7	23.5	13.4	3.7	_	4.5	_	_

		調		今	は利用して	こいないか	、今後利	用したい礼	温祉サービ	こ	
		酒查数(人)	自立訓練	就労移行支援	生活介護	就労継続支援(A型)	就労継続支援(B型)	者福祉手当福岡市重度心身障がい	日常生活用具	りはないいずれも利用するつも	無回答
全	体	474	6.3	6.2	6.0	4.6	4.5	3.0	2.9	10.7	27.4
一年	64歳以下	439	6.4	6.7	4.7	4.9	4.9	2.5	2.4	11.2	27.0
区分分	65歳以上	35	4.5	-	22.6	1	_	8.9	8.9	4.7	32.0
_	無 凹合	-	-	-	-	_	-	-	-	-	_
全	体	474	6.3	6.2	6.0	4.6	4.5	3.0	2.9	10.7	27.4
	20歳代以下	152	8.0	12.5	3.4	9.7	9.1	1.1	1.1	12.5	18.8
	30歳代	114	5.4	6.3	5.4	0.9	3.6	2.7	3.6	7.2	30.6
年	40歳代	92	3.5	3.5	4.7	3.5	2.3	2.3	2.3	14.0	32.6
齢	50歳代	53	7.9	_	2.6	5.3	2.6	5.3	2.6	7.9	31.6
詳	60~64歳	28	8.7	_	13.0	_	_	4.3	4.3	17.4	30.4
細	65~74歳	34	4.5	-	22.7	1	_	9.1	9.1	4.5	31.8
	75歳以上	1	1	-	14.3	1	-	-	_	14.3	42.9
	無回答	-	-	-	_	-	-	-	_	ı	_
	体	474	6.3	6.2	6.0	4.6	4.5	3.0	2.9	10.7	27.4
手	重度(A1~A3)	206	6.7	2.6	9.1	2.9	4.0	2.0	3.2	2.8	25.1
帳	中度(B1)	126	4.0	9.0	4.2	2.9	3.0	2.4	0.8	10.9	30.6
判	軽度(B2)	119	9.2	10.6	2.5	9.3	8.0	2.1	1.2	25.6	26.3
定	無回答	24			6.6	4.5	_	19.1	20.0	4.3	35.8

(4) 利用対象・範囲の拡大をしてほしい福祉サービスの有無

問30 ①~⑯の福祉サービス・事業の中で、利用対象・範囲の拡大等を図るべきだと思うものがありますか。(Oは1つだけ)

【図表5-77 対象・範囲の拡大をしてほしい福祉サービスの有無】



回答者全体では「ある」(20.1%) が2割、「ない」(9.1%) が1割となっている。また「わからない」(53.9%) が過半数となっている。

年齢別に詳細にみると、20歳代と65~74歳では他に比べて対象・範囲の拡大をしてほしいサービスがある人の割合が高く、3割前後となっている。

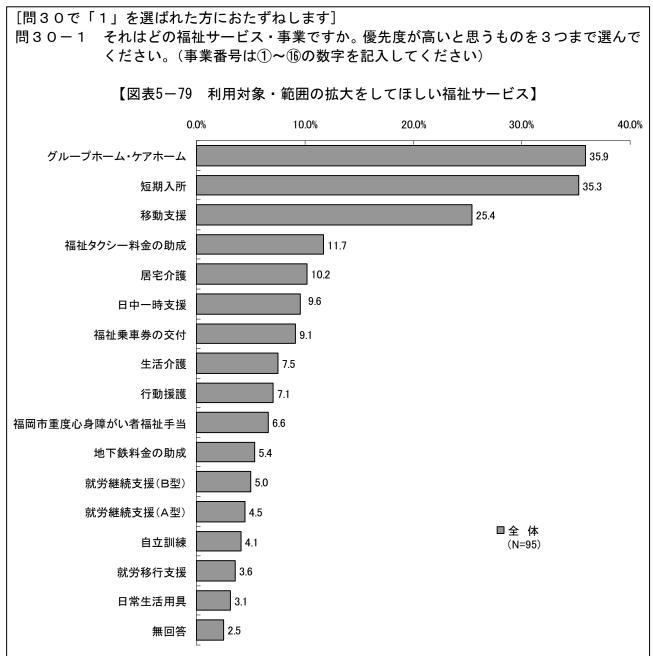
手帳判定別にみると、A判定の重度者では他に比べて「ある」(30.7%)の割合が3割と高い。

【図表5-78 年齢詳細別、手帳判定別

利用対象・範囲の拡大をしてほしい福祉サービスの有無】(%)

		調	利用対象·範	囲の拡大をして	ほしい福祉サ	ービスの有無
		査数 (人)	ある	ない	わからない	無回答
全	体	474	20.1	9.1	53.9	16.8
	20歳代以下	152	27.8	6.3	56.3	9.7
	30歳代	114	18.0	9.9	57.7	14.4
年	40歳代	92	17.4	11.6	45.3	25.6
齢	50歳代	53	7.9	13.2	57.9	21.1
詳	60~64歳	28	4.3	17.4	56.5	21.7
細	65~74歳	34	31.8	_	45.5	22.7
	75歳以上	1	_	_	85.7	14.3
	無回答	_	_	_	_	_
全	体	474	20.1	9.1	53.9	16.8
手	重度(A1~A3)	206	30.7	7.6	48.1	13.5
帳	中度(B1)	126	14.8	9.6	56.1	19.5
判	軽度(B2)	119	7.5	11.1	63.3	18.2
定	無回答	24	19.1	10.2	45.7	24.9

(5) 利用対象・範囲の拡大をしてほしい福祉サービス

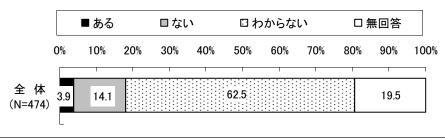


回答者全体では「グループホーム・ケアホーム」(35.9%) が最も多く、次いで「短期入所」(35.3%)、「移動支援」(25.4%)、「福祉タクシー料金の助成」(11.7%)、「居宅介護」(10.2%) となっている。

(6) 優先度が低い福祉サービスの有無

問31 ①~⑥の福祉サービス・事業の中で、他の福祉サービス・事業よりも、それを実施する 優先度が低いと思うものがありますか。(〇は1つだけ)

【図表5-80 優先度が低い福祉サービスの有無】



回答者全体では「ある」が3.9%、「ない」が14.1%となっている。また「わからない」(62.5%)が6 割強となっている。

(7) 優先度が低い福祉サービス

[問31で「1」を選ばれた方におたずねします]

問31-1 それはどの福祉サービス・事業ですか。3つまで選んでください。(事業番号は① ~ (fi)の数字を記入してください)

【図表5-81 優先度が低い福祉サービス】(上段=人、下段=%)

= ⊞			優:	先度が	低い福祉	止サービ	ころ		
調	ホーム グループホーム・ケア	短期入所	成福祉タクシー 料金の助	日常生活用具	者福祉手当福岡市重度心身障がい	自立訓練	日中一時支援	生活介護	移動支援
18	5	4	2	2	2	2	2	2	2
100.0	28.3	23.6	13.2	10.5	10.5	10.3	10.3	8.5	8.5

=⊞			優先度	が低い		ービス		
調査数	地下鉄料金の助成	福祉乗車券の交付	居宅介護	就労継続支援(A型)	就労移行支援	行動援護	就労継続支援(B型)	無回答
18	2	1	1	1	1	_	-	3
100.0	8.5	5.8	5.6	5.6	4.7	_	_	17.0

※ ウエイトバック集計を行っているため、調査数が15人と少ないこの設問については、 端数処理の影響で、上段の人数が同じであっても、下段の割合が異なる場合がある。

回答者全体では「グループホーム・ケアホーム」を選んだ人が5人、「短期入所」を選んだ人が4人で 比較的多くなっている。

【参考 各サービスの利用状況別 対象・範囲の拡大をしてほしい福祉サービス】

(上段=人、下段=%)

					問3	0-1	対象·筆	節囲の抗	広大をし	てほし	いサー	ビス				
	グループホーム・ケアホーム	短期入所	移動支援	日中一時支援	福祉タクシー 料金の助成	居宅介護	福祉乗車券の交付	行動援護	生活介護	福岡市重度心身障がい者福祉手当	就労継続支援(A型)	就労継続支援(B型)	地下鉄料金の助成	自立訓練	就労移行支援	日常生活用具
全 体	35 100.0	33 100.0	25 100.0	10 100.0	10 100.0	9 100.0	8 100.0	7 100.0	6 100.0	6 100.0	5 100.0	5 100.0	5 100.0	4 100.0	4 100.0	2 100.0
現 利用している	2 5.7	7 21.2	12 48.0	2 20.0	2 20.0	1 11.1	1 12.5	2 28.6	-	2 33.3	-	2 40.0	_	1 25.0	_	1 50.0
状の 沢利	33 94.3	26 78.8	13 52.0	8 80.0	8 80.0	88.9	6 75.0	5 71.4	6 100.0	3	5 100.0	3 60.0	5 100.0	3 75.0	4 100.0	-
用 無回答	94.3	7 0.0 - -	- - -	-	- - -		1 12.5	- - -	- - -	1 16.7	- -	- -	- - -	73.0 - -	- -	1 50.0

【参考 各サービスの利用状況別 優先度が低い福祉サービス】

(上段=人、下段=%)

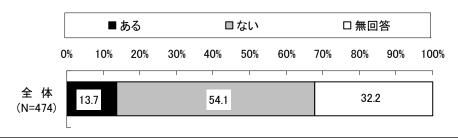
						問	31-1	優先周	きが低し	ヽサーヒ	Ĩス.					
	グループホーム・ケアホーム	短期入所	自立訓練	日中一時支援	日常生活用具	福祉タクシー 料金の助成	福岡市重度心身障がい者福祉手当	居宅介護	生活介護	就労移行支援	就労継続支援(A型)	移動支援	地下鉄料金の助成	福祉乗車券の交付	行動援護	就労継続支援(B型)
全 体	5 100.0	4 100.0	2 100.0	2 100.0	2 100.0	2 100.0	2 100.0	1 100.0	_	_						
現利用している	1 20.0	-	-		-	-	1 1			-	-	-		-	-	_
在 状の 況 _利	4 80.0	4 100.0	2 100.0	2 100.0	2 100.0	1 50.0	2 100.0	1 100.0	1 100.0	1 100.0	1 100.0	-	-	1 100.0	-	_
用無回答	-	-	- 1	_	-	1 50.0			-		1 1	1 100.0	1 100.0	-	-	-

[※] 上記の参考については回答者数が少ない上に、 それぞれの福祉サービス毎の集計となるため、 ウエイトバック集計は行っていない。

(8) 新たに実施してほしい福祉サービスの有無

問32 現在行われていない福祉サービス・事業で、新たに実施してほしいと思うものがありますか。(Oは1つだけ)

【図表5-82 新たに実施してほしい福祉サービスの有無】



回答者全体では「ある」が13.7%、「ない」が54.1%となっている。 年齢別にみても、大きな違いは見られない。

手帳判定別にみると、A判定の重度者では他に比べて「ある」(21.7%)の割合が2割強と高い。

【図表5-83 年齢詳細別、手帳判定別 新たに実施してほしい福祉サービスの有無】(%)

		調	新たに実施し	てほしい福祉サ	ービスの有無
		査数(人)	あ る	ない	無回答
全	体	474	13.7	54.1	32.2
	20歳代以下	152	17.0	57.4	25.6
	30歳代	114	14.4	56.8	28.8
年	40歳代	92	10.5	48.8	40.7
齢	50歳代	53	13.2	55.3	31.6
詳	60~64歳	28	4.3	56.5	39.1
細	65~74歳	34	13.6	40.9	45.5
	75歳以上	1	14.3	57.1	28.6
	無回答	-	1	_	_
	体	474	13.7	54.1	32.2
手	重度(A1~A3)	206	21.7	40.0	38.3
帳	中度(B1)	126	8.4	58.6	33.0
判	軽度(B2)	119	5.3	73.0	21.8
定	無回答	24	14.3	57.9	27.8

三世代同居

グループホーム・ケアホーム

その他

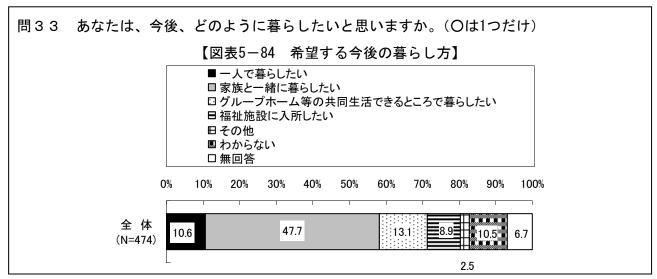
無回答

状

況

7. 今後の暮らし方について

(1) 希望する今後の暮らし方



回答者全体では「家族と一緒に暮らしたい」(47.7%)が半数弱を占めて最も多く、このほか「グループホーム等の共同生活できるところで暮らしたい」(13.1%)、「一人で暮らしたい」(10.6%)、「わからない」(10.5%)がそれぞれ1割台となっている。

年齢2区分別にみると、64歳以下では65歳以上に比べて「家族と一緒に暮らしたい」(49.4%)の割合が高い一方、65歳以上では「福祉施設に入所したい」(26.8%)の割合が高い。

手帳判定別にみると、A判定の重度者では、「グループホーム等の共同生活できるところで暮らしたい」(18.6%)や「福祉施設に入所したい」(14.5%)の割合が高く、1割を超えている。一方、B2判定の軽度者では他に比べて「一人で暮らしたい」(28.2%)の割合が高く、3割弱となっている。

世帯状況別にみると、現在、夫婦のみや二世代同居している人は今後も「家族と一緒に過ごしたい」と考えている人が多く、それぞれ過半数を占めている。また、現在一人暮らしの人では、今後も「一人で暮らしたい」(46.2%)、グループホーム・ケアホーム利用者でも、今後も「グループホーム等の共同生活できるとこで暮らしたい」(53.5%)が最も多くなっている。

	【図表5-85	年齢2区分別、	手帳	判定別、	世帯状	況別 ·	今後の暮	暮らし方	(%)	
			= ⊞			今1	後の暮らし	.方		
			調 査 数	_ 人	た家 い族	ろ共グ で同ル	い福 祉	その	わか	無回
			釵 (で 草	ے	暮生 ら活プ	施 設	他	らな	答
			人	で 暮 ら	緒	しでホ	に		い	
			\smile	した	に 黄	たきし	入 所			
				に	暮ら	いるム と等	l l			
					し	この	た			
全	体		474	10.6	47.7	13.1	8.9	2.5	10.5	6.7
一年			439	11.1	49.4	12.3	7.4	2.6	10.3	6.9
区分分	65歳以上		35	4.9	27.1	22.4	26.8	0.2	13.9	4.7
	無回答		_	-	_	_	-	-	-	_
全	体		474	10.6	47.7	13.1	8.9	2.5	10.5	6.7
手	重度(A1~A3)		206	1.5	49.1	18.6	14.5	3.0	5.5	7.9
帳	中度(B1)		126	8.8	53.0	9.7	3.6	3.6	14.5	6.8
判	軽度(B2)		119	28.2	42.3	9.7	1.8	0.9	12.9	4.2
定	無回答		24	11.0	34.8	_	23.7	_	21.4	9.2
全	体		474	10.6	47.7	13.1	8.9	2.5	10.5	6.7
	一人暮らし		43	46.2	8.8	5.2	7.2	10.4	10.9	11.2
	夫婦のみ		16	_	61.2	_	-	-	25.4	13.4
世	二世代同居(親と本	人)	328	7.3	55.8	12.8	9.2	1.7	7.9	5.3
帯	二世代同居(子と本	人)	8	_	62.1	_	_	_	_	37.9

5.1

6.7

8.8

48.4

46.0

11.7

25.3

5.0

53.5

6.0

7.0

15.7

0.4

15.7

15.1

5.1

23.0

18.7

35.3

10.1

4.2

17.6

17

31

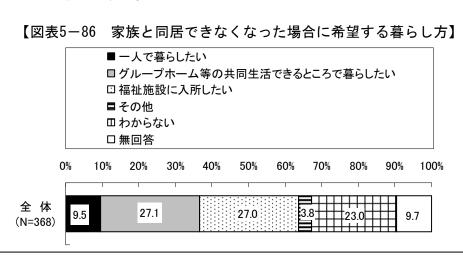
22

9

(2) 家族と同居できなくなった場合に希望する暮らし方

[現在、ご家族と同居されている方におたずねします]

問33-1 将来、さまざまな理由でご家族との同居ができなくなったとき、どのように暮らしたいと思いますか。(Oは1つだけ)



現在、家族と同居している人に、家族と同居できなくなった場合に希望する暮らし方をたずねると、「グループホーム等の共同生活できるところで暮らしたい」(27.1%)が3割弱と最も多く、次いで「福祉施設に入所したい」(27.0%)、「一人で暮らしたい」(9.5%)となっている。また、「わからない」(23.0%)は2割強を占めている。

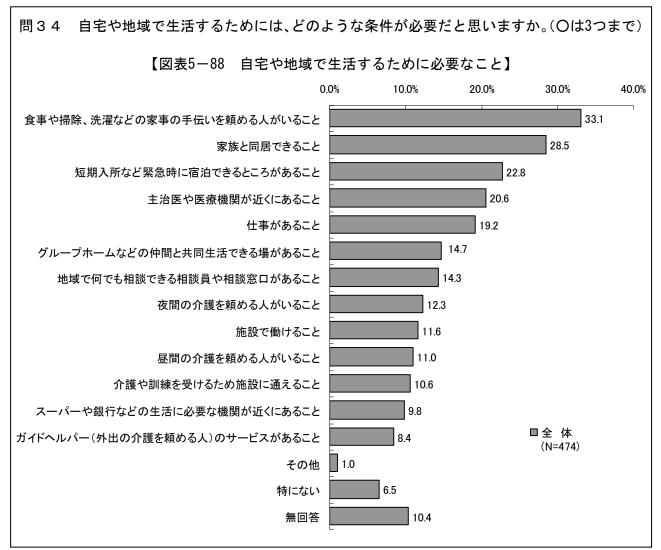
年齢別に詳細にみると、20歳代以下では30歳代以上に比べて「グループホーム等の共同生活できるところで暮らしたい」(43.3%)の割合が4割を超えて高くなっている。

手帳判定別にみると、A判定の重度者では、「福祉施設に入所したい」(41.7%)の割合が高く、4割強を占めている。一方、B2判定の軽度者では他に比べて「一人で暮らしたい」(27.4%)の割合が高く、3割弱となっている。

【図表5-87 年齢詳細別、手帳判定別 家族と同居できなくなった場合に希望する暮らし方】(%)

		調	家族。	と同居でき	なくなった	:場合に希	望する暮	らし方
		香数(人)	一人で暮らしたい	暮らしたい同生活できるところでグルー プホーム等の共	福祉施設に入所したい	その他	わからない	無回答
全	体	368	9.5	27.1	27.0	3.8	23.0	9.7
	20歳代以下	142	13.4	43.3	14.6	2.4	20.7	5.5
	30歳代	105	7.8	19.6	34.3	4.9	25.5	7.8
年	40歳代	78	8.2	12.3	35.6	6.8	20.5	16.4
齢	50歳代	26	5.3	26.3	31.6	-	26.3	10.5
詳	60~64歳	11	-	11.1	44.4	-	22.2	22.2
細	65~74歳	6	-	1	25.0	1	50.0	25.0
	75歳以上	0	100.0	_	_	_	_	_
	無回答	_		_	_	_	_	_
	体	368	9.5	27.1	27.0	3.8	23.0	9.7
手	重度(A1~A3)	172	2.2	30.2	41.7	4.0	16.1	5.9
帳	中度(B1)	95	7.3	26.3	13.6	4.2	33.8	14.8
判	軽度(B2)	86	27.4	21.5	11.9	3.6	26.2	9.3
定	無回答	16	5.6	28.0	29.6	-	14.5	22.4

(3) 自宅や地域で生活するために必要なこと



回答者全体では「食事や掃除、洗濯などの家事の手伝いを頼める人がいること」(33.1%)が最も多く、次いで「家族と同居できること」(28.5%)、「短期入所など緊急時に宿泊できるところがあること」(22.8%)となっている。

年齢2区分別にみると、64歳以下では65歳以上に比べて「短期入所など緊急時に宿泊できるところがあること」(23.5%)や「仕事があること」(20.8%)等の割合が高い。一方、65歳以上では「食事や掃除、洗濯などの家事の手伝いを頼める人がいること」(41.4%)や「夜間の介護を頼める人がいること」(27.1%)、「昼間の介護を頼める人がいること」(22.8%)等の割合が高い。

年齢別に詳細にみると、20歳代以下では他に比べて「仕事があること」(27.8%)の割合が高く、3割弱を占めている。

手帳判定別にみると、A判定の重度者では他に比べて「短期入所など緊急時に宿泊できるところがあること」(39.0%) や「夜間の介護を頼める人がいること」(22.0%)、「介護や訓練を受けるため施設に通えること」(19.4%) 等の割合が高くなっている。一方、B判定の中度者・軽度者では「仕事があること」の割合が高い。また、B2判定の軽度者では「地域で何でも相談できる相談員や相談窓口があること」(26.4%) の割合が高い。

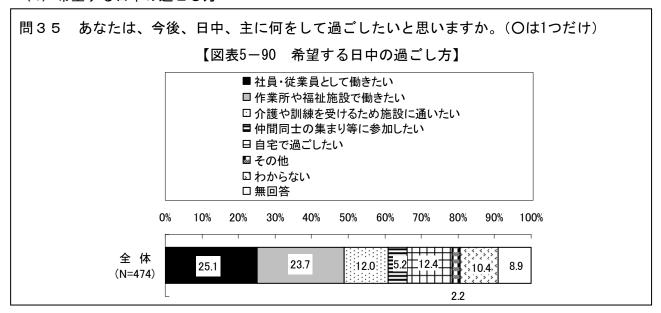
【図表5-89 年齢(詳細、2区分)別、手帳判定別

自宅や地域で生活するために必要なこと】(%)

					白字とか	はでよる	るために必	. 西ナ> こし		
		調								
		查 数	るの食	家	る宿短	く主	仕	場仲グ	ある地	が夜
		数	人家事	族	こ泊期	に治	事	が間ル	る相域	い間
		$\widehat{}$	が事や	٢	とで入	あ医	が	あとし	こ談で	るの
		人	いの掃	同	き所	るや	あること	る共プ	と員何	こ介
		\smile	る手除	居	るな	こ医	<u>ර</u>	こ見本	やで	と護
			こ伝、	で	とど こ緊	と療	_ I.	と生し	相も	を ±=
			とい洗	さって	こ緊 ろ急	機 関	ح	活ム	談相	粗ん
			を濯 頼な	<u> </u>	つ忌 が時) が		でな	窓談	α) z
			想をめど	同居できること	あに	近		きど るの	ロで がき	とを頼める人
			ے ری	_	ے ا ر <i>ی</i> ن	<u> </u>		<i>€</i> 00	ν. ς	^
	体	474	33.1	28.5	22.8	20.6	19.2	14.7	14.3	12.3
一年	64歳以下 65歳以上 無回答	439	32.5	28.9	23.5	20.1	20.8	14.8	15.1	11.1
区分分	65歳以上	35	41.4	22.6	13.9	27.1	-	13.4	4.5	27.1
		_	-	-	-	-	-	-	-	_
全	体	474	33.1	28.5	22.8	20.6	19.2	14.7	14.3	12.3
	20歳代以下	152	34.7	26.1	25.0	18.8	27.8	22.2	14.2	13.6
	30歳代	114	35.1	28.8	31.5	18.9	17.1	13.5	11.7	14.4
年	40歳代	92	25.6	34.9	19.8	20.9	18.6	8.1	16.3	7.0
齢	50歳代	53	28.9	23.7	18.4	28.9	18.4	15.8	23.7	2.6
詳	60~64歳	28	39.1	34.8	4.3	13.0	8.7	-	13.0	13.0
細	65~74歳	34	40.9	22.7	13.6	27.3	-	13.6	4.5	27.3
	75歳以上	1	71.4	14.3	28.6	14.3	-	-	-	14.3
	無回答	-	-	-	-	_	-	_	-	_
	体	474	33.1	28.5	22.8	20.6	19.2	14.7	14.3	12.3
手	重度(A1~A3)	206	33.9	34.4	39.0	21.9	4.0	15.0	8.5	22.0
帳	中度(B1)	126	33.7	24.5	7.9	20.5	29.5	15.0	15.0	4.9
判定	軽度(B2)	119	32.1	25.3	11.8	21.6	37.6	13.6	26.4	2.8
定	無回答	24	28.0	14.3	15.3	4.9	4.5	16.2	_	14.6

		調			自宅や地	域で生活す	るために必	要なこと		
		酒査数(人)	施設で働けること	がいること昼間の介護を頼める人	くにあること 生活に必要な機関が近スーパー や銀行などの	め施設に通えること介護や訓練を受けるた	サービスがあることの介護を頼める人)のガイドヘルパー(外出	その他	特にない	無回答
	体	474	11.6	11.0	10.6	9.8	8.4	1.0	6.5	10.4
区年	64歳以下 65歳以上	439	12.6	10.0	9.7	10.6	8.7	1.1	7.0	9.8
分齡	65歳以上	35	-	22.8	22.4	0.2	4.9	_	0.2	18.1
" 2	無回答	_	_	_	_	_	-	_	_	_
全	体	474	11.6	11.0	10.6	9.8	8.4	1.0	6.5	10.4
	20歳代以下	152	13.6	10.8	10.8	14.8	11.9	1.7	4.0	6.8
	30歳代	114	10.8	8.1	6.3	11.7	8.1	1.8	5.4	9.0
年	40歳代	92	14.0	5.8	9.3	4.7	4.7	-	12.8	12.8
齢	50歳代	53	10.5	13.2	10.5	2.6	7.9	-	10.5	10.5
詳	60~64歳	28	13.0	21.7	17.4	17.4	8.7	-	4.3	17.4
細	65~74歳	34	_	22.7	22.7	_	4.5	-	_	18.2
	75歳以上	1	_	28.6	_	14.3	28.6	-	14.3	14.3
	無回答	_	_	-	_	_	-	_	_	_
	体	474	11.6	11.0	10.6	9.8	8.4	1.0	6.5	10.4
手	重度(A1~A3)	206	9.1	20.1	6.7	19.4	12.9	0.8	1.7	9.5
帳	中度(B1)	126	15.8	3.5	13.2	2.9	7.0	0.8	9.2	15.0
判	軽度(B2)	119	12.2	2.3	14.3	2.5	2.2	0.7	11.2	7.7
定	無回答	24	9.1	15.0	13.2	_	8.5	4.3	10.2	7.0

(4) 希望する日中の過ごし方



回答者全体では「社員・従業員として働きたい」(25.1%)が最も多く、次いで「作業所や福祉施設で働きたい」(23.7%)、「自宅で過ごしたい」(12.4%)となっているが、年齢による差が大きく、年齢2区分別にみると、64歳以下では「社員・従業員として働きたい」(27.1%)が最も多く、65歳以上では「自宅で過ごしたい」(26.8%)が最も多くなっている。

年齢別に詳細にみると、30歳代以下では「作業所や福祉施設で働きたい」の割合が高く、3割強を占めている。

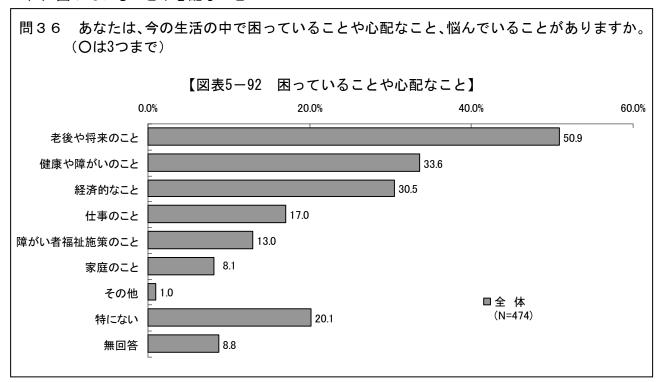
手帳判定別にみると、A判定の重度者では「作業所や福祉施設で働きたい」(32.2%) や「介護や訓練を受けるため施設に通いたい」(23.7%)の割合が高い。一方、B判定の中度者・軽度者では「社員・従業員として働きたい」の割合が高く、中度者では4割弱(35.3%)、軽度者では過半数(51.2%)となっている。

【図表5-91 4	年齢(詳細、	2区分) 別、	手帳判定別	希望する日中の過ごし方】(%)

		希望する日中の過ごし方 調 て社 で作 たる介 等仲 自 そ わ 無										
		調査数(人)	社員・従業員とし	で働きたい	たいるため施設に通い介護や訓練を受け	等に参加したい	自宅で過ごしたい	そ の 他	わからない	無回答		
全		474	25.1	23.7	12.0	5.2	12.4	2.2	10.4	8.9		
	64歳以下	439	27.1	25.2	12.6	4.2	11.3	2.4	8.3	8.9		
分齡	65歳以上	35	_	4.5	4.7	18.1	26.8	0.2	36.5	9.2		
		_	-	-	-	-	-	-	-	_		
全	体	474	25.1	23.7	12.0	5.2	12.4	2.2	10.4	8.9		
	20歳代以下	152	33.5	31.3	15.3	2.8	5.7	1.1	4.0	6.3		
	30歳代	114	23.4	31.5	11.7	5.4	9.9	3.6	8.1	6.3		
年	40歳代	92	30.2	15.1	10.5	1.2	16.3	2.3	11.6	12.8		
齢 詳	50歳代	53	21.1	18.4	5.3	10.5	18.4	ı	13.2	13.2		
詳	60~64歳	28	8.7	13.0	21.7	4.3	17.4	8.7	13.0	13.0		
細	65~74歳	34	_	4.5	4.5	18.2	27.3	_	36.4	9.1		
	75歳以上	1	_	-	14.3	14.3	1	14.3	42.9	14.3		
	無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	_		
	体	474	25.1	23.7	12.0	5.2	12.4	2.2	10.4	8.9		
手	重度(A1~A3)	206	4.1	32.2	23.7	6.6	13.6	0.8	9.8	9.1		
帳	中度(B1)	126	35.3	18.1	3.2	6.8	12.0	2.5	13.2	9.0		
判	軽度(B2)	119	51.2	15.7	3.5	0.7	8.1	4.7	6.9	9.2		
定	無回答	24	22.8	19.3	-	7.0	26.6	0.3	19.1	4.9		

8. 情報収集や相談について

(1) 困っていることや心配なこと



回答者全体では「老後や将来のこと」(50.9%)が最も多く、次いで「健康や障がいのこと」(33.6%)、「経済的なこと」(30.5%)となっている。

年齢2区分別にみると、64歳以下では65歳以上に比べて「老後や将来のこと」(51.7%)等の割合が高い一方、65歳以上では「健康や障がいのこと」(49.2%)や「経済的なこと」(45.0%)、「障がい者福祉政策のこと」(31.3%)等の割合が高い。

年齢別に詳細にみると、20歳代以下では他に比べて「仕事のこと」(27.3%)の割合が高く3割弱を占めている。

手帳判定別にみると、A判定の重度者では「老後や将来のこと」(59.3%)や「障がい者福祉施策のこと」(21.2%)等の割合が高い。また、B2判定の軽度者では「仕事のこと」(39.1%)の割合が高くなっている。

世帯状況別にみると、親との二世代同居者では他に比べて「老後や将来のこと」(55.1%)の割合が高く、6割弱を占めている。また、夫婦のみでは「家庭のこと」(30.9%)が3割と高い。

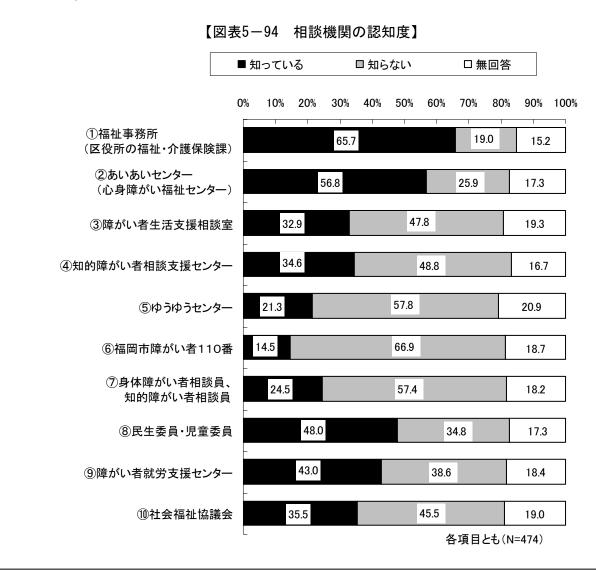
【図表5-93 年齢(詳細、2区分)別、手帳判定別、世帯状況別

困っていることや心配なこと】(%)

		1				•			(O H		
		調			团	っている	ることや心	い配なこ	٢		
		香数(人)	経済的なこと	仕事のこと	のこと がい	家庭のこと	施策のことでいる。	ことを後や将来の	そ の 他	特にない	無回答
全	体	474	30.5	17.0	33.6	8.1	13.0	50.9	1.0	20.1	8.8
区年	64歳以下	439	29.3	18.0	32.4	7.7	11.5	51.7	1.0	21.3	8.4
ム圏で	65歳以上	35	45.0	4.7	49.2	13.4	31.3	40.7	0.2	5.2	13.6
2	無回答	-	_	-	_	_	_	-	-	-	_
全	体	474	30.5	17.0	33.6	8.1	13.0	50.9	1.0	20.1	8.8
	20歳代以下	152	33.0	27.3	30.7	6.3	13.6	48.3	-	19.9	7.4
	30歳代	114	31.5	15.3	38.7	9.0	14.4	55.0	1.8	17.1	8.1
年	40歳代	92	30.2	11.6	30.2	8.1	5.8	51.2	1.2	24.4	9.3
齢	50歳代	53	23.7	13.2	23.7	7.9	10.5	55.3	2.6	28.9	5.3
詳	60~64歳	28	8.7	8.7	39.1	8.7	8.7	52.2	_	21.7	17.4
細	65~74歳	34	45.5	4.5	50.0	13.6	31.8	40.9	-	4.5	13.6
	75歳以上	1	14.3	14.3	_	_	_	28.6	14.3	42.9	14.3
	無回答	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_
	体	474	30.5	17.0	33.6	8.1	13.0	50.9	1.0	20.1	8.8
手	重度(A1~A3)	206	29.4	4.8	37.0	4.5	21.2	59.3	0.5	14.0	10.1
帳	中度(B1)	126	29.8	18.0	31.4	13.4	10.0	40.3	2.0	27.1	9.2
判	軽度(B2)	119	35.1	39.1	30.7	9.6	4.4	46.7	0.9	22.8	6.3
定	無回答	24	20.2	7.3	30.5	4.3	_	55.1	0.3	22.8	7.0
全	体	474	30.5	17.0	33.6	8.1	13.0	50.9	1.0	20.1	8.8
	一人暮らし	43	25.6	30.4	30.5	5.2	8.8	48.7	-	23.3	10.0
	夫婦のみ	16	23.3	20.9	29.9	30.9	16.5	27.7	6.5	26.0	7.8
世	二世代同居(親と本人)	328	31.4	15.6	33.6	7.7	12.8	55.1	0.8	19.4	7.6
帯	二世代同居(子と本人)	8	48.2	-	-	13.9	20.3	48.2	_	13.3	24.6
状	三世代同居	17	21.2	35.5	27.2	11.1	5.1	42.4	6.0	16.1	10.1
況	その他	31	29.6	9.5	30.3	7.8	15.2	34.7	_	29.0	18.2
	グループホーム・ケアホーム	22	38.7	17.8	63.6	3.9	19.4	40.3	0.4	15.9	
	無回答	9	17.6	-	33.3	_	17.6	49.0	-	15.7	17.6

(2) 相談機関の認知度

問37 福岡市には、障がいのある方からのさまざまな相談事に応じる場として、次のような場所(機関)があります。あなたは、これらの相談場所(機関)があることを知っていましたか。また、利用したことがありますか。さらに、今後利用したいと思いますか。① ~⑩の項目ごとに、認知度と利用状況・利用意向のそれぞれについて〇をつけてください。



相談機関の認知度(「知っている」の割合)は、「①福祉事務所」(65.7%)で7割弱と最も高く、次いで「②あいあいセンター」(56.8%)、「⑧民生委員・児童委員」(48.0%)、「⑨障がい者就労支援センター」(43.0%)となっている。

年齢2区分別にみると、「⑦身体障がい者相談員、知的障がい者相談員」を除くすべての相談機関について65歳以上よりも64歳以下で認知度が高く、特に「②あいあいセンター」では30ポイント以上の差がある。

年齢別に詳細にみると、20歳代以下は30歳代以上に比べて「②あいあいセンター(心身障がい福祉センター)」(79.0%)や「①福祉事務所(区役所の福祉・介護保険課)」(72.2%)、「⑨障がい者就労支援センター」(61.9%)、「⑤ゆうゆうセンター」(34.7%)等の認知度が高い。

手帳判定別にみると、A判定の重度者では他に比べて「①福祉事務所」(80.6%)や「⑧民生委員・児童委員」(63.1%)、「⑩社会福祉協議会」(46.8%)等の認知度が高い。

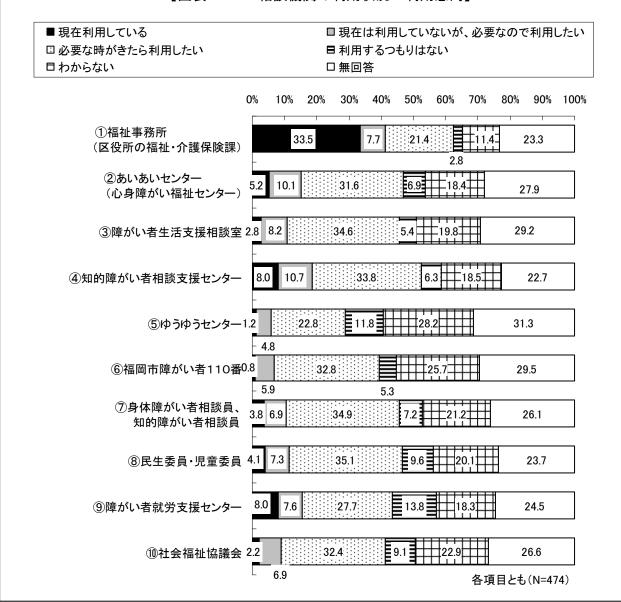
【図表5-95 年齢(詳細、2区分)別、手帳判定別 相談機関の認知度(知っている)】(%)

		調	相談機関の認知度(知っている)										
		香数(人)	祉・介護保険課) (国役所の福	がい福祉センター)②あいあいセンター (心身障	③障がい者生活支援相談室	ター の	⑤ゆうゆうセンター	⑥福岡市障がい者110番	障がい者相談員の身体障がい者相談員、知的	⑧民生委員・児童委員	⑨障がい者就労支援センタ―	⑩社会福祉協議会	
全	体	474	65.7	56.8	32.9	34.6	21.3	14.5	24.5	48.0	43.0	35.5	
一年	64歳以下	439	66.7	59.2	34.8	35.5	22.3	15.3	24.3	48.2	44.7	36.1	
	65歳以上	35	54.1	26.8	8.9	22.4	8.9	4.5	26.8	45.2	22.4	27.3	
²⁷ 2	無回答	_	-	-	-	-	-	_	_	-	_	_	
全	体	474	65.7	56.8	32.9	34.6	21.3	14.5	24.5	48.0	43.0	35.5	
	20歳代以下	152	72.2	79.0	33.0	34.1	34.7	17.0	19.3	55.1	61.9	44.9	
	30歳代	114	69.4	64.0	37.8	38.7	18.0	10.8	27.0	43.2	37.8	36.9	
年	40歳代	92	58.1	45.3	36.0	36.0	15.1	19.8	24.4	40.7	36.0	29.1	
齢	50歳代	53	60.5	34.2	31.6	36.8	13.2	13.2	31.6	47.4	36.8	28.9	
詳	60~64歳	28	65.2	26.1	34.8	26.1	13.0	13.0	26.1	56.5	21.7	21.7	
細	65~74歳	34	54.5	27.3	9.1	22.7	9.1	4.5	27.3	45.5	22.7	27.3	
	75歳以上	1	28.6	-	-	-	-	_	_	28.6	_	28.6	
	無回答	_	_	-	-	-	-	-	_	_	_	_	
	体	474	65.7	56.8	32.9	34.6	21.3	14.5	24.5	48.0	43.0	35.5	
手	重度(A1~A3)	206	80.6	59.4	35.9	42.0	25.3	19.5	32.1	63.1	42.0	46.8	
帳	中度(B1)	126	53.1	48.5	27.2	28.2	13.7	5.4	20.3	36.4	37.1	28.0	
判	軽度(B2)	119	57.5	65.1	34.7	33.0	22.7	16.4	18.1	35.7	55.0	26.8	
定	無回答	24	44.9	37.7	28.8	11.8	20.0	9.6	12.5	39.5	22.8	19.5	

(3) 相談機関の利用状況・利用意向

問37 福岡市には、障がいのある方からのさまざまな相談事に応じる場として、次のような場所(機関)があります。あなたは、これらの相談場所(機関)があることを知っていましたか。また、利用したことがありますか。さらに、今後利用したいと思いますか。① ~⑩の項目ごとに、認知度と利用状況・利用意向のそれぞれについて〇をつけてください。

【図表5-96 相談機関の利用状況・利用意向】



相談機関の利用状況・利用意向についてみると、利用状況は「①福祉事務所」(33.5%)で3割強を占めているほかは、いずれも1割未満である。

「現在利用している」と「現在は利用していないが、必要なので利用したい」の合計を『利用意向』として整理すると、「①福祉事務所」(41.2%)が4割強を占めて最も高く、次いで「④知的障がい者相談支援センター」(18.7%)、「⑨障がい者就労支援センター」(15.6%)となっている。

この『利用意向』を年齢別にみると、20歳代以下では30歳代以上に比べて「②あいあいセンター」 (22.8%) や「⑨障がい者就労支援センター」(25.6%)等の割合が高く、2割を超えている。

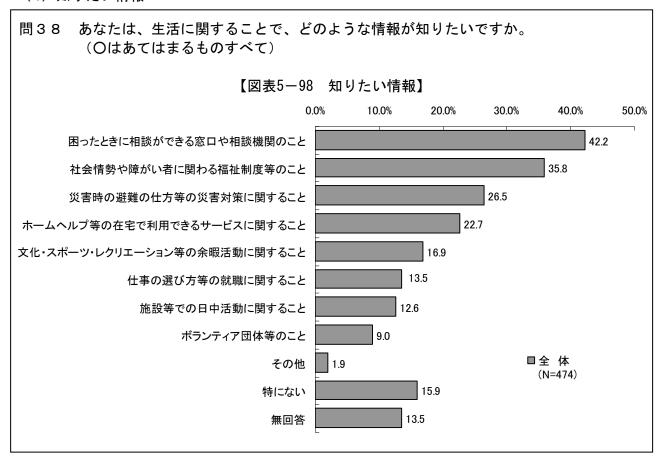
手帳判定別にみると、A判定の重度者では「①福祉事務所」(59.9%)の割合が6割を占めて高い。また、軽度者(B2)では、「⑨障がい者就労支援センター」(29.8%)が3割を占めており、他に比べて割合が高い。

【図表5-97 年齢詳細別、手帳判定別

相談機関の利用意向(現在利用+必要で利用したい)】(%)

相談機関の利用意向(現在利用+必要で利用したい) 査 社① が② ③ タ④ ⑤ ⑥ 障⑦ ⑧ ⑨ ⑩												
		調査数(人)	祉・介護保険課)	がい福祉センター) ②あいあいセンター (心身障	③障がい者生活支援相談室	ター 倒知的障がい者相談支援セン	⑤ゆうゆうセンター	⑥福岡市障がい者110番	障がい者相談員の身体障がい者相談員、知的	⑧民生委員・児童委員	⑨障がい者就労支援センター	⑩社会福祉協議会
全	体	474	41.2	15.3	11.0	18.7	6.0	6.7	10.7	11.4	15.6	9.1
	20歳代以下	152	48.9	22.8	9.6	19.9	9.7	7.4	13.1	14.8	25.6	11.4
	30歳代	114	45.0	13.5	10.8	16.2	5.4	3.6	5.4	9.9	7.2	6.3
年	40歳代	92	30.2	15.1	11.6	17.4	4.6	7.0	12.8	9.3	18.6	11.6
齢	50歳代	53	34.2	5.2	13.2	21.1	-	7.9	7.9	7.9	13.2	2.6
詳	60~64歳	28	21.7	8.7	4.3	17.4	_	4.3	8.6	4.3	4.3	-
細	65~74歳	34	50.0	9.1	18.1	22.7	9.1	13.6	18.1	18.1	4.5	18.1
	75歳以上	1	14.3	_	_	-	_	_	_	14.3	_	_
	無回答	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_
全	体	474	41.2	15.3	11.0	18.7	6.0	6.7	10.7	11.4	15.6	9.1
手	重度(A1~A3)	206	59.9	12.9	10.8	21.4	4.5	5.8	10.2	13.3	6.8	10.3
帳	中度(B1)	126	25.3	15.6	10.1	16.2	6.5	8.8	10.5	10.8	15.8	5.6
判	軽度(B2)	119	25.2	16.1	8.6	17.4	6.1	4.4	10.1	7.1	29.8	9.2
定	無回答	24	42.1	29.6	29.6	14.8	14.8	14.8	19.3	19.6	19.3	14.8

(4) 知りたい情報



回答者全体では「困ったときに相談ができる窓口や相談機関のこと」(42.2%)が最も多く、次いで「社会情勢や障がい者に関わる福祉制度等のこと」(35.8%)、「災害時の避難の仕方等の災害対策に関すること」(26.5%)、「ホームヘルプ等の在宅で利用できるサービスに関すること」(22.7%)となっている。

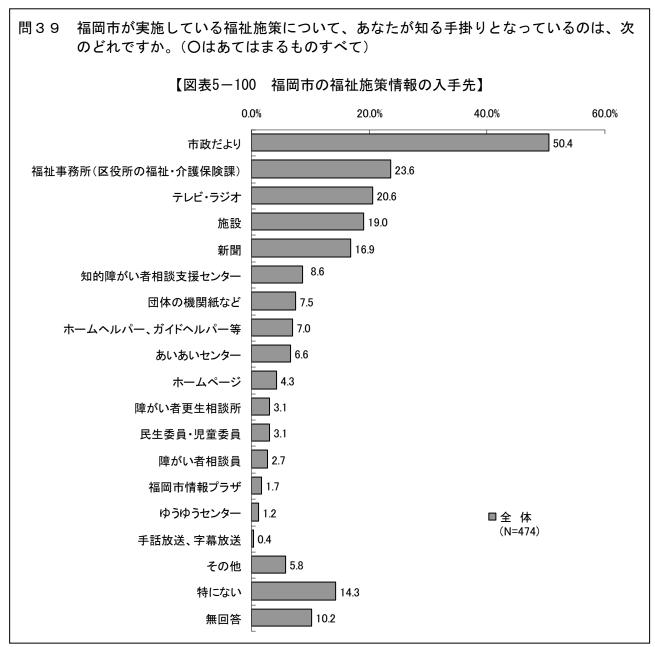
年齢別に詳細にみると、20歳代以下では30歳代以上に比べて「社会情勢や障がい者に関わる制度等のこと」(46.0%)や「文化・スポーツ・レクリエーション等の余暇活動に関すること」(27.8%)、「仕事の選び方等の就職に関すること」(23.9%)等の割合が高い。

手帳判定別にみると、A判定の重度者では他に比べて「社会情勢や障がい者に関わる福祉制度等のこと」(44.7%)や「ホームヘルプ等の在宅で利用できるサービスに関すること」(34.3%)、「災害時の避難の仕方等の災害対策に関すること」(33.1%)等の割合が高い一方、B判定の中度者・軽度者では「仕事の選び方等の就職に関すること」の割合が2割前後と高くなっている。

【図表5-99 年齢詳細別、手帳判定別 知りたい情報】(%)

		知りたい情報												
		調査数(人)	きる窓口や相談機関の困ったときに相談がで	と関わる福祉制度等のこ社会情勢や障がい者に	災害対策に関	関すること利用できるサームへルプ等	動に関することエーション等の余化・スポーツ・レ	関事すの選	関すること施設等での日中活動に	ことがランティア団体等の	その他	特にない	無回答	
全	体	474	42.2	35.8	26.5	22.7	16.9	13.5	12.6	9.0	1.9	15.9	13.5	
	20歳代以下	152	47.2	46.0	29.5	25.6	27.8	23.9	15.3	11.9	1.7	11.9	7.4	
	30歳代	114	45.0	33.3	29.7	26.1	18.9	12.6	13.5	13.5	1.8	13.5	13.5	
年	40歳代	92	36.0	30.2	22.1	16.3	11.6	7.0	9.3	3.5	1	24.4	16.3	
齢 詳	50歳代	53	39.5	28.9	15.8	21.1	10.5	7.9	7.9	5.3		15.8	18.4	
詳	60~64歳	28	30.4	26.1	26.1	17.4	-	4.3	13.0	-	4.3	21.7	17.4	
細	65~74歳	34	40.9	31.8	31.8	22.7	_	4.5	13.6	9.1	4.5	13.6	22.7	
	75歳以上	1	28.6	28.6	14.3	14.3	-	-	-	-	ı	57.1	14.3	
	無回答	_	_	-	_	_	_	_	_	-	-	_	_	
全	体	474	42.2	35.8	26.5	22.7	16.9	13.5	12.6	9.0	1.9	15.9	13.5	
手	重度(A1~A3)	206	46.7	44.7	33.1	34.3	21.1	6.0	17.8	10.7	0.4	7.7	15.2	
帳	中度(B1)	126	45.2	35.1	22.2	13.1	16.8	21.6	8.9	6.3		21.5	10.7	
判定	軽度(B2)	119	35.5	25.6	20.4	15.6	12.3	18.1	9.2	9.0	2.6	22.4	12.1	
定	無回答	24	20.0	12.7	23.7	8.2	4.3	13.4	4.5	8.0	11.0	25.7	21.0	

(5) 福岡市の福祉施策情報の入手先



回答者全体では「市政だより」(50.4%)が半数を占めて最も多く、次いで「福祉事務所(区役所の福祉・介護保険課)」(23.6%)、「テレビ・ラジオ」(20.6%)、「施設」(19.0%)、「新聞」(16.9%)となっており、「特にない」も14.3%いる。その他はいずれも1割未満となっている。

年齢別に詳細にみると、「市政だより」は50歳代以下で割合が高く、特に30歳代では6割を超えている。 また、30歳代以下では40歳代以上に比べて「施設」の割合も高く、2割を超えている。

手帳判定別にみると、A判定の重度者では「市政だより」(61.5%)や「福祉事務所(区役所の福祉・介護保険課)」(31.2%)、「施設」(30.9%)等の割合が高い。

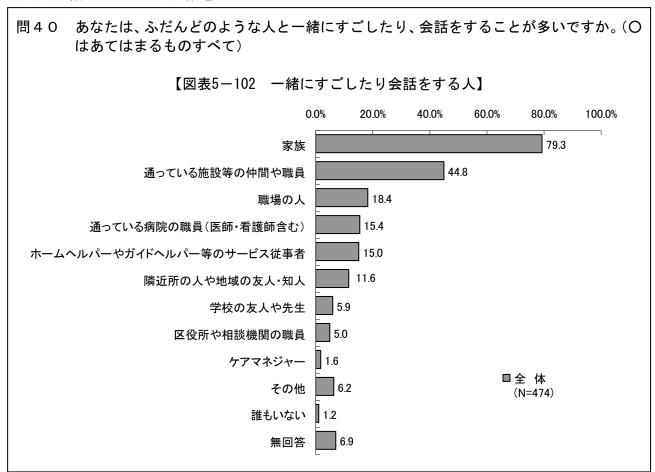
【図表5-101 年齢詳細別、手帳判定別 福岡市の福祉施策情報の入手先】(%)

		調		福岡市の福祉施策情報の入手先									
		酒査数(人)	市政だより	福祉・介護保険課)福祉事務所(区役所の	テレビ・ラジオ	施設	新聞	センター 知的障がい者相談支援	団体の機関紙など	ドヘルパー 等ホームヘルパー、ガイ	あいあいセンター	ホームページ	
全	体	474	50.4	23.6	20.6	19.0	16.9	8.6	7.5	7.0	6.6	4.3	
	20歳代以下	152	48.9	22.2	17.0	23.9	14.2	7.4	9.7	7.4	9.1	5.1	
	30歳代	114	64.0	27.0	21.6	21.6	26.1	10.8	8.1	9.9	5.4	7.2	
年	40歳代	92	46.5	26.7	19.8	15.1	16.3	8.1	12.8	2.3	9.3	4.7	
齢	50歳代	53	50.0	18.4	21.1	7.9	18.4	13.2	_	7.9	5.3	_	
詳	60~64歳	28	34.8	13.0	30.4	17.4	8.7	4.3	_	4.3	-	_	
細	65~74歳	34	36.4	27.3	27.3	18.2	4.5	4.5	_	9.1	-	_	
	75歳以上	1	14.3	_	_	_	_	_	_	-	_	-	
	無回答	-	_	_	_	-	_	_	_	_	-	_	
全	体	474	50.4	23.6	20.6	19.0	16.9	8.6	7.5	7.0	6.6	4.3	
手	重度(A1~A3)	206	61.5	31.2	20.4	30.9	21.4	8.0	13.4	9.0	2.3	3.6	
帳	中度(B1)	126	41.6	20.7	21.9	11.6	6.9	10.7	3.3	8.3	11.1	2.4	
判	軽度(B2)	119	42.4	13.0	20.6	8.0	18.8	9.1	3.3	2.1	8.0	8.2	
定	無回答	24	40.7	26.6	16.4	10.4	21.4	_	-	8.0	13.4	_	

福岡市の福祉施策情報の入手先											
		調査数(人)	障がい者更生相談所	民生委員・児童委員	障がい者相談員	福岡市情報プラザ	ゆうゆうセンター	手話放送、字幕放送	その他	特にない	無回答
全	体	474	3.1	3.1	2.7	1.7	1.2	0.4	5.8	14.3	10.2
	20歳代以下	152	2.3	2.3	2.3	1.1	2.3	-	11.4	17.6	7.4
	30歳代	114	6.3	3.6	3.6	3.6	0.9	1.8	3.6	9.0	9.9
年	40歳代	92	4.7	3.5	1.2	2.3	1.2	_	2.3	12.8	9.3
齢	50歳代	53	_	2.6	5.3	_	_	_	2.6	13.2	13.2
詳	60~64歳	28	-	8.7	4.3	-	-	-	8.7	26.1	8.7
細	65~74歳	34	-	1	-	-	-	-	1	13.6	22.7
	75歳以上	1	_	14.3	_	_	_	_	28.6	28.6	14.3
	無回答	-	_	_	_	_	_	_	_	_	_
全	体	474	3.1	3.1	2.7	1.7	1.2	0.4	5.8	14.3	10.2
手	重度(A1~A3)	206	1.9	3.6	1.3	0.4	1.8	0.5	6.2	8.0	10.1
帳	中度(B1)	126	6.3	3.4	3.9	4.0	0.7	_	5.8	18.3	7.3
判	軽度(B2)	119	2.5	2.5	4.3	1.8	0.9	0.9	6.4	20.4	12.3
定	無回答	24	_	0.3	_	_	_	_	_	17.9	16.5

9. 地域とのかかわり・福祉施策全般について

(1) 一緒にすごしたり会話をする人



回答者全体では「家族」(79.3%) が8割を占めて最も多く、次いで「通っている施設等の仲間や職員」(44.8%)、「職場の人」(18.4%)、「通っている病院の職員(医師・看護師含む)」(15.4%) となっている。

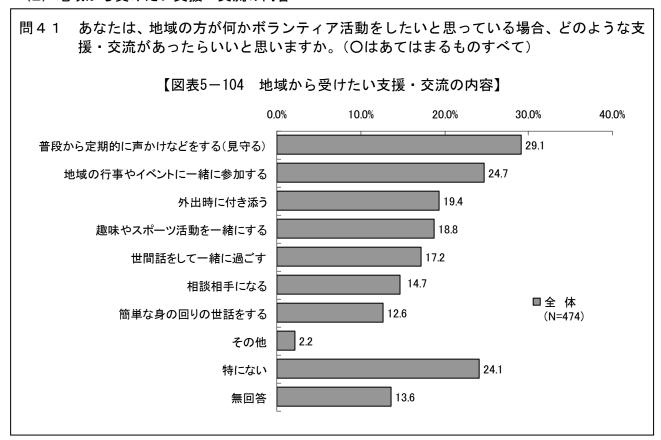
年齢別に詳細にみると、30歳代以下では「通っている施設等の仲間や職員」の割合が過半数と高い。また、20歳代以下では30歳代以上に比べて「家族」(91.5%)や「学校の友人や先生」(14.2%)の割合も高くなっている。

手帳判定別にみると、A判定の重度者では「通っている施設等の仲間や職員」(66.5%) や「ホーム ヘルパーやガイドヘルパー等のサービス従事者」(27.0%) の割合が高い。また、B判定の中度者・軽度者では「職場の人」の割合が3割前後で高い。

【図表5-103 年齢詳細別、手帳判定別 一緒にすごしたり会話をする人】(%)

		調	一緒に過ごしたり会話をする人											
調査数(人)		查数(人	家族	員通っている施設等の仲間や職	職場の人	師・看護師含む)通っている病院の職員(医	パー 等のサービス従事者ホームヘルパー やガイドヘル	人が近所の人や地域の友人・知	学校の友人や先生	区役所や相談機関の職員	ケアマネジャー	その他	誰もいない	無回答
全	体	474	79.3	44.8	18.4	15.4	15.0	11.6	5.9	5.0	1.6	6.2	1.2	6.9
	20歳代以下	152	91.5	51.7	22.2	12.5	19.9	14.2	14.2	2.3	-	6.3	0.6	4.0
	30歳代	114	85.6	52.3	19.8	13.5	18.0	9.0	3.6	4.5	0.9	3.6	0.9	6.3
年	40歳代	92	81.4	33.7	23.3	19.8	7.0	8.1	1.2	5.8	2.3	4.7	1.2	5.8
齢	50歳代	53	60.5	39.5	13.2	13.2	13.2	21.1	_	10.5	2.6	5.3	2.6	10.5
詳	60~64歳	28	69.6	34.8	4.3	26.1	8.7	4.3	4.3	4.3	4.3	13.0	-	13.0
細	65~74歳	34	36.4	36.4	4.5	18.2	13.6	9.1	-	9.1	4.5	13.6	4.5	13.6
	75歳以上	1	28.6	42.9	1	1	-	14.3	-	-	42.9	28.6	-	14.3
	無回答	1	_	_	_	_	-	_	_	-	-	-	_	_
全	体	474	79.3	44.8	18.4	15.4	15.0	11.6	5.9	5.0	1.6	6.2	1.2	6.9
手	重度(A1~A3)	206	82.5	66.5	3.8	20.2	27.0	8.8	2.7	3.1	1.4	4.7	0.4	7.3
帳	中度(B1)	126	81.0	29.6	27.9	10.5	6.8	12.4	10.3	5.1	2.0	7.4	2.0	6.5
判	軽度(B2)	119	75.9	25.3	34.5	10.3	3.5	16.9	8.0	9.3	1.8	6.3	-	5.9
定	無回答	24	58.6	36.7	14.8	26.4	12.5	4.9	-	-	0.3	11.5	11.0	9.9

(2) 地域から受けたい支援・交流の内容



回答者全体では「普段から定期的に声かけなどをする(見守る)」(29.1%)が3割を占めて最も多く、次いで「地域の行事やイベントに一緒に参加する」(24.7%)、「外出時に付き添う」(19.4%)、「趣味やスポーツ活動を一緒にする」(18.8%)となっている。また、「特にない」(24.1%)が2割強となっている。

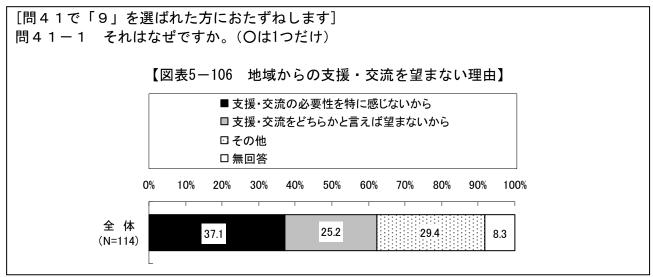
年齢別に詳細にみると、20歳代以下では他に比べて「地域の行事やイベントに一緒に参加する」(36.4%)、「趣味やスポーツ活動を一緒にする」(29.5%)の割合が高い。

手帳判定別にみると、A判定の重度者では「普段から定期的に声かけなどをする(見守る)」(40.3%)や「外出時に付き添う」(27.6%)の割合が高い。一方、B判定の中度者・軽度者では「相談相手になる」の割合が2割前後と高くなっている。

	【凶衣3-103 中	一图11日十小	וית ש, -	一收刊 。	ᄹᄭ	地域ル	う文言	17-6.7	人]反 .	又加切		(70)		
		雷	地域から受けたい支援・交流の内容調											
		香数(人)	をする(見守る) 普段から定期的に声かけなど	に参加する地域の行事やイベントに一緒	外出時に付き添う	する 趣味やスポーツ活動を一緒に	世間話をして一緒に過ごす	相談相手になる	簡単な身の回りの世話をする	その他	特にない	無回答		
全	体	474	29.1	24.7	19.4	18.8	17.2	14.7	12.6	2.2	24.1	13.6		
	20歳代以下	152	33.5	36.4	19.9	29.5	15.3	16.5	12.5	3.4	18.8	6.8		
	30歳代	114	26.1	31.5	24.3	21.6	16.2	13.5		2.7	31.5	9.9		
年	40歳代	92	23.3	17.4	9.3	9.3	16.3	11.6	8.1	2.3	29.1	18.6		
齢	50歳代	53	28.9	15.8	18.4	18.4	18.4	18.4	15.8	_	18.4	21.1		
詳	60~64歳	28	21.7	4.3	21.7	4.3	30.4	8.7	8.7	_	34.8	17.4		
細	65~74歳	34	40.9	-	27.3	-	18.2	18.2	9.1	_	9.1	27.3		
	75歳以上	1	14.3	28.6	-	_	14.3	_	-	_	57.1	14.3		
	無回答	_	_	_	-	_	_	_	-	_	_	-		
全		474	29.1	24.7	19.4	18.8	17.2	14.7	12.6		24.1	13.6		
手	重度(A1~A3)	206	40.3	26.6	27.6	16.1	17.2	8.3	15.5		17.7	14.8		
帳	中度(B1)	126	21.8	24.3	17.2	24.0	16.9	17.8	11.2	0.7	31.6	11.0		
判	軽度(B2)	119	19.3	23.9	7.5	19.1	19.8	21.7	11.0	3.2	26.5	12.3		
定	無回答	24	18.8	13.4	19.3	12.7	4.9	18.5	3.7	4.3	27.1	22.6		

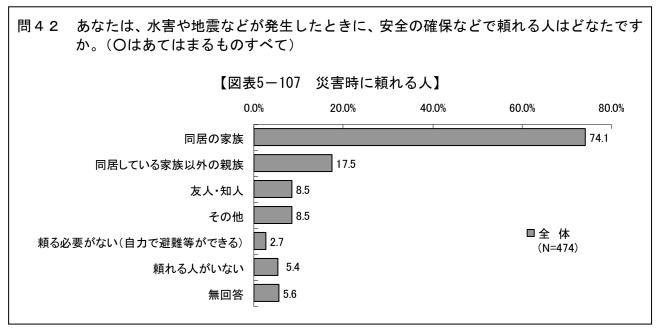
【図表5-105 年齢詳細別、手帳判定別 地域から受けたい支援・交流の内容】(%)

(3) 地域からの支援・交流を望まない理由



回答者全体では「支援・交流の必要性を特に感じないから」(37.1%)が4割弱、「支援・交流をどち らかと言えば望まないから」(25.2%)が3割弱となっている。

(4) 災害時に頼れる人



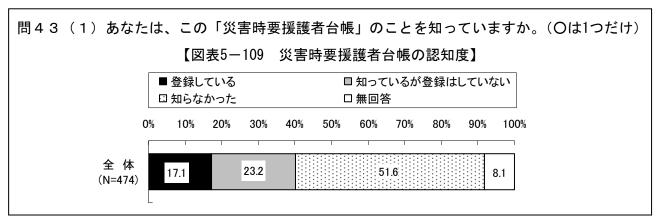
回答者全体では「同居の家族」(74.1%)が7割強を占めて最も多く、次いで「同居している家族以外の親族」(17.5%)となっている。

年齢2区分別にみると、64歳以下は65歳以上に比べて「同居の家族」(77.5%)の割合が高い。 年齢別に詳細にみると、30歳代以下では他に比べて「同居の家族」の割合が高く、8割を超えている。 手帳判定別にみると、A判定の重度者では「同居の家族」(83.0%)の割合が高く、8割を超えている。 世帯状況別にみると、一人暮らしでは他に比べて「頼れる人がいない」(30.2%)の割合が高く、3割を占めている。

【図表5-108 年齢(詳細、2区分)別、手帳判定別、世帯状況別 災害時に頼れる人】(%)

	100 平图1 (肝神、21		X J TIX	T1 /C //11 V	中市小	(1)(1)(1)	X D PI)	- 小只10.の	
		調			災害	時に頼れ	る人		
		香数(人)	同居の家族	の親族同居している家族以外	友人・知人	その他	で避難等ができる)頼る必要がない(自力	頼れる人がいない	無回答
全	体	474	74.1	17.5	8.5	8.5	2.7	5.4	5.6
区年	64歳以下	439	77.5	17.8	8.8	7.3	2.5	4.8	5.3
八町	65歳以上	35	31.8	13.4	4.5	23.1	4.5	13.4	9.4
	悪凹合	-	_	-	-	_	-	_	-
全	体	474	74.1	17.5	8.5	8.5	2.7	5.4	5.6
	20歳代以下	152	88.1	16.5	11.4	6.8	2.8	1.7	3.4
	30歳代	114	84.7	16.2	8.1	4.5	1.8	5.4	4.5
年	40歳代	92	74.4	22.1	4.7	3.5	2.3		5.8
齢	50歳代	53	52.6	15.8	10.5	18.4	2.6	10.5	5.3
詳	60~64歳	28	47.8	21.7	8.7	13.0	4.3		17.4
細	65~74歳	34	31.8	13.6	4.5	22.7	4.5	13.6	9.1
	75歳以上	1	28.6	_	-	42.9	_	_	28.6
	無回答	-	-	_	-	-	-	_	-
全	体	474	74.1	17.5	8.5	8.5	2.7	5.4	5.6
手	重度(A1~A3)	206	83.0	16.3	7.5	9.6	0.8	3.5	4.8
帳	中度(B1)	126	69.7	21.6	11.2	7.7	0.8	7.5	4.5
判	軽度(B2)	119	64.1	17.0	9.2	7.6	7.0		8.5
定	無回答	24	70.4	9.1	-	7.3	6.6	11.0	4.7
全	体	474	74.1	17.5	8.5	8.5	2.7	5.4	5.6
	一人暮らし	43	_	14.0	15.6	13.2	11.3	30.2	18.2
	夫婦のみ	16	85.3	18.9	_	7.8	_	_	7.8
世	二世代同居(親と本人)	328	91.1	17.6	8.2	5.0	2.0	1.5	2.8
帯	二世代同居(子と本人)	8	34.3	27.8	-	_	_	_	37.9
状	三世代同居	17	100.0	21.2	-	5.1	_	_	_
況	その他	31	63.2	21.4	6.7	4.0		6.7	9.2
	グループホーム・ケアホーム	22	_	17.9	13.9	45.2	5.5	18.7	4.2
	無回答	9	_	_	15.7	51.0	_	15.7	17.6

(5) 災害時要援護者台帳の認知度



回答者全体では「知らなかった」(51.6%)が過半数を占めている。「登録している」(17.1%)と「知っているが登録はしていない」(23.2%)をあわせた認知度は40.3%となっている。

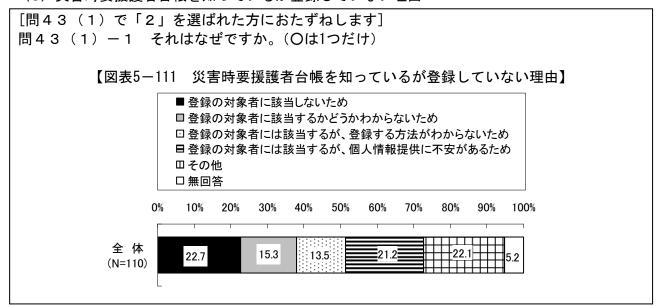
年齢2区分別にみると、65歳以上では64歳以下に比べて「知らなかった」(81.7%)の割合が高い。 年齢別に詳細にみると、30歳代以下では他に比べて「登録している」の割合が高く、2割強を占めている。

手帳判定別にみると、A判定の重度者では他に比べて「登録している」(27.4%)の割合が高い。

【図表5-110 年齢(詳細、2区分)別、手帳判定別 災害時要援護者台帳の認知度】(%)

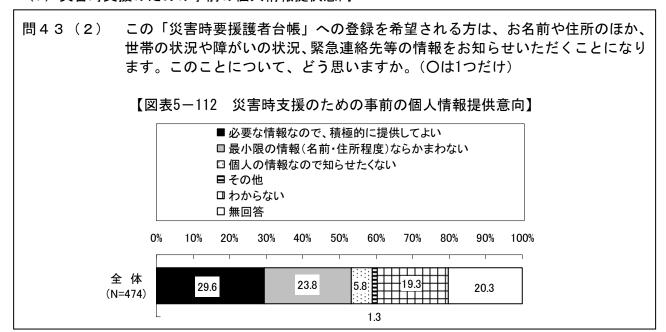
		調	災害時要援護者台帳の認知度							
		香数(人)	登録している	ていない	知らなかった	無回答				
	体	474	17.1	23.2	51.6					
区年	64歳以下	439	18.1	25.0	49.2	7.7				
一分節	65歳以上	35	4.7	_	81.7	13.6				
	無回答	-	_	-	_	_				
全	体	474	17.1	23.2	51.6	8.1				
	20歳代以下	152	22.7	29.5	42.6	5.1				
	30歳代	114	23.4	19.8	50.5	6.3				
年	40歳代	92	8.1	25.6	55.8	10.5				
齢	50歳代	53	13.2	26.3	50.0	10.5				
詳	60~64歳	28	13.0	17.4	56.5	13.0				
細	65~74歳	34	4.5	-	81.8	13.6				
	75歳以上	1	14.3	-	71.4	14.3				
	無回答	-	-	-	_	-				
	体	474	17.1	23.2	51.6	8.1				
手	重度(A1~A3)	206	27.4	30.1	34.6	7.8				
帳	中度(B1)	126	12.5	18.9	58.9	9.6				
判	軽度(B2)	119	6.6	16.9	68.6	7.9				
定	無回答	24	4.0	17.1	74.3	4.7				

(6) 災害時要援護者台帳を知っているが登録していない理由



回答者全体では「登録の対象者に該当しないため」(22.7%)が最も多く、次いで「その他」(22.1%)、「登録の対象者には該当するが、個人情報提供に不安があるため」(21.2%)となっている。

(7) 災害時支援のための事前の個人情報提供意向



回答者全体では「必要な情報なので、積極的に提供してよいと思う」(29.6%)が最も多く、次いで「最小限の情報(名前・住所程度)ならかまわないと思う」(23.8%)となっており、「個人の情報なので知らせたくない」(5.8%)との回答は1割に満たなかった。

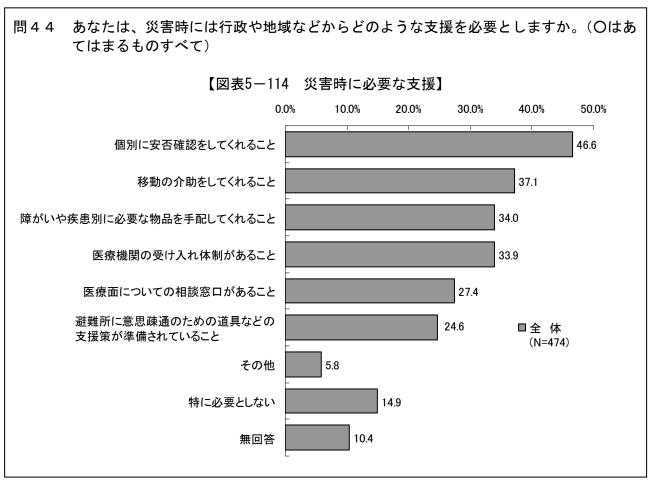
年齢別に詳細にみると、30歳代以下では「必要な情報なので、積極的に提供してよいと思う」の割合が高く、4割弱を占めている。

手帳判定別にみると、A判定の重度者では他に比べて「必要な情報なので、積極的に提供してよいと思う」(42.2%)の割合が高く、4割を超えている。

【図表5-113 年齢詳細別、手帳判定別 災害時支援のための事前の個人情報提供意向】(%)

		調	丝	(害時支援)	のための事	前の個人情	f報提供意[白
		香数(人)	極的に提供してよい必要な情報なので、積	ない住所程度)ならかまわ最小限の情報(名前・	せたくない個人の情報なので知ら	その他	わからない	無回答
全	体	474	29.6	23.8	5.8	1.3	19.3	20.3
	20歳代以下	152	35.2	27.3	4.5	1.1	18.2	13.6
	30歳代	114	39.6	17.1	5.4	0.9	20.7	16.2
年	40歳代	92	22.1	22.1	9.3	2.3	17.4	26.7
齡	50歳代	53	13.2	34.2	7.9	2.6	18.4	23.7
詳	60~64歳	28	21.7	30.4	_	ı	17.4	30.4
細	65~74歳	34	22.7	13.6	4.5	ı	27.3	31.8
	75歳以上	1	42.9	_	14.3	-	14.3	28.6
	無回答	_	_	_	_	-	_	_
全	体	474	29.6	23.8	5.8	1.3	19.3	20.3
手	重度(A1~A3)	206	42.2	23.5	3.2	0.5	10.9	19.7
帳	中度(B1)	126	23.1	22.5	6.2	2.8	27.1	18.3
判	軽度(B2)	119	17.1	26.5	10.1	1.5	24.6	20.3
定	無回答	24	17.1	19.3	4.5	_	23.5	35.6

(8) 災害時に必要な支援



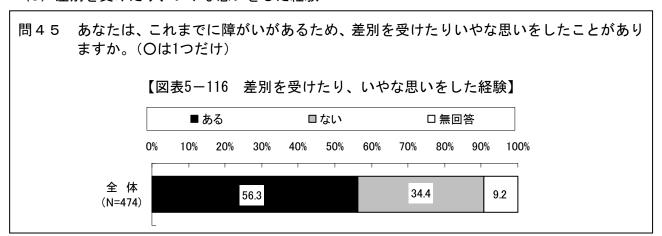
回答者全体では「個別に安否確認をしてくれること」(46.6%)が半数弱で最も多く、これに「移動の介助をしてくれること」(37.1%)、「障がいや疾患別に必要な物品を手配してくれること」(34.0%)、「医療機関の受け入れ体制があること」(33.9%)がいずれも3割で続いている。

手帳判定別にみると、A判定の重度者では他に比べて「特に必要としない」以外の全ての項目で割合が高く、多くの支援を必要としていることがわかる。

災害時に必要な支援 る移 るな障 制医 窓医 がめ避 査 れ別 こ動 こ物が が療 口療 準の難 の に 回 数 との と品い が面 るに あ機 備道所 他 必 答 こ安 をや る関 あに さ具に 要 介 人 と否 助 手疾 この れな意 ع るつ 配患 てど思 確 を と受 こい し とて な 認 し別 け いの疎 て てに മ る支通 1.1 を 入 こ援の < く必 れ 相 と策た て れ れ要 体 談 全 474 46.6 37.1 34.0 33.9 27.4 24.6 14.9 10.4 5.8 重度(A1~A3) 206 51.9 54.1 48.6 42.5 35.7 32.1 7.0 3.4 10.9 帳 中度(B1) 126 44.9 28.4 24.1 26.4 19.6 15.9 3.9 21.9 9.4 判 軽度(B2) 119 45.1 17.8 21.1 26.7 24.4 22.2 5.8 25.0 10.3 定 無回答 24 17.4 31.7 25.6 34.4 12.2 16.9 4.3 25.8 10.6

【図表5-115 手帳判定別 災害時に必要な支援】(%)

(9) 差別を受けたり、いやな思いをした経験



回答者全体では「ある」(56.3%)が6割弱を占めており、「ない」(34.4%)を上回っている。

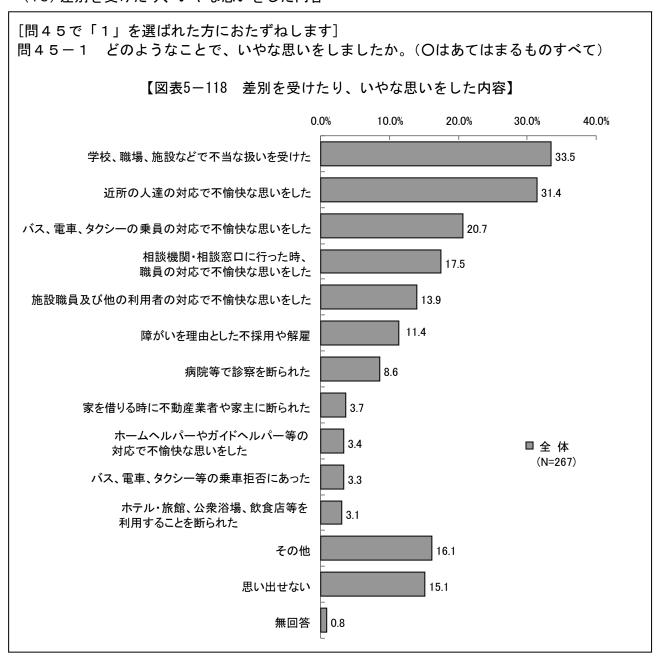
年齢別に詳細にみると、50歳代と60~64歳以外の年代では、差別や嫌な思いをした経験がある人の割合がない人の割合を上回っている。

手帳判定別にみると、A判定の重度者では、差別や嫌な思いをした経験がある人の割合が6割を超えて高い。

【図表5-117 年齢詳細別、手帳判定別 差別を受けたり、いやな思いをした経験】(%)

		調	差別を受けた	り、いやな思	いをした経験
		香数 (人)	ある	ない	無回答
全	体	474	56.3	34.4	9.2
	20歳代以下	152	66.5	29.5	4.0
	30歳代	114	60.4	30.6	9.0
年	40歳代	92	50.0	39.5	10.5
齢	50歳代	53	36.8	50.0	13.2
詳	60~64歳	28	39.1	39.1	21.7
細	65~74歳	34	59.1	27.3	13.6
	75歳以上	1	71.4	14.3	14.3
	無回答	-	-	-	_
全	体	474	56.3	34.4	9.2
手	重度(A1~A3)	206	61.4	28.2	10.5
帳	中度(B1)	126	54.6	40.1	5.3
判	軽度(B2)	119	49.9	40.2	9.8
定	無回答	24	54.1	29.4	16.5

(10) 差別を受けたり、いやな思いをした内容



障がいのために差別を受けたり、いやな思いをしたことがある人に、その内容をたずねたところ、回答者全体では「学校、職場、施設などで不当な扱いを受けた」(33.5%)が最も多く、次いで「近所の人達の対応で不愉快な思いをした」(31.4%)、「バス、電車、タクシーの乗員の対応で不愉快な思いをした」(20.7%)となっている。

年齢別に詳細にみると、50歳代では他に比べて「学校、職場、施設などで不当な扱いを受けた」(57.1%)や「バス、電車、タクシーの乗員の対応で不愉快な思いをした」(42.9%)、「障がいを理由とした不採用や解雇」(28.6%)の割合が高い。

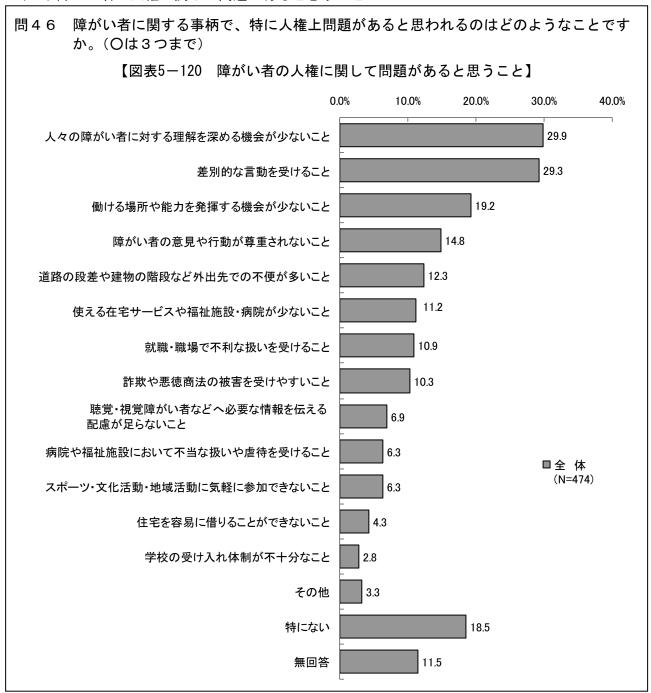
手帳判定別にみると、A判定の重度者では「近所の人達の対応で不愉快な思いをした」(42.8%)の割合が高い。また、「病院等で診察を断られた」(14.2%)の割合も1割を超えている。一方、B2判定の軽度者では「学校、職場、施設などで不当な扱いを受けた」(56.4%)や「障がいを理由とした不採用や解雇」(24.3%)の割合が高い。

【図表5-119 年齢詳細別、手帳判定別 差別を受けたり、いやな思いをした内容】(%)

		調		差別	を受けたり	人いやなり	思いをした	内容	
		過査数(人)	で不当な扱いを受けた学校、職場、施設など	愉快な思いをした近所の人達の対応で不	な思いをした の乗員の対応で不愉快バス、電車、タクシー	で不愉快な思いをした行った時、職員の対応相談機関・相談窓口に	いをした者の対応で不愉快な思施設職員及び他の利用	採用や解雇障がいを理由とした不	た院等で診察を断られ
全	体	267	33.5	31.4	20.7	17.5	13.9	11.4	8.6
	20歳代以下	101	33.3	34.2	21.4		6.0	6.8	12.8
	30歳代	69	35.8	29.9	20.9	16.4	14.9	13.4	7.5
年	40歳代	46	37.2	25.6	11.6	20.9	20.9	16.3	2.3
齢	50歳代	19	57.1	35.7	42.9	35.7	21.4	28.6	7.1
詳	60~64歳	11	11.1	33.3	22.2	_	33.3	11.1	22.2
細	65~74歳	20	7.7	30.8	15.4	7.7	15.4	_	_
	75歳以上	0	20.0	60.0	_	_	20.0	20.0	_
	無回答	_	_	_	_	_	_	_	_
全	体	267	33.5	31.4	20.7	17.5	13.9	11.4	8.6
手	重度(A1~A3)	126	18.6	42.8	24.1	13.8	16.2	3.5	14.2
帳	中度(B1)	69	42.8	28.6	16.1	16.1	11.4	16.9	2.5
判	軽度(B2)	59	56.4	14.1	23.1	27.2	14.5	24.3	3.8
定	無回答	13	23.5	15.8	_	16.7	0.6	-	8.4

		調		差別を受けたり、いやな思いをした内容									
		高香数(人)	業者や家主に断られた家を借りる時に不動産	不愉快な思いをしたドヘルパー 等の対応でホームヘルパー やガイ	等の乗車拒否にあったバス、電車、タクシー	ることを断られた場、飲食店等を利用すホテル・旅館、公衆浴	その他	思い出せない	無回答				
全	体	267	3.7	3.4	3.3	3.1	16.1	15.1	0.8				
	20歳代以下	101	-	2.6	2.6	4.3	23.9	10.3	_				
	30歳代	69	3.0	1.5	1.5	1.5	14.9	11.9	3.0				
年	40歳代	46	4.7	2.3	2.3	-	9.3	18.6	-				
齢	50歳代	19	14.3	14.3	21.4	7.1	1	21.4	-				
詳	60~64歳	11	11.1	_	_	-	11.1	11.1	_				
細	65~74歳	20	7.7	7.7	_	7.7	15.4	38.5	_				
	75歳以上	0	20.0	20.0	20.0	_	_	20.0	_				
	無回答	_	_	-	-	_	_	_	-				
全	体	267	3.7	3.4	3.3	3.1	16.1	15.1	0.8				
手	重度(A1~A3)	126	2.9	4.4	4.9	6.6	23.1	12.2	0.8				
帳	中度(B1)	69	3.5	1.6	_	_	13.8	19.3	1.5				
判	軽度(B2)	59	6.1	4.1	4.7	_	5.8	12.0	_				
定	無回答	13	0.6	0.6	_	_	8.0	36.0	_				

(11) 障がい者の人権に関して問題があると思うこと



回答者全体では「人々の障がい者に対する理解を深める機会が少ないこと」(29.9%)と「差別的な言動を受けること」(29.3%)がそれぞれ3割を占めて多く、次いで「働ける場所や能力を発揮する機会が少ないこと」(19.2%)、「障がい者の意見や行動が尊重されないこと」(14.8%)となっている。

年齢別に詳細にみると、20歳代以下では他に比べて「人々の障がい者に対する理解を深める機会が少ないこと」(38.6%)や「差別的な言動を受けること」(37.5%)等の割合が高く、30歳代では「道路の段差や建物の階段など外出先での不便が多いこと」(18.9%)の割合がやや高い。

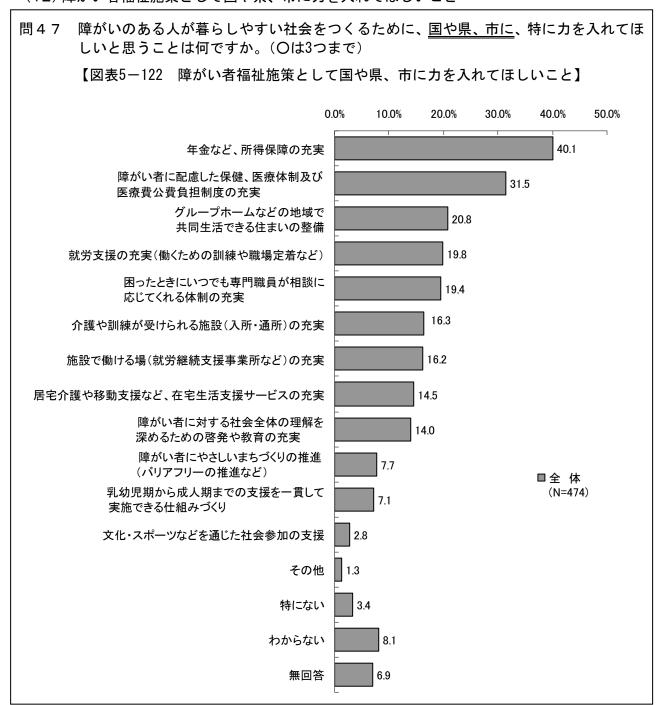
手帳判定別にみると、A判定の重度者では他に比べて「人々の障がい者に対する理解を深める機会が少ないこと」(38.4%)や「道路の段差や建物の階段など外出先での不便が多いこと」(21.4%)等の割合が高い。また、B2判定の軽度者では「働ける場所や能力を発揮する機会が少ないこと」(28.9%)や「就職・職場で不利な扱いを受けること」(23.3%)の割合が高い。

【図表5-121 年齢詳細別、手帳判定別 障がい者の人権に関して問題があると思うこと】(%)

		調		ß	章がい者の	人権に関し	て問題があ	ると思うこと	=	
		香数 (人)	少ないことる理解を深める機会が人々の障がい者に対す	こと	とする機会が少ないこ働ける場所や能力を発	が尊重されないこと障がい者の意見や行動	が多いこと段など外出先での不便道路の段差や建物の階	いこと 福祉施設・病院が少な使える在宅サー ビスや	いを受けること就職・職場で不利な扱	を受けやすいこと詐欺や悪徳商法の被害
全	体	474	29.9	29.3	19.2	14.8	12.3	11.2	10.9	10.3
	20歳代以下	152	38.6	37.5	26.1	16.5	10.2	18.2	11.4	13.1
	30歳代	114	32.4	31.5	18.9	13.5	18.9	11.7	11.7	8.1
年	40歳代	92	20.9	22.1	18.6	14.0	9.3	7.0	8.1	8.1
龄 詳	50歳代	53	34.2	23.7	15.8	15.8	10.5	5.3	18.4	15.8
詳	60~64歳	28	8.7	17.4	8.7	13.0	8.7	_	8.7	8.7
細	65~74歳	34	18.2	22.7	4.5	13.6	13.6	9.1	4.5	4.5
	75歳以上	1	-	28.6	14.3	28.6	14.3	-	-	_
	無回答	-	_	-	_	-	_	_	_	_
全	体	474	29.9	29.3	19.2	14.8	12.3	11.2	10.9	10.3
手	重度(A1~A3)	206	38.4	32.0	12.4	13.1	21.4	19.2	2.1	6.8
帳	中度(B1)	126	24.4	27.4	21.9	12.9	5.5	6.2	15.7	14.8
判	軽度(B2)	119	22.4	28.1	28.9	20.4	3.7	3.4	23.3	12.1
定	無回答	24	23.0	21.2	14.1	11.5	13.4	8.9	_	8.9

		雷		ß	章がい者の	人権に関し	て問題があ	ると思うこと	<u> </u>	
		調査数(人)	る配慮が足らないことどへ必要な情報を伝え聴覚・視覚障がい者な	受けることて不当な扱いや虐待を病院や福祉施設におい	できないこと 地域活動に気軽に参加スポーツ・文化活動・	とができないこと住宅を容易に借りるこ	不十分なことがの受け入れ体制が	その他	特にない	無回答
全	体	474	6.9	6.3	6.3	4.3	2.8	3.3	18.5	11.5
	20歳代以下	152	9.7	8.5	8.5	3.4	6.3	3.4	13.6	3.4
	30歳代	114	4.5	9.9	5.4	3.6	0.9	4.5	14.4	12.6
年	40歳代	92	4.7	3.5	7.0	1	1.2	2.3	26.7	16.3
齢	50歳代	53	7.9	1	5.3	7.9	-	-	18.4	13.2
詳	60~64歳	28	4.3	8.7	-	13.0	_	-	34.8	13.0
細	65~74歳	34	9.1	_	4.5	9.1	4.5	9.1	18.2	27.3
	75歳以上	1	14.3	_	-	14.3	_	14.3	28.6	14.3
	無回答	_	_	_	_	_	_	_	_	_
	体	474	6.9	6.3	6.3	4.3	2.8	3.3	18.5	11.5
手	重度(A1~A3)	206	8.6	11.1	9.2	4.4	2.9	5.2	12.8	11.0
帳	中度(B1)	126	4.1	3.8	4.1	3.6	3.7	1.5		11.0
判	軽度(B2)	119	8.4	1.0	4.0	5.7	2.2	1.6	17.1	13.1
定	無回答	24	_	4.5	4.5	0.3	_	4.7	31.7	11.3

(12) 障がい者福祉施策として国や県、市に力を入れてほしいこと



回答者全体では「年金など、所得保障の充実」(40.1%)が最も多く、次いで「障がい者に配慮した保健、医療体制及び医療費公費負担制度の充実」(31.5%)、「グループホームなどの地域で共同生活できる住まいの整備」(20.8%)、「就労支援の充実(働くための訓練や職場定着など)」(19.8%)、「困ったときにいつでも専門職員が相談に応じてくれる体制の充実」(19.4%)となっている。

年齢2区分別にみると、64歳以下では65歳以上に比べて「グループホームなどの地域で共同生活できる住まいの整備」(21.3%)や「就労支援の充実(働くための訓練や職場定着など)」(20.7%)、「障がい者に対する社会全体の理解を深めるための啓発や教育の充実」(14.7%)等で割合が高い。

年齢別に詳細にみると、「障がい者に配慮した保健、医療体制及び医療費公費負担制度の充実」は30・40歳代で他に比べて割合が高く、4割弱を占めている。また、20歳代以下では30歳代以上に比べて「グループホームなどの地域で共同生活できる住まいの整備」(33.0%)、「障がい者に対する社会全体の理解を深めるための啓発や教育の充実」(23.3%)等の割合が高い。

【図表5-123 年齢(詳細、2区分)別、手帳判定

障がい者福祉施策として国や県、市に力を入れてほしいこと】(%)

		= ⊞		障がい者	福祉施策と	して国や	県、市に力	を入れては	ましいこと	
		調査数(人)	充実のと、所得保障の	費公費負担制度の充実健、医療体制及び医療障がい者に配慮した保	住まいの整備地域で共同生活できるグルー プホー ムなどの	など)ための訓練や職場定着就労支援の充実(働く	てくれる体制の充実専門職員が相談に応じ困ったときにいつでも	の充実の充実(入所・通所)	の充実継続支援事業所など)施設で働ける場(就労	ビスの充実ど、在宅生活支援サー居宅介護や移動支援な
全	体	474	40.1	31.5	20.8	19.8	19.4	16.3	16.2	14.5
区年	64歳以下	439	39.7	30.7	21.3	20.7	19.9	16.5	16.4	14.9
ム野	65歳以上	35	45.4	40.7	13.4	8.9	13.4	13.6	13.6	9.2
-	無回答	-	_	ı	I	ı	_	_	_	_
全	体	474	40.1	31.5	20.8	19.8	19.4	16.3	16.2	14.5
	20歳代以下	152	38.6	26.1	33.0	25.6	17.6	20.5	17.6	16.5
l .	30歳代	114	43.2	36.0	17.1	18.9	21.6	18.9	14.4	18.9
年	40歳代	92	44.2	38.4	12.8	17.4	22.1	18.6	18.6	9.3
齢	50歳代	53	36.8	26.3	21.1	13.2	15.8	5.3	13.2	7.9
詳	60~64歳	28	21.7	17.4	4.3	26.1	26.1	_	17.4	21.7
細	65~74歳	34	45.5	40.9	13.6	9.1	13.6	13.6	13.6	9.1
	75歳以上	1	42.9	28.6	-	-	_	14.3	14.3	14.3
	無回答	-	-	_	-	-	_	_	_	-

		= ⊞		障がい者	福祉施策と	して国や県	見、市に力る	を入れては	ましいこと	
		調査数(人)	めの啓発や教育の充実全体の理解を深めるた障がい者に対する社会	アフリーの推進など)ちづくりの推進(バリ障がい者にやさしいま	施できる仕組みづくりでの支援を一貫して実乳幼児期から成人期ま	通じた社会参加の支援文化・スポー ツなどを	その他	特にない	わからない	無回答
	体	474	14.0	7.7	7.1	2.8	1.3	3.4	8.1	6.9
区年	64歳以下	439	14.7	7.9	7.6	3.0	1.4	3.6	7.6	6.4
区計分	65歳以上	35	4.5	4.7	0.2	-	_	_	13.9	13.6
2		_	_	-	_	-	-	_	-	_
全	体	474	14.0	7.7	7.1	2.8	1.3	3.4	8.1	6.9
	20歳代以下	152	23.3	8.0	13.6	2.8	0.6	2.3	7.4	2.8
1.	30歳代	114	11.7	8.1	5.4	2.7	1.8	0.9	5.4	10.8
年	40歳代	92	8.1	5.8	5.8	4.7	2.3	7.0	7.0	2.3
齢	50歳代	53	15.8	13.2	_	2.6	-	2.6	15.8	10.5
詳	60~64歳	28	_	4.3	4.3	_	4.3	13.0	4.3	13.0
細	65~74歳	34	4.5	4.5	_	_	-	_	13.6	13.6
	75歳以上	1	_	14.3	14.3	-	-	_	28.6	14.3
	無回答	-	-	-	-	-	_	_	-	_

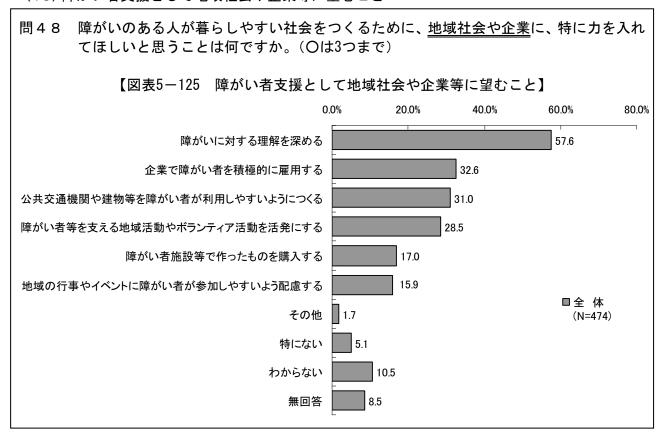
手帳判定別にみると、A判定の重度者では他に比べて「介護や訓練が受けられる施設(入所・通所)の充実」(31.2%)や「居宅介護や移動支援など、在宅生活支援サービスの充実」(23.5%)の割合が高い。一方、B2判定の軽度者では他に比べて「就労支援の充実(働くための訓練や職場定着など)」(38.2%)等の割合が高い。

【図表5-124 手帳判定別 障がい者福祉施策として国や県、市に力を入れてほしいこと】(%)

		=⊞		障がい者	福祉施策と	して国や	表、市に力	を入れては	ましいこと	
		調査数(人)	充実年金など、所得保障の	費公費負担制度の充実健、医療体制及び医療障がい者に配慮した保	住まいの整備地域で共同生活できるグルー プホームなどの	など) ための訓練や職場定着就労支援の充実(働く	てくれる体制の充実専門職員が相談に応じ困ったときにいつでも	の充実の施設(入所・通所)	の充実継続支援事業所など)施設で働ける場(就労	ビスの充実ど、在宅生活支援サービを介護や移動支援な
全	体	474	40.1	31.5	20.8	19.8	19.4	16.3	16.2	14.5
手	重度(A1~A3)	206	41.3	33.8	24.0	8.5	16.7	31.2	17.7	23.5
帳	中度(B1)	126	34.1	36.1	18.2	23.7	20.8	5.9	15.8	8.6
判	軽度(B2)	119	44.0	24.8	17.8	38.2	22.4	3.1	15.4	6.2
定	無回答	24	42.3	20.2	21.6	4.5	20.9	8.9	10.4	9.2

		= ⊞				して国や	県、市に力		ましいこと	
		調査数(人)	めの啓発や教育の充実全体の理解を深めるた障がい者に対する社会	アフリーの推進など)ちづくりの推進(バリ障がい者にやさしいま	施できる仕組みづくりでの支援を一貫して実乳幼児期から成人期ま	通じた社会参加の支援文化・スポー ツなどを	その他	特にない	わからない	無回答
全	体	474	14.0	7.7	7.1	2.8	1.3	3.4	8.1	6.9
手	重度(A1~A3)	206	15.3	11.0	12.7	1.8	1.4	2.2	4.7	6.1
帳	中度(B1)	126	14.1	5.9	0.7	1.5	8.0	5.2	10.8	8.0
判	軽度(B2)	119	14.3	4.7	5.4	4.6	1.9	4.1	9.0	6.9
定	無回答	24	_	3.7	0.3	8.9	-	_	17.9	8.3

(13) 障がい者支援として地域社会や企業等に望むこと



回答者全体では「障がいに対する理解を深める」(57.6%)が6割弱を占めて最も多く、次いで「企業で障がい者を積極的に雇用する」(32.6%)、「公共交通機関や建物等を障がい者が利用しやすいようにつくる」(31.0%)、「障がい者等を支える地域活動やボランティア活動を活発にする」(28.5%)となっている。

年齢別に詳細にみると、30歳代以下では他に比べて「障がいに対する理解を深める」や「障がい者等を支える地域活動やボランティア活動を活発にする」、「公共交通機関や建物等を障がい者が利用しやすいようにつくる」、「企業で障がい者を積極的に雇用する」等の割合が高い。

手帳判定別にみると、A判定の重度者では他に比べて「障がいに対する理解を深める」(66.6%)の割合が高い。一方、B判定の中度者・軽度者では「企業で障がい者を積極的に雇用する」の割合が高くなっている。

【図表5-126 年齢詳細別、手帳判定別 障がい者支援として地域社会や企業等に望むこと】(%)

		調			障がい	者支援と	して地域	社会や企	:業等に望	むこと		
		過査数(人)	深める障がいに対する理解を	的に雇用する企業で障がい者を積極	に者機 つが関	活が等 にすっ す	たものを購入する障がい者施設等で作っ	すいよう配慮するに障がい者が参加しや地域の行事やイベント	その他	特にない	わからない	無回答
全	体	474	57.6	32.6	31.0	28.5	17.0	15.9	1.7	5.1	10.5	8.5
	20歳代以下	152	67.0	43.8	30.1	31.8	21.6	20.5	2.3	2.3	6.3	2.8
	30歳代	114	60.4	35.1	45.0	34.2	18.0	11.7	1.8	3.6	5.4	9.0
年	40歳代	92	53.5	32.6	26.7	20.9	16.3	17.4	1.2	9.3	12.8	8.1
齢	50歳代	53	47.4	23.7	21.1	26.3	15.8	10.5	2.6	2.6	21.1	15.8
詳	60~64歳	28	43.5	8.7	21.7	17.4	8.7	4.3	_	13.0	17.4	13.0
細	65~74歳	34	45.5	9.1	22.7	27.3	4.5	22.7	_	9.1	18.2	18.2
	75歳以上	1	42.9	14.3	42.9	14.3	-	14.3	_	_	28.6	14.3
	無回答	-	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_
全	体	474	57.6	32.6	31.0	28.5	17.0	15.9	1.7	5.1	10.5	8.5
手	重度(A1~A3)	206	66.6	21.5	35.8		19.7	17.7	3.9	4.7	5.5	8.8
帳	中度(B1)	126	50.8	38.5	28.3	27.6	13.5	13.3	_	5.3	15.2	8.1
判	軽度(B2)	119	55.9	49.2	28.9	16.9	16.3	16.7	_	4.1	11.9	7.3
定	無回答	24	24.2	15.0	14.1	22.6	16.3	8.9	-	13.2	22.1	15.0